

ワ動物舎 二百坪

牛馬鶏豚羊ノ類

カ動力室 百五十坪

六本會御贊同ノ上ハ府縣出品事務ヲ處理スル爲メ特ニ府縣ニ事務員ヲ置カレ其ノ官職氏名ヲ御通知アリタシ  
 七本會御贊同ニ付キテハ各部類品ヲ取り揃へ出陳セラルルトモ又ハ或ル部類品ヲ選擇シテ出陳セラルルトモ差支ナシ  
 八米麥ハ可相成産地ノ代表的米麥ヲ出品セラレ出品一點ノ分量ハ一俵トシ依造トシテ出陳セラルルモ妨ケ無シ  
 九各府縣ノ出品種類ハ急速ニ決定セラレ其ノ部類別ト陳列ニ要スル見込面積トヲ七月二十日迄ニ事務局ヘ御通知アリタキコト  
 十事務局ニ於テハ前項ノ部類別及面積ヲ綜合シタル上相當ノ斟酌ヲ加ヘ各部類毎ニ各府縣ノ配當面積ヲ算定スヘシ  
 但シ機械館ヲ除ク

十一各府縣ニ於テハ前號ノ配當面積ヲ基礎トシ其ノ管内ノ出品許否ヲ決セラルルコト

許可シタル出品ノ目錄ハ十月末日迄ニ事務局ニ差出サレタキ事

十二各府縣ニ於ケル出品ノ勸誘及取纏メ出品ノ許否出品ノ輸送陳列裝飾出品陳列後審査ヲ受クルタメニ要スル諸手数料實約及ヒ出品看守人配當陳列區ノ清潔法等ノ費用ハ所轄府縣又ハ出品人ノ負擔トスルコト

十三出品ハ各地ノ重要物産ヲ主トスルハ勿論ナルモ特ニ外國ヘノ輸出品及其ノ見込アルモノ輸入防遏品及其ノ見込アルモノ斬新有望ノ生産品各地方ノ特色ヲ發揮スルニ足ルヘキ物品ヲ出陳セシムルヲ一般方針トシ徒ラニ珍異奇巧ニ走レルモノノ如キハ之ヲ避ケラレ度又第二部ノ出品ハ美術及美術工藝ノ精粹ヲ發揮スルニ足ルヘキモノヲ出陳セシムル様御配慮アリタシ

十四賣約手数料ハ本府ニ於テハ之ヲ徵收スト雖モ各府縣ニ於テハ徵否御隨意ノコト

十五第二部美術及美術工藝ニ屬スル出品ハ鑑査及陳列トモ事務局ニ於テ處理スヘキニ付出品願書ハ府縣ニ於テ取纏メ事務局ニ送

附セラレ出品物ハ出願人ヨリ直接事務局ニ送附セシメラレタシ

十六關東州臺灣樺太朝鮮ノ出品ハ部類別ニ依ラス所轄廳別ニ依リ陳列ス其他ノ府縣出品ハ部毎ニ府縣別トス

十七機械館ハ動力供給ノ都合アルニ付此ノ館ニ陳列スル出品ノ許否ハ總テ事務局ニ於テ直接ニ取扱フ故ニ機械館ニ屬スル出品願書ハ十月末日迄ニ事務局ニ送致セラレタシ

十八外國品ハ總テ外國館ニ陳列シ其ノ出品ノ許否ハ專ラ事務局ニ於テ取扱フ  
 但シ出品ノ勸誘ノミハ便宜御盡力ヲ希望ス

十九審査ノ結果ニ依ル褒賞ハ前同ノ博覽會ニ於テハ他府縣ノ出品人ニハ記念章ヲ贈與シ本府ノ出品人ト取扱フ區別シタリト雖モ今回ハ右ノ區別ヲ設ケス總テ同一ニ取扱フ

二十外國ヨリ輸入シ又ハ朝鮮ヨリ移入スル出品物其他專賣品ノ出品ニ關シテハ特ニ便利ヲ與ヘラルル主旨ヲ以テ別紙ノ通り大藏大臣ヨリ通牒アリ(別紙ハ出品ニ關スル規定中ニ收ム)

二十一鐵道院其他各鐵道會社汽船會社等ニ對シ觀覽人出品人ノ乗車船賃又ハ出品物ノ運賃割引方ヲ交渉中ニシテ良好ニ進行セリ遠カラス割引一覽表ヲ製シ御回付ノ積リナリ

二十二乗車船賃ノ割引證及ヒ出品貨物ノ荷標ハ事務局ニ於テ調製シ御回付ノ見込ミナリ  
 二十三博覽會規則第六十三條ニ於テ優秀ノ陳列裝飾ヲナシタルモノ及ヒ出品ニアラサル自費陳列館ニシテ建築ノ優秀ナルモノニ對シテハ審査ノ上第五十條ニ準シ金銀銅牌又ハ褒狀ヲ授與スルコトノ規程ヲ設ケタリ右ハ陳列及裝飾技術ノ獎勵上極メテ必要

ナルノミナラス博覽會ノ景況ニモ關スル所少ナカラサルヲ以テ相當ニ御配慮アリタシ  
 二十四出品看守人小使給仕等採用ニ付事務局ノ斡旋ヲ必要トセラルルナラハ男女別人員ヲ申出ララルコト

二十五事務所用トシテ家屋ノ借入ヲ要セラルル場合ノ參考トシテ借入ニ應スル寺院ヲ取調ヘ置キタルニ付御一覽アリタシ

- 二十六 事務所用電話電燈瓦斯ノ設備ヲ要スルトキハ事務所ニ於テ相當手續キヲナスヘキニ依リ御申出アリタシ
  - 二十七 事務局内ニ別ニ一室ヲ設ケ府縣事務員ノ詰所ニ充テ置クヘキニ付キ隨意ニ利用セラレタキコト
  - 二十八 即賣店敷地ハ可成速ニ割當ヲナスノ必要アルヲ以テ各府縣ニ於テハ七月末日迄ニ所要坪數ヲ申出テラレタシ
  - 二十九 即賣店敷地料ハ規則第四條ニ依リ徵收セラレ九月中ニ事務局ヘ宛送附セラレタシ
  - 三十 賣店ニ供用スル家屋ノ構造樣式等ハ會場一般ノ設計ト調和ヲ保タシムヘキ必要アルヲ以テ相當機關ヲ設ケテ其ノ設計ヲ調査セシムヘシ故ニ即賣店規則第二條ノ仕様及圖面ハ特ニ注意シテ作成セシメラレタシ
  - 三十一 即賣店ノ建築設計ニ關シテハ府縣ニ於テ管理經營セラルル場合ト雖モ建設物ノ仕様書及圖面ヲ事務局ヘ提示シ協議アリタキコト
  - 三十二 各府縣ハ即賣店規則ニ依リ出店人ノ負擔シタル義務ハ出店人ヲシテ完全ニ履行セシメラレタシ
- 尙府下ニ於テハ郡區長ニ委托シテ出品ノ勸誘ニ衝ラシメタル外本府ニ於テハ各種學校各種團體各種實業組合重ナル商店製造家在濱各國領事ニ對シ直接委員事務員ヲ派シテ之ヲ依頼シタリ

### 第四節 出品鑑査

#### 一 鑑査ニ關スル規定

第二部出品物ハ其ノ許可ニ先チ豫メ鑑別精査シテ採擇スルノ必要アリシヲ以テ大正三年三月鑑査内規ニ依リ之ヲ施行セリ鑑査内規左ノ如シ

第一條 第二部出品ノ鑑査ハ左ノ分類ニ依リ之ヲ行フ

但シ合成ノ考案ニ成レル出品物又ハ組合セ出品物ニ就テハ關係各科主任合議ノ上之ヲ行フ

- 第一科 日本畫
  - 第二科 油畫、水彩畫、バステル畫、木炭畫等
  - 第三科 彫塑
  - 第四科 建築
  - 第五科 書
  - 第六科 篆刻
  - 第七科 彫金、鍍金、鍍銀
  - 第八科 鑄金
  - 第九科 漆工品
  - 第十科 玉、石、木、竹、牙、角、介、甲等ノ製品
  - 第十一科 陶磁器、七寶、玻璃、モザイク、ステーンダグラス
  - 第十二科 染織刺繡品
  - 第十三科 彫版、印刷物
  - 第十四科 寫眞、寫眞製版
  - 第十五科 美術工藝圖案
- 第二條 審査第二部長ハ各科毎ニ鑑査員中ニ於テ一人ノ主任ヲ定ムヘシ

- 第三條 鑑査ハ其科ニ屬スル鑑査員半數以上出席スルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス
- 第四條 鑑査ハ出席鑑査員過半數ノ同意ヲ以テ陳列スヘキ出品ヲ擬定ス
- 第五條 審査第二部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ再鑑査ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第六條 各科主任鑑査員ハ鑑査ノ成績ヲ取纏メ審査第二部長ニ提出スヘシ
- 第七條 審査第二部長ハ之ヲ總長ニ具申シテ出品ノ許否ヲ決定ス
- 第八條 鑑査員ハ其製作ニ關與シタル出品物ヲ鑑査スルコトヲ得ス

二 鑑査

第二部出品人ニシテ鑑査ヲナスヘキモノ第一科第十七類日本畫千六百六十二人(千四百十八點)第二科(第十八類西洋畫四百七十五人)千〇十六點第三科(第十九類彫塑)百二十二點(二百〇二點)第四科(第二十類建築)七十二人(九十一點)第五科及六科(第二十一類書及篆刻)三百七十五人(六百三十六點)第七科及第八科(第二十二類金工)百八十六人(三百二十五人)第九科(第二十三類漆工品)七十三人(百二十九點)第十科(第二十五類玉石木竹牙角介甲)百四十五人(四百二十四點)第十一科(第二十四類陶磁器等)五十九人(百四十三點)第十二科(第二十六類染織刺繡)三十六人(百〇一點)第十三科及十四科(第二十七類彫版印刷物及寫真)百五十六人(三百七十五點)第十五科(第二十八類圖案)二百三十七人(三百六十七點)合計三千〇九十八人五千二百二十七點ニ達セルヲ以テ乃チ第二部審査官ヲシテ會場内美術館及ヒ上野櫻ヶ岡日本美術協會ニ於テ鑑査セシムルコトト

シ左ノ二項ヲ出品人ニ通知セリ

一 鑑査場所

- 日本畫、西洋畫、彫塑、建築、書、篆刻、彫版、印刷物、寫真、圖案ハ博覽會美術館
- 其他ハ上野櫻ヶ岡日本美術協會

一 搬入期間

自三月一日至三月十日

而シテ鑑査ハ三月一日ヨリ同月十八日ニ互リ嚴密ナル査定ノ結果日本畫百七十四點、西洋畫百六十五點、彫塑七十七點、建築三十六點、書及篆刻二百四十三點、金工百四十一點、漆工品三十二點、玉石木竹等七十一點、染織刺繡品九點、彫版印刷物及寫真六十九點、圖案百四十五點、合計千二百點ヲ得タリ依テ合格出品者ニ對シテハ夫々出品許可ノ旨ヲ通知シ其ノ餘ハ悉ク之ヲ返附セリ今其ノ及落ヲ部別ニ表セハ左ノ如シ

鑑査及落表

類別	出願人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
第十七類	一、一六二	一、四一八	一六四	一七四	九九八	一、二四四
第十八類	四七五	一、〇一六	一一九	一六五	三五六	八五一
第十九類	一一二	二〇二	四七	七七	七五	一二五
第二十類	七二	九一	三一	三六	四一	五五
第二十一類	三七五	六三六	一四六	二四三	一一九	三九三
					百九十三	

石川	福井	秋田	山形	福島	宮城	長野	岐阜	滋賀	静岡	愛知	三重	奈良	栃木	群馬	茨城	千葉	埼玉
二	二	一	二	六	二	三	三	一	一九	二七	七	二	四	五	四	五	七
二	二	一	二	七	二	四	四	二	二〇	二八	七	二	五	九	四	五	七
										二							
										二							
二	二	一	二	六	二	三	三	一	一九	二五	七	二	四	五	四	五	七
二	二	一	二	七	二	四	四	二	二〇	二六	七	二	五	九	四	五	七

尙類別ニ依リ其ノ及落ヲ府縣別ニ表スコト左ノ如シ

新	兵	神	大	京	東	北	海	道	府	縣	名	鑑	査	人	員	鑑	査	點	數	及	第	一	人	員	及	第	二	點	數	落	第	一	人	員	落	第	二	點	數		
湯	庫	奈	川	阪	都	京	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	
四	五	一	二	二	九	八	五	九	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	七	一	八	一	三	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四	五	一	五	一	〇	八	六	七	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
六	七	一	八	一	一	九	七	九	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

第十九類鑑査及落府縣別表									
府縣別	出願人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數			
兵庫	1	2	1	1	1	2			
新瀉	1	1	1	1	1	1			
千葉	2	2	1	1	1	2			
栃木	1	1	1	1	1	1			
愛知	1	1	1	1	1	1			
靜岡	6	3	1	1	1	3			
長野	3	6	1	1	1	3			
宮城	1	1	1	1	1	1			
山形	1	1	1	1	1	1			
鹿兒島	1	3	1	1	1	3			
計	475	1016	119	165	356	851			
府縣別	124	189	47	77	607	112			
東京	1	1	1	1	1	1			
新潟	1	1	1	1	1	1			
山梨	1	2	1	1	1	2			
長野	1	2	1	1	1	2			
巖手	2	3	1	1	2	3			

第十八類鑑査及落府縣別表									
府縣名	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數			
富山	6	6	1	1	1	6			
青森	1	1	1	1	1	1			
岡山	2	2	1	1	1	2			
廣島	2	4	1	1	1	2			
山口	2	3	1	1	1	2			
德島	1	1	1	1	1	1			
福岡	6	7	1	1	1	6			
大分	1	2	1	1	1	1			
佐賀	1	1	1	1	1	1			
臺灣	2	3	1	1	1	2			
計	126	148	164	174	998	1244			
府縣名 <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>5</td>	3	5	1	1	3	5			
北海道	3	5	1	1	3	5			
東京	435	952	110	154	335	798			
京都	8	12	3	5	5	7			
大阪	4	6	3	5	1	3			
神奈川	7	10	2	3	5	8			

熊	佐	大	高	香	岡	石	秋	巖	福	宮	長	岐	山	靜	愛	三	群	
本	賀	分	知	川	山	川	田	手	島	城	野	阜	梨	岡	知	重	馬	
一	一	二	三	一	二	一	三	三	四	一	九	一	五	一	八	七	二	
一	一	五	六	一	三	一	三	六	〇	一	一	九	一	六	一	二	〇	三
			二				一	一			一		三		二	四	一	
			二				一	四			七		四		二	四	一	
一	一	二	一	一	二	一	二	二	四	一	八	一	二	一	六	三	一	
一	一	五	四	一	三	一	二	二	〇	一	二	一	二	一	〇	六	二	

茨	千	埼	新	神	京	東	北	府	計	神	京	東	府	計	富
城	葉	玉	潟	奈	都	京	海	縣	第二十一類鑑査及落府縣別表	奈	都	京	縣	第二十二類鑑査及落府縣別表	山
一	九	二	四	九	二	二	一	別	鑑査人員	川	都	京	別	鑑査人員	三
一	三	六	四	一	四	一	三	鑑査點數	七二	一	一	七〇	鑑査點數	二〇二	五
	四		一	四	六	一	一	及第人員	九一	二	一	八八	及第人員	四七	
	九		一	四	七	三	三	及第點數	三一	二		三四	及第點數	七七	
一	五	二	三	五	六	一	一	落第人員	四一		一	四〇	落第人員	七五	三
一	三	六	三	一	〇	九	一	落第點數	五五		一	五四	落第點數	一二五	五

關東州  
計 三七五  
六三六  
一四六  
二四三  
二二九  
三九三

第二十二類鑑査及落府縣別表

府縣別	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
東京	一六〇	二七八	七七	一二三	八三	一五五
京都	四	六	一	二	三	四
大阪	五	八	二	二	三	六
新潟	七	一五	二	二	五	一三
滋賀	二	四	一	二	一	二
石川	二	五	二	五	一	三
富山	三	四	一	一	二	一
島根	一	三	一	三	一	三
岡山	一	一	一	一	一	一
香川	一	一	一	一	一	一
計	一八六	三三五	八八	一四一	九八	一八四
府縣別	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
東京	五〇	八五	一六	二三	三四	六二

第二十三類鑑査及落府縣別表

第二十四類鑑査及落府縣別表

府縣別	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
東京	二〇	六五	七	一〇	一三	五五
京都	一四	三一	六	一〇	八	二一
神奈川	二	六	二	六	一	一
愛知	五	八	二	三	三	五
長野	三	七	一	二	二	五
石川	一五	二六	六	七	九	一九
計	五九	一四三	二四	三八	三五	一〇五
廣島	一	五	一	一	一	五
富山	二	二	一	一	二	二
石川	二	二	一	一	一	一
愛知	一	二	一	一	一	一
三重	二	六	一	一	二	六
新潟	二	四	一	一	二	四
大阪	一	四	一	一	一	四
計	七三	二二九	二二	三二	五一	九七

二百一

第二十五類鑑査及落府縣別表

府縣別	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
東京	一一一	二九三	二九	六七	八二	二二六
京都	三	九	一	一	二	八
大阪	一	一	一	一	一	一
神奈川	五	一八	一	一	一	一
新潟	四	二二	一	一	三	一八
三重	九	四二	一	一	九	四二
愛知	一	二	一	一	一	二
靜岡	二	四	一	一	二	四
山梨	五	三八	一	一	五	三八
石川	一	二	一	一	一	二
富山	三	三	二	二	一	一
計	一四五	四二四	三三	七一	一一二	三三三
府縣名	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
東京	一三	四六	二	二	一	四
京都	一六	二七	五	七	一	二〇

第二十七類鑑査及落府縣別表

府縣名	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
大阪	一	一九	一	一	一	一
神奈川	一	一	一	一	一	一
長崎	一	一	一	一	一	一
三重	一	一	一	一	一	一
長野	一	一	一	一	一	一
廣島	一	一	一	一	一	一
福岡	一	三	一	一	一	一
計	三六	一〇一	七	九	二九	九二
府縣名	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
北海道	二	六	一	一	一	五
東京	一一九	二三〇	四二	四九	七七	一八一
大阪	五	一一	一	一	四	一〇
神奈川	一〇	七三	四	八	六	六五
新潟	三	八	一	一	二	六
千葉	二	五	一	三	一	二
群馬	三	八	一	一	二	七
栃木	二	八	一	一	二	八
計	二〇	一〇一	七	九	二九	九二



第二十八類鑑査及落府縣別表

府縣名	鑑査人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
三 重	一	二	一	一	一	二
愛 知	四	九	一	二	三	七
靜 岡	二	七	一	二	一	五
山 形	一	六	一	一	一	六
熊 本	二	三	一	一	一	二
計	一五六	三七五	五四	六九	一〇二	三〇六
東 京	一六五	二五〇	七二	七五	九三	一七五
京 都	五三	九三	三三	五五	二〇	三八
大 阪	二	三	一	一	一	二
埼 玉	二	二	一	一	一	一
群 馬	一	一	一	一	一	一
栃 木	一	一	一	一	一	一
三 重	二	二	一	一	一	一
秋 田	二	三	二	三	一	一
石 川	四	六	三	四	一	二
富 山	五	六	三	三	二	三

第五節 出品ノ査定及許可

出品願書ハ府下ニ於テハ郡區長ヲシテ其ノ所轄内ノ分ヲ取纏メ規定ノ期日ニ本會事務所ニ送附セシメ特ニ團體出品ニ限リ團體ノ首長ヲシテ其ノ取纏メニ任セシメ直接之ヲ事務局ニ送附セシメキ出品願書ノ到達シタルモノハ總務課ニ於テ豫メ陳列所屬館別ニ主任ヲ置キ總務課長監督ノ下ニ之ヲ處理セリ即チ團體ヲ先トシ簡人ヲ後トシ出品物ノ實質效用ヲ確カメ次ニ其ノ容積ヲ考ヘ陳列豫定面積ニヨリ按分比例ヲ以テ出品ノ許可間數若シクハ點數ヲ算出セリ而モ豫定ヲ增加スルコト數倍ナリシヲ以テ總テ非常ノ削減ヲ行ハサルヲ得サリキ各府縣ニ對シテハ豫メ所要間數ノ申込ミヲ受ケ產業其ノ他諸般ノ狀況ヲ稽ヘ按分比例ニヨリテ配當ヲ與ヘタリ府縣ニヨリテハ申込ノ十分ノ一ニタモ達セサルトコロアリシハ甚タ遺憾ナリキ各府縣ハ事務局ノ配當ニ基キ管内營業者ニ對シ夫々出品ノ許可ヲ與ヘタリ許可指令書ハ零碎ノ出品ニ對シテハ點數ヲ多數尨大ナルモノニ對シテハ概括的ニ陳列面積ヲ以テ之ヲ許可シ必スシモ出品點數ヲ限定セサリキ即チ左ノ如シ

許可指令書式  
博總收第 號

大正二年 月願東京大正博覽會出品ノ件許可ス

出願者名

但左ノ通心得ヘシ

大正二年十二月二十五日

東京大正博覽會會長

氏

名

記

- 一 出品部類ハ第 部第 類トス
- 一 同品種 何々 (何點)
- 一 同陳列面積ハ間口(外法)何間何尺奥行五尺トス
- 一 陳列箱(陳列臺)ノ調製ヲ許可ス
- 一 直チニ陳列箱(陳列臺)ノ設計圖ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ
- 一 大正三年一月十五日マテニ出品目錄ヲ差出スヘシ
- 一 出品ノ搬入陳列ハ大正三年二月一日ヨリ同年三月十五日マテニ之ヲ爲スヘシ
- 一 陳列箱陳列臺ノ据付其他陳列ニ要スル工事ハ大正三年三月十日マテニ之ヲ完成スヘシ
- 一 出品物ハ事務局ノ命令又ハ許可ニ依ルノ外閉會マテ之ヲ搬出スル事ヲ得ス
- 一 出品物ハ閉會後一ヶ月以内ニ之ヲ引取ルヘシ陳列及裝飾用ノ器具工作物ニ就テモ亦同シ
- 一 出品物ニシテ審査上解説ヲ要スルモノハ切實簡明ニ其ノ事項ヲ記載提出スヘシ
- 一 出品物ヲ搬入セントスルトキハ搬入目錄ヲ提出シ其陳列ヲ終リタルトキ現品ト挿入目錄トノ對照ヲ受クヘシ

以上

二、府縣陳列間數

府縣名 教育 農業 林業 水産 飲食 礦山 工業 化學 工業 製作 建築 裝飾 染織 運輸 衛生 濟生

京 都	3000	1700	550	700	700	2100	1100	4500	1300	5900	400
大 阪	500	500	100	800	1000	1700	4700	1500	2275		
神 奈 川	500	1500	600	700	600	1100	1300	1000	1400	450	
兵 庫	100	100	100	800	100	400	400	300	350		
長 崎	200	200	100	700	200	400	600	100	2400		
新 潟	200	1000	100	300	400	200	2500	1000	2400		
埼 玉	500	2000	600	500	200	200	1100	500	2500		
群 馬	100	1500	100	100	100	100	100	100	4500		
千 葉	500	2500	600	2700	950	100	100	100	4000		
茨 城	100	2000	500	600	500	300	400	600	500	100	
栃 木	100	300	100	200	300	300	300	700	3500		
奈 良	100	100	100	100	100	100	100	100	3500		
三 重	500	350	100	200	300	300	1100	100	500		
愛 知	500	700	500	800	200	1600	2800	2000	3500		
靜 岡	1000	2000	1000	800	700	800	3300	2000	2200		
山 梨	100	400	100	400	300	700	600	100	2200		
滋 賀	100	500	100	200	400	500	1500	100	1500		
岐 阜	100	700	100	200	600	1000	1100	100	2200		
長 野	200	1000	700	100	200	300	1100	200	500		
計											200

高知	愛媛	香川	徳島	和歌山	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	富山	石川	福井	秋田	山形	青森	巖手	福島	宮城
		五	五		二〇					一〇	五			五〇	一〇	一〇	一〇	五
四五	三〇	一五	三〇		六〇	四五	五〇			一〇〇			三〇	九〇	五〇	八〇	二〇	六〇
					五〇	一〇	二五			一〇〇			四〇	三五	二五	五〇	四〇	四〇
四〇	二〇	一〇	二〇		五〇	三〇				七〇	六〇		一〇		三〇	四〇	五〇	五〇
二〇	二〇	三〇	一〇		四〇	二〇	二〇			四〇			二〇	六〇	二〇	二〇	二〇	二〇
					一〇								三〇		三〇	三〇	三〇	
一〇〇	四〇	二〇	一〇		七〇	二〇	三〇			二〇			三〇	一八〇	八〇	二〇	三〇	一〇〇
					九〇	四〇	六〇			三五〇	四〇		六〇	一八〇	八〇	一〇	六〇	二〇〇
						三〇	八〇			二二〇	一三〇		二〇	三〇		二〇	二〇	四〇
	五〇	二〇	五〇	五〇	四〇	五〇	二〇			一〇〇	一九〇	二五〇	三〇	一九〇		三〇	五〇	五〇
										一五								!

備考	計	東京	沖繩	鹿兒島	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡
	四〇一〇	一六八〇							
	四九五五	官一〇五〇 官二七五〇	一五	六〇	七〇	七〇	三五	三〇	
	二〇八〇	官三三〇〇 官六三〇〇	二〇		二二〇		二〇	二〇	
	二〇〇〇	六二〇	三〇	四〇	四〇		二〇	二〇	二〇
	一九九五	六三〇	二〇	二〇	三〇	二〇	三〇	二〇	三〇
	一六五〇	官二六〇〇 官四〇〇			一〇				五〇
	三三二〇	一七六〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一五〇	一〇	三〇
	七九七〇	二七二〇	五〇	四〇	四〇			七〇	一一〇
	二七四〇	一三五〇						三〇	三〇
	五九九〇	一九〇〇	五〇	五〇			二五		一〇〇
	一七五五	鐵道院三〇二五 鐵道院三〇二五							
	二七〇								

第六節 出品臺帳ノ整理

出品願書ハ單ニ出品部類名ヲ知リ若シクハ各部類ノ陳列容積ヲ定ムルノ具ニ過キスサレハ出品臺帳ハ物品ノ搬入陳列整頓ヲ待チ搬入目錄ヲ基礎トシテ現品ト照合ノ結果ヲ以テ確定セリ臺帳ノ重要書類ニシテ搬出入照合賣約審査等總テ出品整理ノ基礎タルヘキハ茲ニ言フ須ヒスシテ明ラカナルトコロナレハ苟モ遺漏誤謬無カラント期セリ而シテ其ノ整理方法ハ出品部類別ニ據リ部毎ニ之ヲ調製シ更ニ之ヲ類別ニ編製セリ其ノ様式左ノ如シ

通番號	出品番號	品名	箇數	價格	輸入 濟合	賣約月日	引渡月日	住	所	氏	名

第七節 出品統計

一部別統計

部別	類別	種類	人員	點數
第一部	第一類	教育及學藝		
	第二類	教育ノ組織	二	二
	第三類	中等教育	八九	一九二八
	第四類	大學及專門教育	二八	六八八
	第五類	特殊教育及通俗教育	四二	四一〇
		特別教育及通俗教育		一、三一七

第二部

類別	種類	人員	點數		
第二部	美術及美術工藝	第六類	實業教育	一五	
		第七類	學校衛生及體育	一八	
		第八類	校舍、校具、教授用具及用品	一一	
		第九類	教育的及學術的營造物及團體	二二	
		第十類	學術器械器具、標本、圖畫、模型等	七四	
		第十一類	醫學、藥學及調劑學器械、器具、標本、圖畫、模型、藥品等	一一〇	
		第十二類	度量衡	五五	
		第十三類	書籍及製本	六	
		第十四類	寫真及印刷	八二	
		第十五類	樂器	八九	
		第十六類	演藝	二	
		計		六五〇	一五、〇一〇
		第十七類	日本畫	一六四	一七三
		第十八類	油繪、水彩畫、パステル畫、木炭畫等	一一九	一六五
		第十九類	彫塑	四七	七七
		第二十類	建築	三一	三六
第二十一類	書及篆刻	一四六	二四五		

第三部

第二十二類	金工品	八八	一三九
第二十三類	漆工品	二二	三三
第二十四類	陶磁器、七寶、硝子、モザイク、ステインド グラス等	二四	三六
第二十五類	玉、石、木、竹、牙、角、介、甲、革等ノ製品	三三	七一
第二十六類	染織物、刺繍品等	七	九
第二十七類	彫版、寫真、印刷物	五四	六九
第二十八類	美術工藝圖案	一一七	一四五
計		八五二	一、一九七

農業及園藝

第二十九類	穀類	一〇、四六九	一〇、六九四
第三十類	蔬菜	五、二九六	五、三三九
第三十一類	果實	二、三二八	二、六五六
第三十二類	牧草	二	三
第三十三類	藥草及香辛類	二二三	二六二
第三十四類	煙草及其製品	五四一	六一六
第三十五類	植物纖維	七七九	八一〇
第三十六類	染色、製油及製糖原料	一一〇	一三一
第三十七類	種苗	七七四	一、五五九

第四部

第三十八類	裝飾植物	五六七	二、七一五
第三十九類	園藝建造物	一九	二四
第四十類	蠶種	一、四二九	一、六一四
第四十一類	繭	四、七二二	五、一三三
第四十二類	蠶絲及真綿	九二四	九二四
第四十三類	家畜	二二九	一四七
第四十四類	家禽及蜜蜂	一七六	二〇七
第四十五類	愛玩動物	八八	一九二
第四十六類	肥料	六〇	二八一
第四十七類	農業、園藝、蠶業及畜産用器械器具	三一〇	九〇七
第四十八類	病蟲害ノ豫防及驅除ニ關スル器具、標本、方法及成績	二二三	七九
第四十九類	家畜及家禽ノ衛生及治療ニ關スル標本、圖書、器械、器具	二	八
第五十類	農業、園藝、産業及畜産ノ經營方法及成績	六三	六三
計		二九、〇四四	三四、三五四

林業

第五十一類	森林ノ管理及施業	四〇	四三
第五十二類	造林及森林保護	三七四	五二九
第五十三類	伐採、造材、運材、製材、貯材ノ方法、設備及成績、木材強弱試驗ノ成績、特殊ノ器械及器具	一〇	二〇

第五部

第五十四類 木材、着色材、防腐材、乾燥材、ウエニアリング材 五二〇 一、四三七  
 第五十五類 竹材 一〇七 一六六  
 第五十六類 木竹材以外ノ林産物 八三五 一、〇〇一  
 第五十七類 狩獵 四五 一九七  
 計 一、九三一 三、三三三

水産

第五十八類 漁業 一一五 三八一  
 第五十九類 水産製造業 四、九三五 六、〇四一  
 第六十類 海鹽及副産物 三〇 三八  
 第六十一類 水産養殖業及蕃殖保護 四九 六六〇  
 第六十二類 水産業ノ方法及成績 二一 二一  
 計 五、一五〇 七、二四一

第六部

飲品

第六十三類 茶、珈琲等 一、九六一 二、一二三  
 第六十四類 酒類及其原料 一、六三五 二、〇九一  
 第六十五類 礦水、果實水 一六三 三三三  
 第六十六類 醬油、溜、ソース、味噌 一、〇七七 一、二四〇  
 第六十七類 酢、加工香辛料等 二一 二六

第七部

第六十八類 粉類及加工穀類 一三七 三二四  
 第六十九類 麵類、麵包、麩、腐皮、凍豆腐等 三二八 四六二  
 第七十類 砂糖及飴 五八五 六七一  
 第七十一類 菓子類及砂糖漬 八〇七 一、九二八  
 第七十二類 漬物及雜食品 四二八 六三三  
 第七十三類 畜産製品 一一一 八二  
 第七十四類 乾燥蔬菜及果實 三六四 三九〇  
 第七十五類 罐詰類 三九二 九四〇  
 第七十六類 飲食品ノ研究成績、製造及貯蔵ニ關スル方法並ニ器械器具 六 一三  
 計 八、一一五 一一、二四六

探礦及冶金

第七十七類 礦物及地質 五 二〇  
 第七十八類 金屬鑛業 四四 二七〇  
 第七十九類 鐵鑛業 七 七〇  
 第八十類 石炭鑛業 三三 一〇三  
 第八十一類 石油鑛業(天然瓦斯ヲ含ム) 一一 二九三  
 第八十二類 硫黃、燐鑛、黑鉛及土滷青鑛業 一七 八一  
 第八十三類 探石業 二五 四三

第八部

第八十四類 煉炭及骸炭製造業  
 第八十五類 製造冶金業  
 第八十六類 礦業用器械及器具

計

化學工業

第八十七類 一般化學藥品  
 第八十八類 硫酸及アルカリ  
 第八十九類 アルコール  
 第九十類 烟火、マッチ等  
 第九十一類 瓦斯、瓦斯副生物及コールドタル製品  
 第九十二類 壓縮瓦斯及液化瓦斯  
 第九十三類 精製樟腦及樟腦油  
 第九十四類 セルロイド及セルロイド製品  
 第九十五類 油及蠟類  
 第九十六類 膠及ゼラチン  
 第九十七類 蠟燭及石鹼  
 第九十八類 護膜及護膜製品  
 第九十九類 顔料及染料

二百十六

一七 四九  
 二四 二二九  
 六 七九  
 一八九 一、二三七

六三 四四一  
 三 一三  
 四 四  
 四〇 六八  
 一 二八  
 一 三  
 一 五  
 三 三七  
 二〇八 二八六  
 一 二  
 五一 三五一  
 二三 四七八  
 七二 二二〇

第九部

第一百類 塗料(漆液、ワニス、ペンキ等)  
 第一百一類 印内、印刷インキ、靴墨等  
 第一百二類 薰香、香料及化粧品(香水、香油、白粉、齒磨等)  
 第一百三類 紙質及紙  
 第一百四類 鞣皮、鞣革、擬革、染革等  
 第一百五類 陶磁器  
 第一百六類 硝子及硝子器  
 第一百七類 七寶器  
 第一百八類 珪瑯器  
 第一百九類 煉瓦及耐火品  
 第一百十類 セメント、石灰及燒石膏  
 第一百十一類 電氣化學製品  
 第一百十二類 化學工業ニ關スル器械、器具、設計模型等

計

染織工業

第一百三類 絹織物  
 第一百四類 綿織物  
 第一百五類 絹綿交織物

二百十七

四一 二四一  
 一七 一一七  
 一〇五 七八一  
 一、四八四 二、六三二  
 三四 四〇〇  
 七三三 三、九五二  
 三六 七〇七  
 一八 七三  
 九 二〇二  
 六五 三、四七二  
 四五 一九三  
 九 一八  
 六 六一  
 三、〇七三 一四、七七五

三、三三九 七、五一一  
 三、一三〇 六、八四一  
 七八四 一、九四六

第一百十六類	毛織物及其交織物	一四六	七五〇
第一百十七類	麻織物及其交織物	三七九	九四七
第一百十八類	雜織物	五七	一一〇
第一百十九類	段通絨段	一六	一七〇
第一百二十類	染物及加工布	六六八	二、五七六
第一百二十一類	織物用纖維及絲類(蠶絲及真綿ヲ除ク)	七八	三四二
第一百二十二類	刺繡	二二	一三六
第一百二十三類	組編物、麥稈、經木真田及麻真田	五四三	一、三七二
第一百二十四類	被服及裁縫品	六二八	三、〇三六
第一百二十五類	染織工業ニ關スル圖案、標本、竝器械器具、統計	五六	三三五
計		九、七四七	二六、〇七二
第十部	製作工業		
第一百二十六類	金屬製品及刃物類	八八四	五、〇四四
第一百二十七類	紙製品	九九	五一〇
第一百二十八類	皮革、擬革及羽毛製品	一〇	三六五
第一百二十九類	玉、石、木、竹、牙、角、介、甲、珊瑚等ノ加飾製品	一六二	九六〇
第一百三十類	塗物類、素地	八二八	三、九一〇
第一百三十一類	文房具及繪畫用具	一九七	一、七一〇

第十一部

第一百三十二類	裝身具、携帶品及旅行用具	一、一九三	一六、九四七
第一百三十三類	扇、團扇、提灯、傘等	四四二	一、三九九
第一百三十四類	武器及武裝用具	二二	九三
第一百三十五類	營業用具	二二	一二五
第一百三十六類	玩具及遊戲具	二二七	九四六
第一百三十七類	雜工作品	三四四	一、七一九
第一百三十八類	製作工業品圖案、工匠用工具等	一一三	九一
其他		一一六	八三〇
計		四、五六〇	三四、六四九
第十一部	建築及裝飾		
第一百三十九類	建築及其局部ノ設計、圖面、模型	一〇	一三
第一百四十類	一般構造ニ關スル設計、圖面、模型及材料	二九	一〇〇
第一百四十一類	耐震、耐火及防火ニ關スル構造、裝置及特殊ノ材料	一八	七二
第一百四十二類	裝飾ニ關スル設計、圖面、模型	七	九
第一百四十三類	嵌成裝飾	五	五
第一百四十四類	固定裝飾	二六	三五
第一百四十五類	裝飾ニ要スル木材、石材、人造石、テラコ、タ、石膏、漆喰	三九	三〇二
第一百四十六類	疊、敷物、花莖等	四九八	七五八
計		二、二百十九	



第十二部

第四百四十七類	建築具類	一一	三一八
第四百四十八類	家具	四四二	一九九九
第四百四十九類	點燈具	一九	八五
第四百五十類	建築衛生設備及裝具	一二	六一五
第四百五十一類	屋外建造物及庭園ノ設計、模型、圖面、材料等	三一	七四
第四百五十二類	祝典及葬祭具	六三	二四〇
計		一、二一〇	四、六二五
機械、船舶及電氣			
第五百五十三類	原動機	二七	一一三
第五百五十四類	一般機械	六五	一、三三八
第五百五十五類	工作機械	二五	六九七
第五百五十六類	製造機械	三四	八八
第五百五十七類	染織機械	三八	一九一
第五百五十八類	印刷機械	一〇	一六〇
第五百五十九類	採礦及冶金用機械	二	六
第六百六十類	土木及建築用機械	一	二
第六百六十一類	雜機械	二四	七七四
第六百六十二類	船舶	一四	一三八

第十三部

第六百六十三類	發電、電動、變成及配電用器械及器具	二五	八五八
第六百六十四類	電燈	一五	五九四
第六百六十五類	電氣鐵道	三	四七
第六百六十六類	電信、電話、電氣信號	一四	一五三
第六百六十七類	送電用材料並器械、器具	一八	四二一
第六百六十八類	電氣測定器(學術專用ノ)	七	三〇九
第六百六十九類	電氣應用裝置	六	二八
計		三三八	五、七一一
土木及通運			
第七百七十類	土木	八	三〇
第七百七十一類	鐵道、軌道及索道	五	四八
第七百七十二類	水運及海員接濟事業	五	二〇
第七百七十三類	通信	一	一
第七百七十四類	運搬具及荷造	五五	一九〇
計		七三	二八八

第十四部

第七百七十五類	經濟上ノ調査及考案	一	一
第七百七十六類	經濟上ノ諸機關ノ組織並經營ノ方法及成績	五四	八三

縣名	區別	一部	二部	三部	四部	五部	六部	七部	八部	九部	十部	十一部	十二部	十三部	十四部	十五部	馬匹部	計
兵庫	同																	九七
長崎	同																	一〇〇
新潟	同																	一〇〇
埼玉	同																	一〇〇
群馬	同																	一〇〇
千葉	同																	一〇〇
茨城	同																	一〇〇
栃木	同																	一〇〇
奈良	同																	一〇〇
三重	同																	一〇〇
愛知	同																	一〇〇
靜岡	同																	一〇〇
山梨	同																	一〇〇
滋賀	同																	一〇〇
岐阜	同																	一〇〇
長野	同																	一〇〇
宮城	同																	一〇〇
同																		二〇三

二百二十三

縣名	區別	一部	二部	三部	四部	五部	六部	七部	八部	九部	十部	十一部	十二部	十三部	十四部	十五部	馬匹部	計
神奈川	同																	九七
大阪	同																	一〇〇
京都	同																	一〇〇
樺太	同																	一〇〇
北海道	同																	一〇〇
關東州	同																	一〇〇
臺灣	同																	一〇〇
朝鮮	同																	一〇〇
人員點數																		二八二
合																		六五、一〇二
府縣別統計																		一六〇、二九三

二 府縣別統計

馬匹部	計	九〇	五一九	九〇	六五、一〇二	一六〇、二九三
第七十七類	工業監督及職工ノ保護	四	五			
第七十八類	救濟及病傷者救療	一二	一五八			
第七十九類	傳染病豫防及公衆衛生	七	二四二			
第八十類	統計	一二	三〇			

二百二十二



東京高等師範學校

中學生ニ實驗セシムル物理器械及說明表 中學生物理實驗成績 生徒用机腰掛說明書 机腰掛ノ改良ト背柱彎曲者ノ増減表 運動ニ堪能ナル生徒ノ學業成績表 生徒病氣五箇年統計 年中行事一斑 生徒修學旅行記 圖書寫生用標本臺及標本竝ニ生徒成績品 習字兼用圖書教室机博物教授ノ概況及其ノ成績 理科用具竝ニ手工成績品

東京女子高等師範學校

學校一覽 學校一覽表 地理實習成績品 理科手工化學實驗品 動物實驗圖 植物實驗圖 裁縫成績品 刺繡用具 刺繡編物用絲 編物造花圖書教授用具 圖書 家事實習標本 手工 寫真 其他附屬小學校出品十五點 附屬幼稚園出品二點

朝鮮總督府

各種動物標本 朝鮮歷史地圖 刺繡及裁縫品軍艦模型等 舊度量衡器 木製秤秤 木製枱 經書印刷方法

臺灣總督府

中學校生徒成績品 高等女學校成績品 小學校兒童成績品 國語學校生徒成績品 附屬女學校成績品 公學校生徒成績品 藩人公學校生徒成績品 教育狀況一覽及寫真 教科書 「ダイジャック」外五十七點 度量衡改正沿革 同新舊比較 同供給比較

樺太廳

小學校兒童成績品

東京美術學校

校內寫真

東京高等工業學校

在學生府縣別表 同各科別表 最近十箇年入學志願者及其百分比列表 卒業生職業別表 同就職地方別表 附屬工業補習學校一覽 各科出品

京都高等工藝學校

生徒成績品 材料試驗器

東京高等商業學校

在學生卒業生ニ關スル統計圖類 本校寫真 成績品 本校一覽 本校調査部學生調査報告書二十種

上田蠶絲專門學校

外國種蠶ノ繭及生絲標本 軟化病蠶ノ寫真及細菌培養標本 絹絲ノ化學的分解生成物 絹絲紡績標本

東京高等蠶絲學校

絹織物生産順序 蠶ノ種類試驗成績 蠶飼育法試驗成績

臺灣總督府農事試驗所

講習生寄宿舎 教室寫真

文部省及東京府

通俗教育

東京盲學校

本校發達竝ニ現在一覽 萬國盲人比較表 諸統計表 生徒成績品 教育細目 點字教科書 同參考書 教授器械

東京聾啞學校

生徒成績品 發音教授用具 統計

第三部

農商務省

產業組合ノ發達表 農會狀況 農家階級 耕地整理施行地面積 耕地利用 農家用揚水機一覽表 農家ト耕地 耕地整理成績竝ニ全國土地ノ利用及水利現狀圖 農產物生産額表 桑園繭生絲對照表 生絲生産輸出比較表 販賣肥料統計表 最近各國家畜頭數比較 家畜增加趨勢表

農商務省農事試驗場

本邦土性略圖 農具設計圖 「ブラウ」雜形 米品種改良試驗成績 土壤生產力試驗成績 各種土壤標本 各種肥料標本 病蟲害寫真圖 病蟲害標本 病蟲害驅除豫防劑 葡萄醋標本 整枝果樹標本 果實標本 蔬菜各種 果實「シラップ」及「シヤム」 蔬菜及果實分布圖 建物寫真

農商務省蠶業試驗場

蠶ニ於ケル「メンアル」氏法則模型 掛合繭標本 桑葉形圖 繭及生絲標本 絹織物及其原料 蠶雌雄圖 同雌雄營養比較 生絲成分 蠶ノ微粒子病々原體發育圖模型圖 蠶卵胚子發達圖

農商務省月寒種畜場

飼料栽培圖 乳牛寫真 放牧場寫真 農產製造品及製造狀況圖 種羊ニ關スル圖 燕麥刈取圖

大藏省專賣局

「レンク」式兩切紙卷煙草用裁切機械 「ボンサング」式兩切紙卷煙草用卷機械 廣瀬式口付紙卷煙草用卷上機械 「ハツサー」式紙包裝機械 乾燥戸棚 オゾン發生機 排塵器

東京府小笠原島廳

果實各種

朝鮮總督府

穀類各種 農產及畜産ニ關スル統計表

朝鮮總督府度支部

葉煙草各種 土壤標本 試製煙草標本 人蔘種子及紅蔘 人蔘統計及沿革圖 人蔘耕作及製造油繪

朝鮮總督府勸業模範場

水稻苗ノ發育狀況及發根標本 作物病害標本 病害驅除用器 繭及生絲ニ關スル家畜蠶組 棉花杆等纖維 棉立木標本及棉圃寫真 陸地棉叢

類 甜菜 蔗叭繩等

朝鮮總督府中央試驗所

原料色染標本 農藥及蠶絲業用器具 製紙原料 米標本

關東都督府農事試驗場

穀類各種

臺灣總督府農務課

繭及生絲 植物纖維 染色、製油及製糖原料 裝飾植物及花卉類 家畜寄生蟲標本

臺灣總督府研究所

植物纖維類 酒類原料

臺灣總督府專賣局

葉煙草 製造煙草

臺灣總督府園藝試驗場

果樹苗木

臺灣總督府糖業試驗場

甘蔗各種

同 恒春種畜場

牧草飼料用野草標本 牛馬及種羊 「チース」種畜場全景寫真

臺灣總督府農事試驗場

穀類 植物纖維類 染色原料 綠肥作物 蔬菜類 牧草 咖啡豆及咖啡植物標本 作物病害標本 畜産ニ關スル標本及寫眞 臺灣土壤及母岩標本 臺灣特種土壤分布圖及寫眞 臺灣農業ニ關スル寫眞其他

北海道廳拓殖部

殖民地選定區劃測定 移住者上陸狀況寫眞 北海道拓殖圖 開墾ニ關スル寫眞

同廳內務部

北海道五町別農業經營模型 果樹及蔬菜栽培寫眞生產統計圖 種牛

同廳農事試驗場

穀類種子實 同草木標本 蔬菜類 果實類

樺太廳農事試驗場

穀類種子實及莖桿 麥子實及莖桿 西麻子實及莖桿 馬鈴薯 菅草

第四部

農商務省山林局

主要材木種子ノ形體比較、林業用種子鑑定成績圖 杉赤枯病顯微鏡圖及標本 竹類病害並ニ菌類ノ爲メニ生シタル斑紋竹ノ原因説明圖及標本 菌類種譜 毒菌及藥用菌標本 白木耳標本 害蟲標本 いぼた標本及發生圖 木材強弱試驗表 同上試驗材料ヨリ外國木工及木工器具標本 林野產物標本各種 杉及東北地方赤松ノ收穫曲線圖 間伐型式圖 落葉松ノ間伐試驗成績比較圖及試驗地林相寫眞 森林氣象觀測成績圖表 各種林相寫眞 各大林區警管内國有林產用材各種 民有林野立木地末立木地面積比較圖表 林野面積所有別比較圖 部落有林野統一未統一面積比較表 造林伐採被害面積累年比較表 國有林樹種別材積一覽表 國有林施業案ノ要旨 山毛榉製各種家具

帝室林野管理局東京支廳豐住出張所

向唐門(附屬臨門 金剛塚) 家屋模型 櫛材各種

同 木曾支廳

樺櫟等用材各種

同 静岡支廳

樺櫟等用材各種

同 青 支廳

アナ各種

同 札幌支廳

板各種

同 東京支廳

乾椎茸標本各種

同 日光箱根出張所

鱒標本及模型 鱒釣具各種

朝鮮咸鏡北道廳

シロタンマツ種子 シロタンマツ材幹

臺灣總督府阿里山作業所

紅檜其他各種用材

同 殖産局林業試驗場

材籃 古々椰子實 護謨材料 各種植物纖維 單寧洋杖原料 生植物各種其他

北海道廳

樺太廳  
木精 木炭 「ピッチ」 醋酸石灰 木「マイル」 エソ松其他樺太產材

東京府

東京市輸入重要林產物調 四谷丸太及青梅丸太分布圖

同 小笠原島廳

小笠原島ノ林業ヲ紹介スヘキ印刷物 寫真 材鑑 樹幹析解圖 同目盤 木材耐久標本 副產物製油原料及油 變色標本  
小笠原島ノ護謨事業ヲ紹介スヘキ印刷物 材鑑 木耳 寫真 護謨 樹皮等 粗製樟腦 樟腦油

青森縣

青森縣森林原野分布圖

沖繩縣

葉製樟腦

第五部

農商務省水產局

「マクドナルドラインホーラー」 「エリオットキヤプスタン」 使用秋刀魚流網漁業 「マクドナルドラインホーラー」 使用鮪延繩漁業 「モーターラインホーラー」 使用鮪延繩漁業 「モータータービンキヤプスタン」 使用鮪網漁業 漁網引網捲揚機使用帆布着網漁業 「モーターウインチ」 使用手繩網漁業 縛網捲揚機使用鋼縛網業圖解 潮流模型 水產貿易大勢圖 養殖場面積比較及現勢一斑

水產講習所

海洋調査器具 節節ニ關スル試驗 蟹類類群計肉ノ變色ニ關スル試驗 罐詰ノ熱ノ傳導ニ關スル試驗 鮪ノ各部分利用及同「リコロフ」乾燥機  
油漬罐詰用主要油ノ比重屈折率凝點「モーター」氏度數「ヘーネル」價 鹼化價沃度價等ニ關スル比較檢定及寒天ノ凝固度測定試驗ニ關スル成績  
被干物ノ重量減少程度指示計 寒天凝固測定器其他 湖沼調査器群等ノ養殖魚病保護 蠟石花菜養殖ニ關スル標本及圖畫

臺灣總督府

鹽各種

朝鮮總督府

廣瀨灣天日鹽田ノ圖面及鹽

關東都督府水產試驗場

魚類標本及製品

樺太廳水產試驗場

罐製鮭及罐鹽藏鮭及鮭粕

北海道水產試驗場

練年齡別標本及魚類標本 身缺練棒鮭及蟹罐詰製造實況寫真 鮭餅人工孵化

東京府小笠原島廳

海洋觀測表 絲蟻龜養殖ニ關スル標本

第六部

臺灣總督府茶樹栽培試驗場

烏龍茶 紅茶 茶樹脂葉

臺灣總督府農事試驗場

馬鈴薯 甘藷 「アロールト」 「キヤサハ」ノ澱粉 加工穀類

關東都督府農事試驗場

葡萄酒 「ブランデー」

北海道農事試驗場

馬鈴薯澱粉 小麥粉 玉蜀黍及麥ノ挽割等

東京府小笠原島廳

白下糖 和式再製糖

第七部

農商務省鑛山局

全國重要鑛山分布圖 同重要鑛產價額比較圖 同上比較表 本邦鑛業趨勢一覽 本邦鑛業一斑 各鑛務管內鑛區一覽

農商務省鑛山局地質調査所

日本地質圖 二百萬分一日本地質圖及鑛產圖 四十萬分一西部地質圖及西部鑛產圖 三萬分一石油田圖及一萬分一常磐炭用第一區地質圖

二十萬分一地質及地形圖幅(東京本曾伊豆) 二萬分一東京地質圖 諸地質圖說明書 地質要報 地質調査所報告 北海道鑛物調査報告 本邦

支那石炭分析表 岩石標本 鑛物標本 有用鑛物大標本 間歇泉沈澱物 模型地圖(富士圖幅 伊豆大島 爆裂前後ノ雙梯山)

朝鮮總督府鑛務課

金銀鐵銅鑛「マンガステン」鑛石炭黑鉛標本

同 平壤工業所

無煙炭 煉炭

臺灣總督府鑛務課

全島ノ岩石化石及鑛物標本

同 研究所

石油及精油 沈澱鑛物北投石

同 宜蘭廳

硫黃及金鑛標本

關東都督府工科學堂

南滿州產銅鐵鑛 硫化鐵 鉛 亞鉛鑛 礪石 泥炭石灰石 花崗石其他諸岩石標本

第八部

關東都督府

苛性曹達 大豆油 硬化油 晒粉

東京府小笠原島廳

「レモン」ガラス「油」 「オチャ」油

第九部

農商務省

日本、佛蘭西、伊太利產生絲ヲ以テ製織シ其ノ結果ヲ試驗セル無地織子 縞織子 羽二重



朝鮮總督府農工局

朝鮮ニ於テ需要セラルル本邦支那及歐米製織物

同 李王家美術品製作所

紗緞子 柞蠶織

臺灣總督府殖產局商工課

臺灣ニ輸入スル英國產綿布 交織 佛國產綾吳縐 支那產綿布麻布絹布

東京府小笠原島廳

「タコ」ノ纖維ヲ以テ製織セル織物

第十部

朝鮮李王家所管美術製作所

製作品各種

臺灣總督府

製作品各種

樺太廳

靴

第十三部

鐵道院

中央停車場模型及新橋停車場本屋模型 田端操車驛模型 鹿兒嶋本線螺旋模型 山陰線餘部橋梁模型 車輛模型 連絡船高麗丸新羅丸模型

東京市

東京港模型 隅田川口改良工事 淺瀬埋立作業模型 日本橋附近路面及地下埋設物模型 水道淨水裝置模型

愛知縣名古屋港模型

三重縣四日市築港模型並伊勢灣模型

富山縣伏木港模型

第十四部

農商務省農務局獸疫調查所

免疫血清等九十一點

農商務省商工局

世界ノ貿易ニ於ケル日本ノ地位 日本貿易ノ趨勢 農商務省商品陳列館事業成績

農商務省特許局

特許、意匠、商標及實用新案府縣別現在件數 特許、意匠、商標及實用新案件數累年比較 各國特許、意匠、商標及實用新案登錄件數比較表

朝鮮總督府度支部

統計圖表十四點

同 農工商部商工課

統計圖表十點

朝鮮總督府司法部

統計圖表六點

同 警務總監部

統計圖表二點

同 鐵道局

統計圖表三點

同 遞信局

統計圖表五點

東京府

東京府都部東京市接續町村現住戶數人口十六年間ノ變遷 東京府都部東京市附近町村現住戶數人口十六年間ノ變遷 東京府市區町村稅收入額並ニ現住一戶ニ付負擔額累年比較 東京府歲出額ノ內土木費並ニ同現住者一戶ノ負擔額累年比較 東京府廳出額ノ內教育費並ニ同現住者一戶ノ負擔額累年比較 東京府管內傳染病患者及死亡者累年比較 東京府管內死亡者病類別市郡對照表 東京府管內精神病院患者入院月別累年比較 東京府管內精神病院別患者累年比較 東京府都部東京市接續町村有業者第一回調査ニ對シ第二回調査ノ職業狀態 東京府都部東京市附近町村有業者第一回調査ニ對シ第二回調査ノ職業狀態 東京市內米大麥ノ聚散並ニ酒味淋ノ賣捌高累年比較 東京市內醬油薪炭石油及種油賣捌高累年比較 東京市內諸物價累年比較 東京市內米大麥ノ聚散並ニ酒味淋ノ賣捌高累年比較 東京市內醬油薪炭石油及種油賣捌高累年比較 東京市內諸職業賃錢累年比較 東京府管內市町村立小學校教員兒童累年比較 東京府管內公私立各種學校種類別累年比較 東京府管內市郡別學齡兒童就學步合累年比較 東京府管內公私立中學校高等女學校教員生徒累年比較 全生病院收容患者表 全生病院ニ於ケル癩患者ノ生活狀態 東京市內宿泊延人員隔年比較 東京府管內織物業年比較 東京府管內汽車乘降客及出入貨物累年比較

東京市

東京市人口ノ密度 東京市現住人口ノ増加 東京市及附近町村現在人口增加力 東京市ニ於ケル建物 東京市ニ於ケル瓦斯ト電氣 東京市ニ於ケル火災 東京市純歲出入 東京市純歲出入經濟別 六大都市租稅負擔額 東京市面積 東京市ニ於ケル死亡者ノ年齡ト死因 東京市ニ於ケル死亡者ノ職業ト死因 氣温ト死亡トノ關係 東京市現住人口ノ本籍寄留別 東京市本籍人配偶結婚及婚姻離婚 東京市ニ於ケル生産及死亡 東京市ニ於ケル物價ト賃金 東京市民ノ貯蓄金 東京市ニ於ケル實屋ト賃物 東京市ニ於ケル鐵道旅客 東京市ニ於ケル人力車、自轉車、自働車、馬車 東京市現住人口ノ年齡 東京市各區人口ニ付一年平均所得金決定額 東京市各區民一年平均市稅及區費負擔額 東京市內及隣接町村ニ於ケル木賃宿及其宿泊人員ノ増減 東京市內白米小賣相場ト市內社會的現象 東京市內及隣接町村ニ於ケル社會救濟事業一覽 東京市養育院收容者増減及經費支出額 東京市養育院總收容者入院及退院月別並ニ四季別 東京市養育院安房分院及巢鴨分院收容者増減 東京市養育院感化院并ノ頭學校生徒増減 東京市職業紹介所事業成績 東京市施療病院患者各區別 東京市施療病院患者病症別 東京市ノ監護ニ係ル精神病者及其ノ監護費

日本赤十字社

醫板及行李等七十四點

馬匹部

馬政局

「サラブレッド」「ギドラン」「アングロノルマン」「ハリニーハルシユロン」ノ馬匹五頭

### 第八節 出品ノ搬入及搬出

#### 出品搬入

出品物ノ輸入ニ就テハ規則第二十二條ニ示ス如ク大正三年一月十日ヨリ同年三月十五日迄ヲ期限ト定メ極力是カ勵行ニ力メタリト雖モ開會式前日ニ到ラスシテハ全部ヲ了スルコト能ハサリキ各府縣出品ハ府縣委員指揮ノ下ニ事務局直接出願者ハ其ノ箇人タルト團體タルトヲ問ハス孰レモ陳列館主任監督ノ下ニ搬入陳列セリ出品人或ハ其ノ代理人共ニ出頭セス

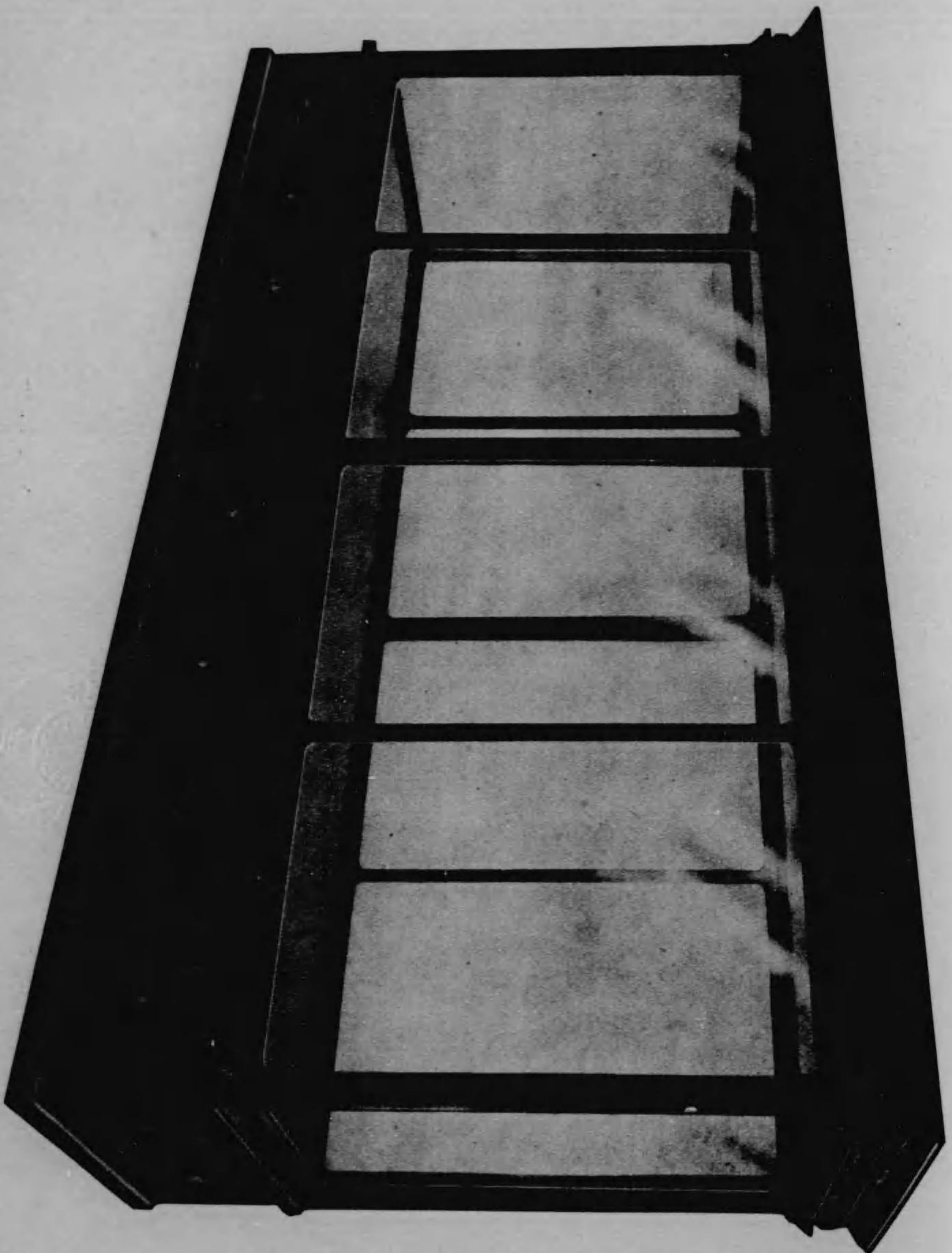
シテ單ニ出品物ヲ送付シ來リシモノハ受附ニ於テ之ヲ各部陳列館主任ニ交附シ陳列館主任  
ハ搬入目録ト現品トヲ對照シテ後陳列セリ

出品搬出

物品ヲ會場外ニ搬出スル場合ニハ開會中ト閉會後トヲ問ハス其ノ取締ヲ嚴ニシ搬出セント  
スル物品及ヒ其ノ數量ヲ當該係員ニ示シテ搬出證書ノ交付ヲ受ケシメ更ニ出門ノ際守衛ハ  
搬出證書ト共ニ點檢ヲナセリ  
殘品受取ハ普通八月七日ヨリ十日迄ノ間ニナスヘキコトヲ通達シ賣約品引渡ニ大ナル混雜  
ヲ來ササル見込ノ向ハ四日ヨリ開始セシメシカ殘品受取證ハ別ニ之ヲ徵收セス只出品臺帳  
ニ月日及記名調印ヲ以テ可トセリ

搬 出 證	大正三年 月 日	東京大正博覽會 縣府 委員
-------------	----------	------------------

東京府陳列館子之棚之圖



- 一、寸法 總高九尺六寸、内(腰高)二尺三寸、敷居一十二分、硝子戸六尺三寸、総腹八寸八分(奥行) 外法五尺、間口 九尺ニ硝子戸二枚引トナス
- 二、硝子板 長六尺五分、幅四尺三分、厚<sup>サ</sup> (至三分)ノ硝子板ヲ使用ス
- 三、用材 本柱目取ノ日本産オーク材
- 四、塗 用材ノ糊質(本地肌)ヲ表ハシ光澤アル透明塗ニ仕上ク

## 第九節 陳列

### 一、陳列概況

出品陳列ニ關シテハ陳列棚ノ設計以外事務局ニ於テ干涉ヲ試ミサリキ蓋シ近時我國ニ於ケル飾窓ノ研究竝ニ其ノ方法ハ著シク進歩シ殊ニ本會ニ於テ陳列裝飾ノ優秀ヲ期センカ爲メニ審査授賞ヲ發表セシコトト相埃テ陳列雄偉放膽ナルアリ又ハ細心統計的ノモノアリ各其ノ特色ヲ發揮シテ自己出品ノ説明廣告ニ關シ遺算無キヲ期セントスルモノ比々皆然レハナリ各府縣陳列箱ハ總テ府縣自ラ調製シタルモノナルカ其ノ陳列全ク個々ニ互ラスシテ個人ノ製品ヲ統一シ綜合シ以テ府縣全體ニ於ケル教育産業ノ現況ヲ系統的ニ説明セント試ムルモノ多カリシハ又從來ノ陳列ト異ルトコロナリ自費ヲ以テ陳列裝置竝ニ裝飾ヲナスモノニ對シテハ豫メ詳細ナル説明ヲ徵シ本會ノ認可ヲ受ケシメシカ各々宏壯ヲ競ヒ嵩大ノ裝置ヲナシ爲メニ光線ノ透射ヲ妨ケシモノアリシヲ遺憾トス將來ニ於テハ天井ノ高下光線ノ明暗通路ノ廣狹ニ應シテ適當ノ制限ヲ設ケサルヘカラス

本會ニ於テ設備セル陳列棚ハ別圖ノ如シ

閉會後ニ於テ陳列棚ノ取片付ハ八月二十五日迄ニ全部終了セシメタリ

### 二、陳列順序

何レノ陳列館タルヲ問ハス優秀若シクハ劣等ノ位置アルヲ免レス茲テ以テ各府縣ノ陳列順

序ニ關シテハ豫メ關東區、中國區、近畿區、東北區、東海道區、四國區、九州區、北陸區ノ八區ニ別テ大正二年十一月十日府縣勸業主任打合會ニ方リ抽籤ヲ以テ陳列館入り口右側ヨリ左ノ順序ニ依ルコトト決定セリ

- 一 關東區 東京 埼玉 千葉 神奈川 山梨 長野 茨城 群馬 栃木
- 二 中國區 兵庫 鳥取 島根 岡山 廣島 山口
- 三 近畿區 京都 滋賀 和歌山 大阪
- 四 東北區 青森 福島 山形 秋田 宮城 巖手
- 五 東海區 靜岡 岐阜 愛知 三重
- 六 四國區 高知 香川 德島 愛媛
- 七 九州區 大分 沖繩 宮崎 長崎 鹿兒島 福岡 熊本 佐賀
- 八 北陸區

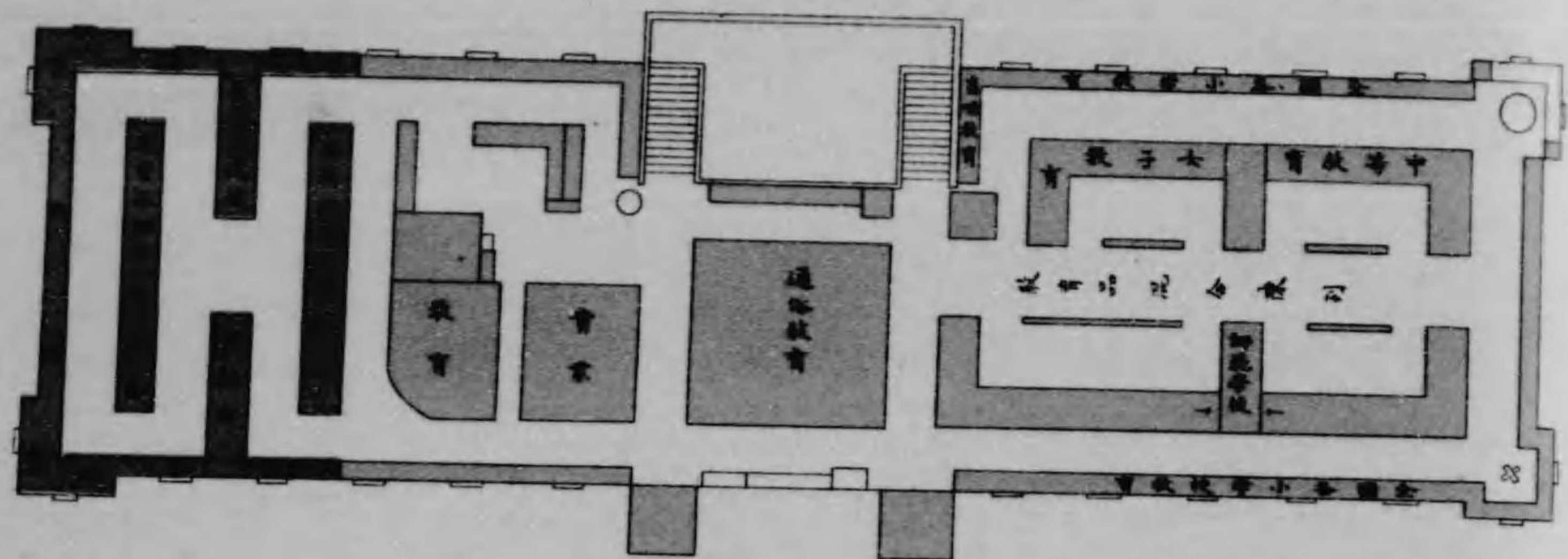
新潟 福井 石川 富山

三 陳列面積及道路面積

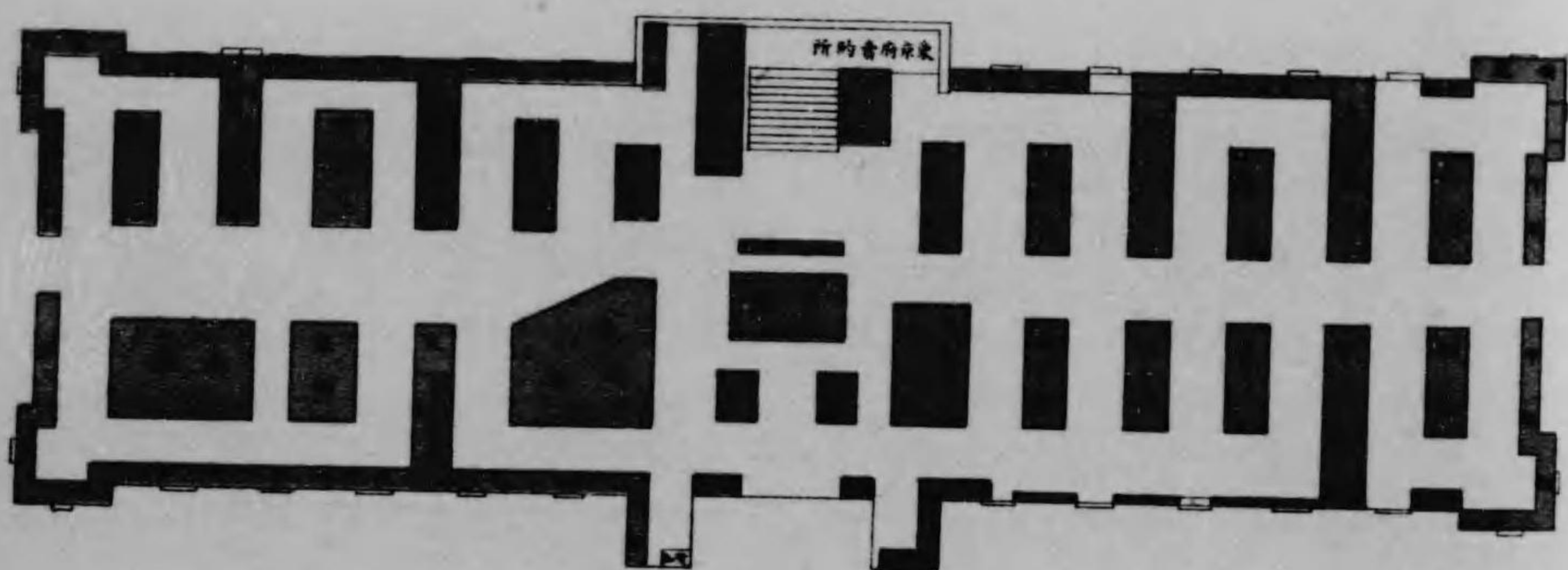
各陳列館ニ於ケル部別陳列延長及ヒ陳列其ノ他ノ面積ヲ擧クレハ次ノ如シ

部別	陳列延長	陳列面積	道路面積	館全面積ニ對スル陳列面積ノ比例	館全面積ニ對スル道路面積ノ比例	陳列面積ニ對スル道路面積ノ比例
第一工業部	六六七 <small>小間</small>	二七七 <small>坪</small>	三八〇 <small>坪</small>	〇、四二二	〇、五七八	一、三七
第二工業部	三九二 <small>小間</small>	一七〇、八九	四九四、九七三	〇、三〇〇	〇、七〇〇	二、二九
第三工業部	一三八	四五、一三七				
計	五三〇	一一六、〇二七				
第一工業部	六六三 <small>小間</small>	二二二、〇五				
第二工業部	二六四 <small>小間</small>	六五、九五				
第三工業部	三六九 <small>小間</small>	一五六、〇八				
計	六三三、三	二二二、〇五				
水産部	一、〇〇八 <small>小間</small>	三九〇、五七	八五七、四三	〇、三二〇	〇、六九〇	二、一九
第五部	二五二 <small>小間</small>	八二、九	一八〇、四	〇、三四八	〇、六五二	一、八〇
第六部	四八	一四、七				
計	二五二 <small>小間</small>	八二、九	一八〇、四	〇、三四八	〇、六五二	一、八〇

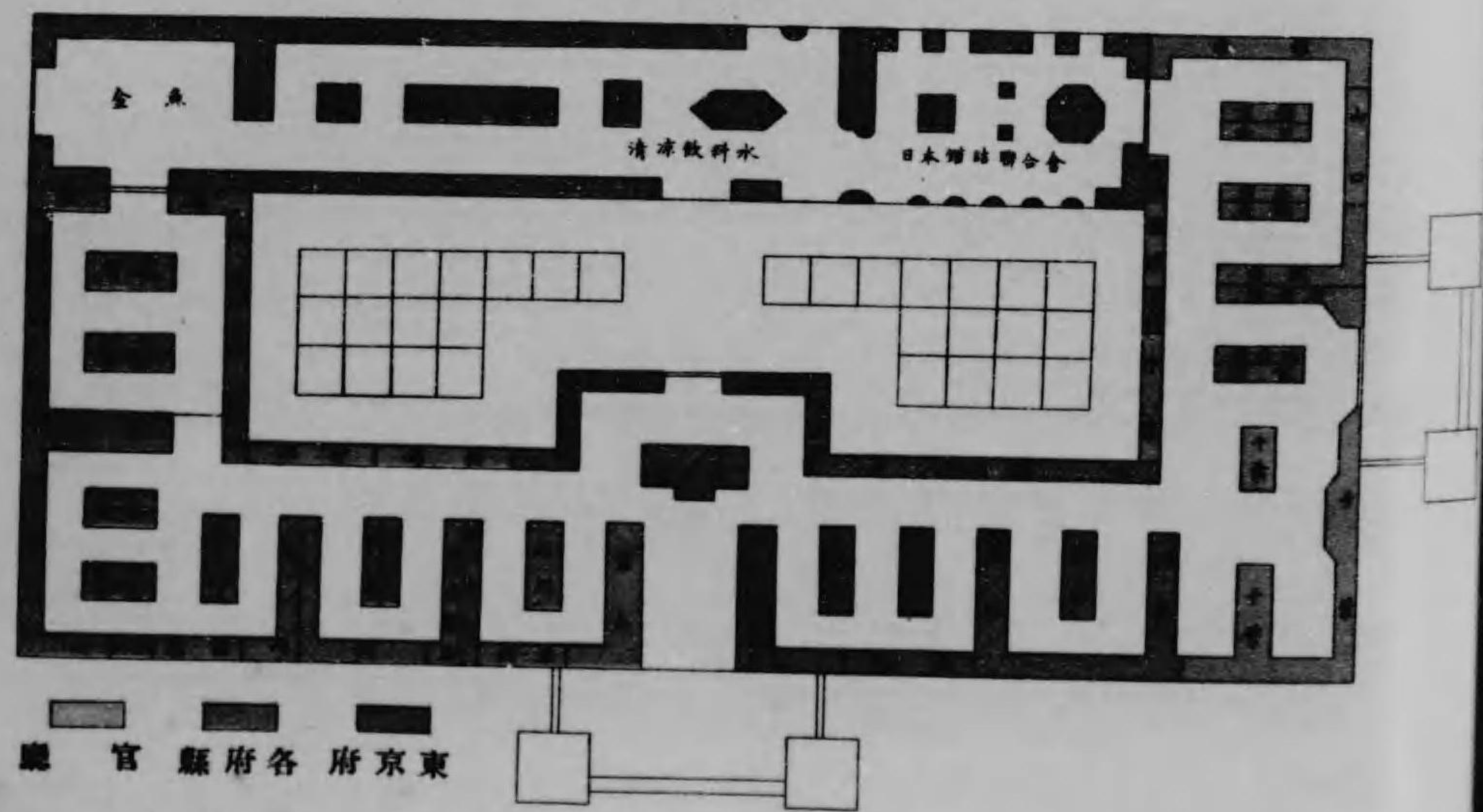
圖之上階館藝學及育教



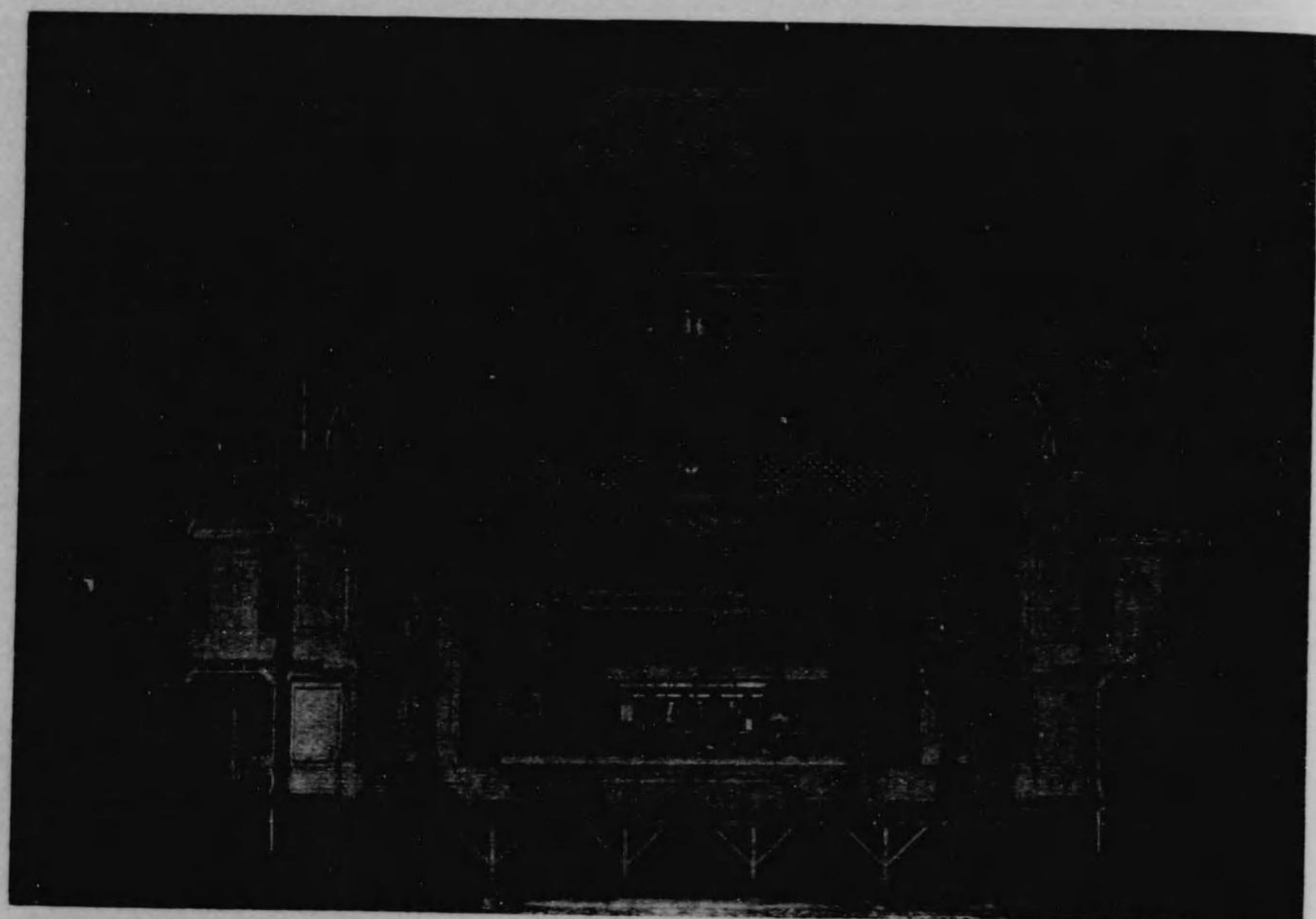
圖之下階上同



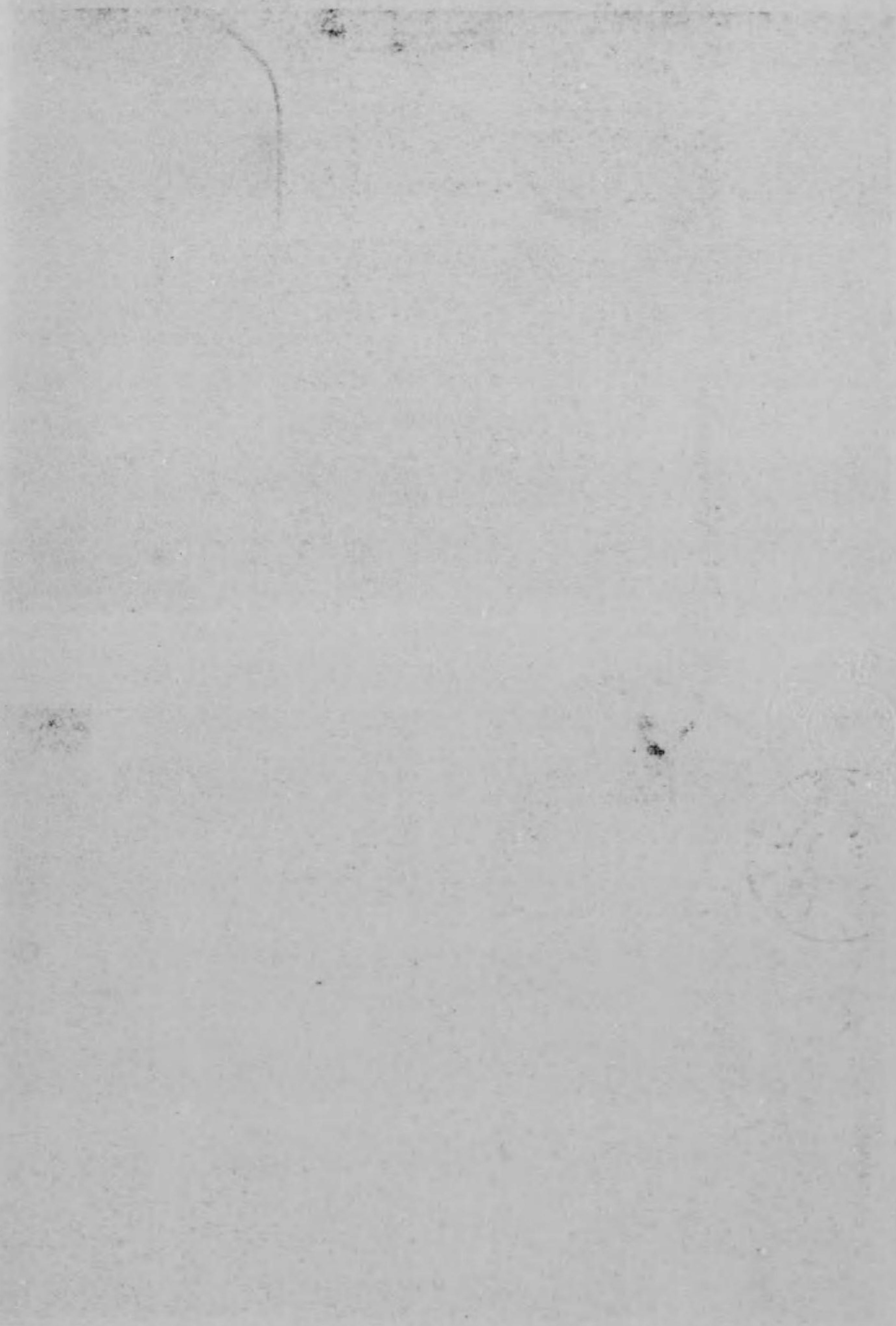
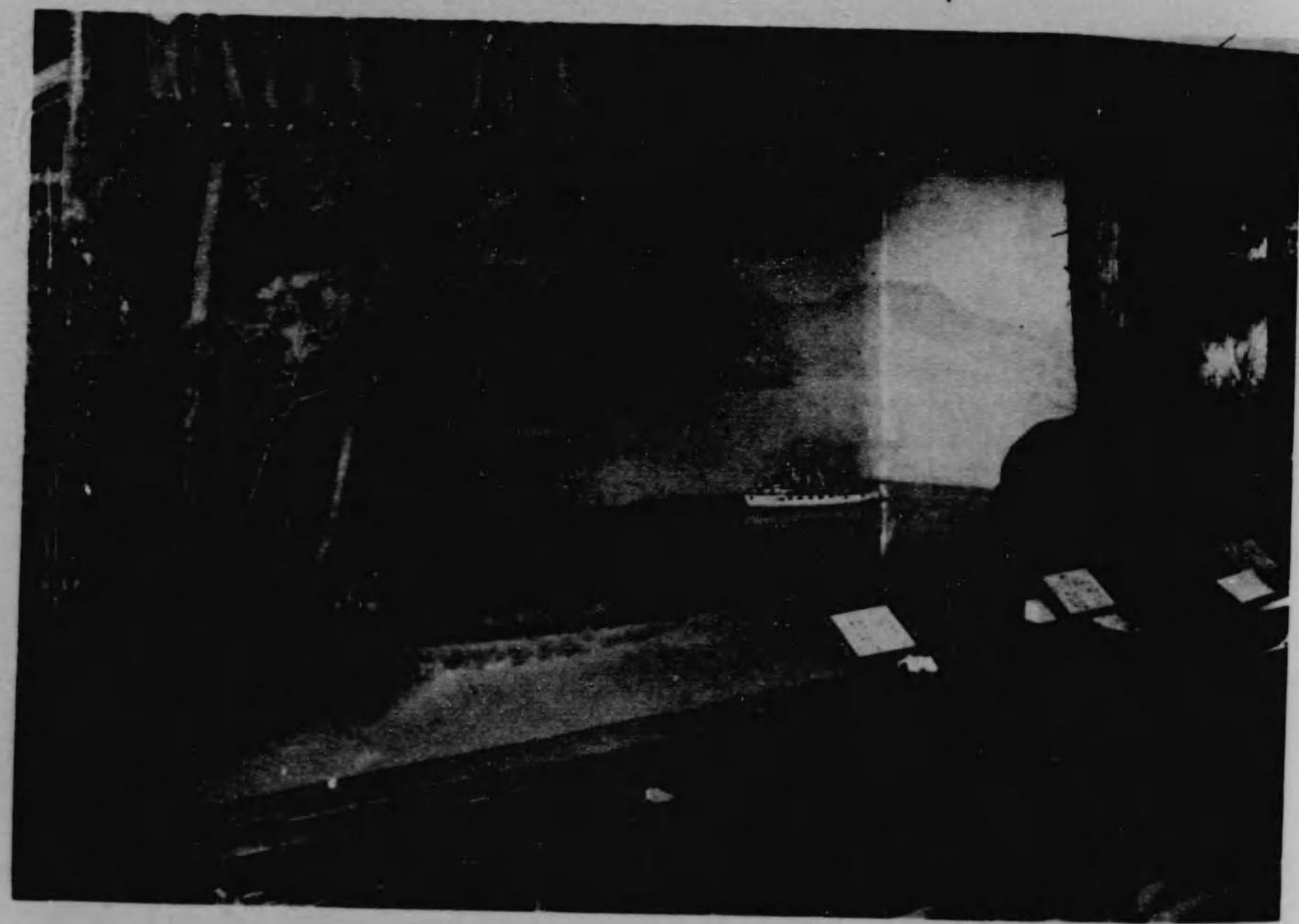
圖之館產水



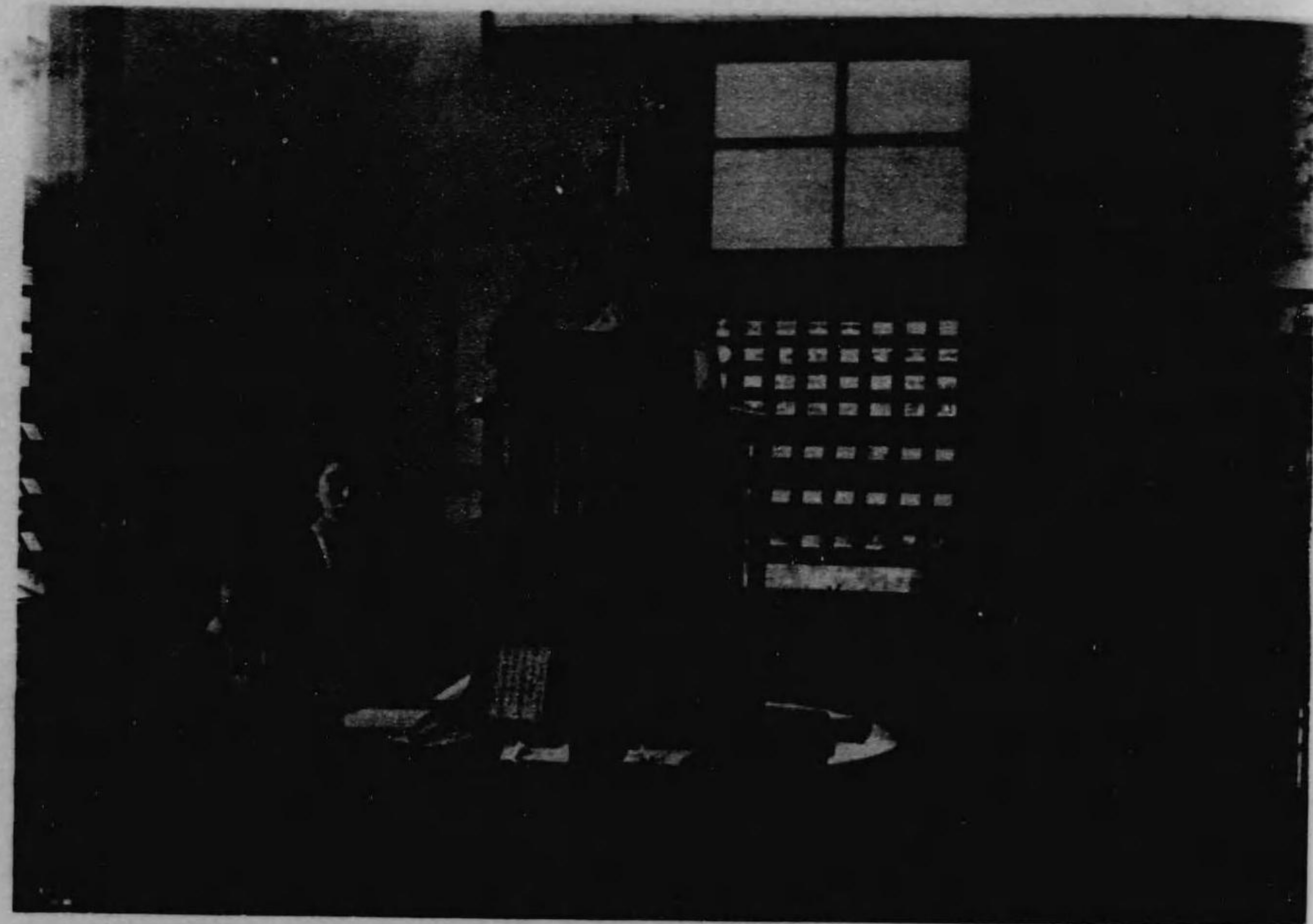
第九部	第九部	第十二部	第十三部	第三部	第七部	第四部	第一部	計
染職別館	染織館	機械館	運輸館	農業館	礦山館	林業館	美術館	
三百五十坪	一千八坪	八百四十六坪	三百四坪	六百九十六坪	二百七十七坪	二百七十七坪	千坪	三〇〇
二九〇	六九七	三六九	四三九、五	二二七	二二一、七	二二一、七	五二六、二五	九六、六
二二〇	二九二、三	四七七	一九四	二七二	一〇五、八五	一〇四、三	八七八	
二二〇	七二五、七	〇、四三六	一〇〇	四二五	一七一、一五	〇、三八二	〇、二〇四	
〇、三四三	〇、二八九	〇、五二八	〇、六三八	〇、三九〇	〇、四〇九	〇、六一八	〇、八七八	
〇、六五七	〇、七九八	一、二七	〇、三六一	〇、六一六	〇、五七〇	一、六〇	八、四八	
一、九〇	二、七九		五、六七	一、五七	一、一〇			



育教俗通品出館藝學及育教







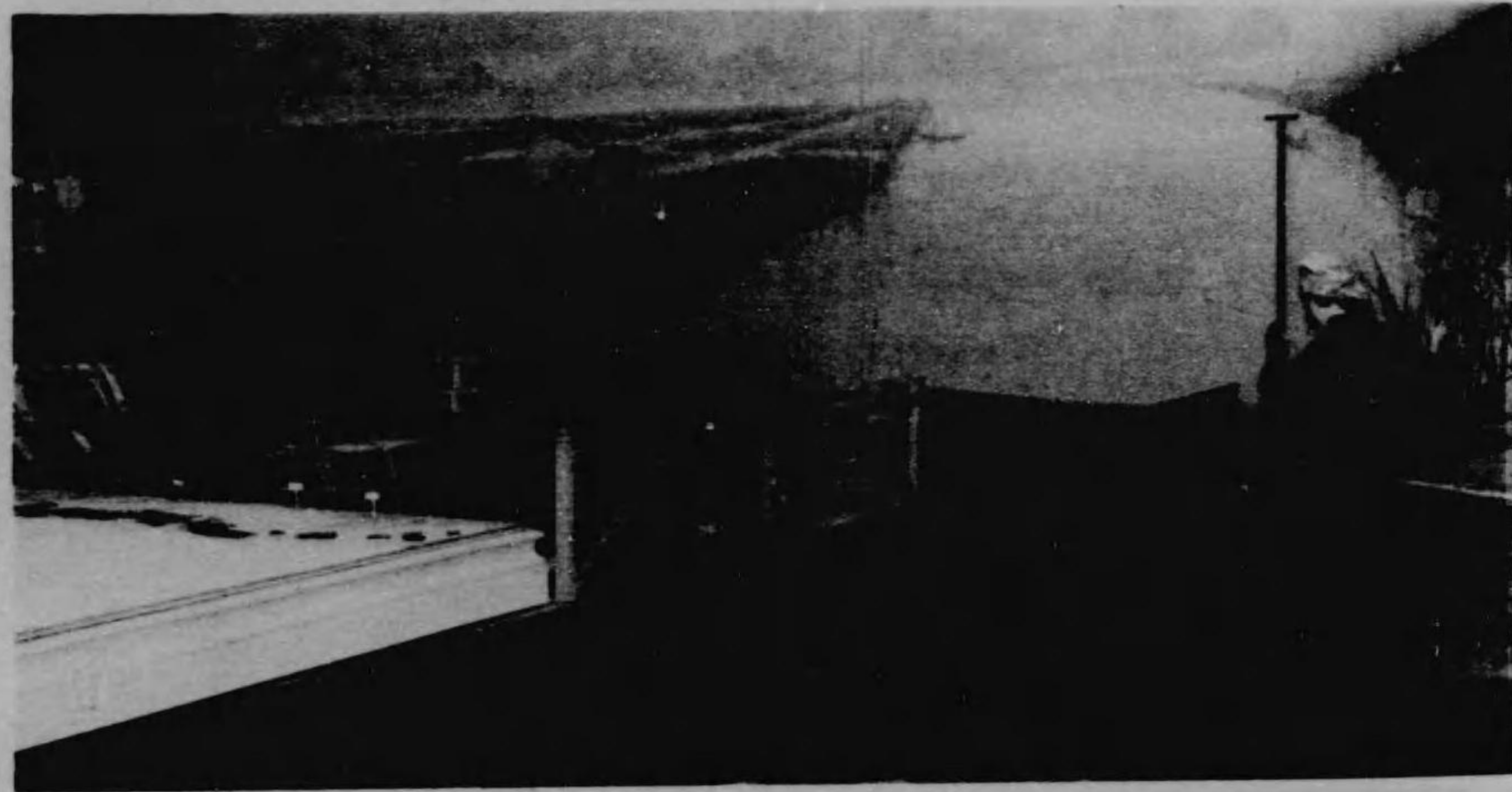
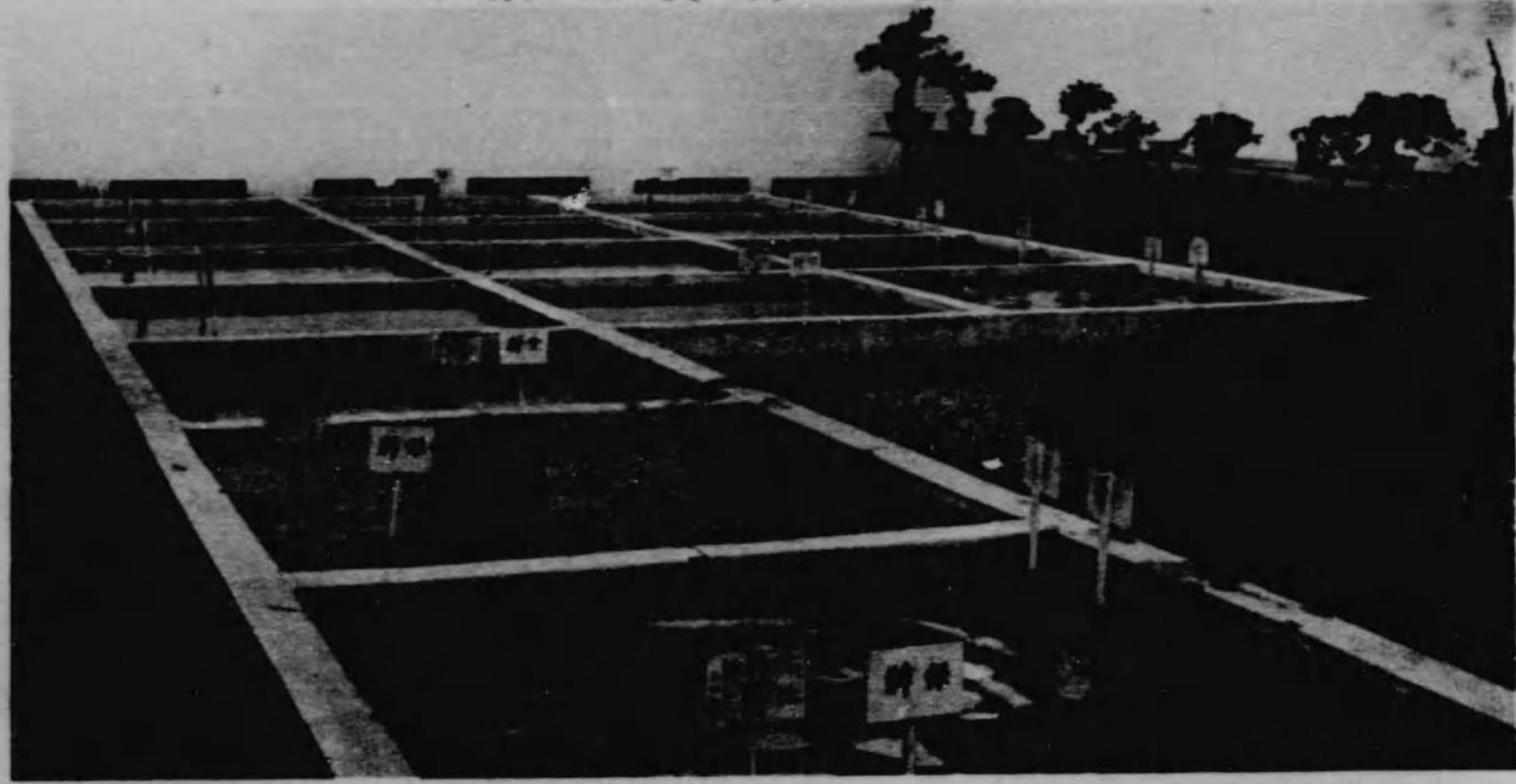
品 出 省 部 文



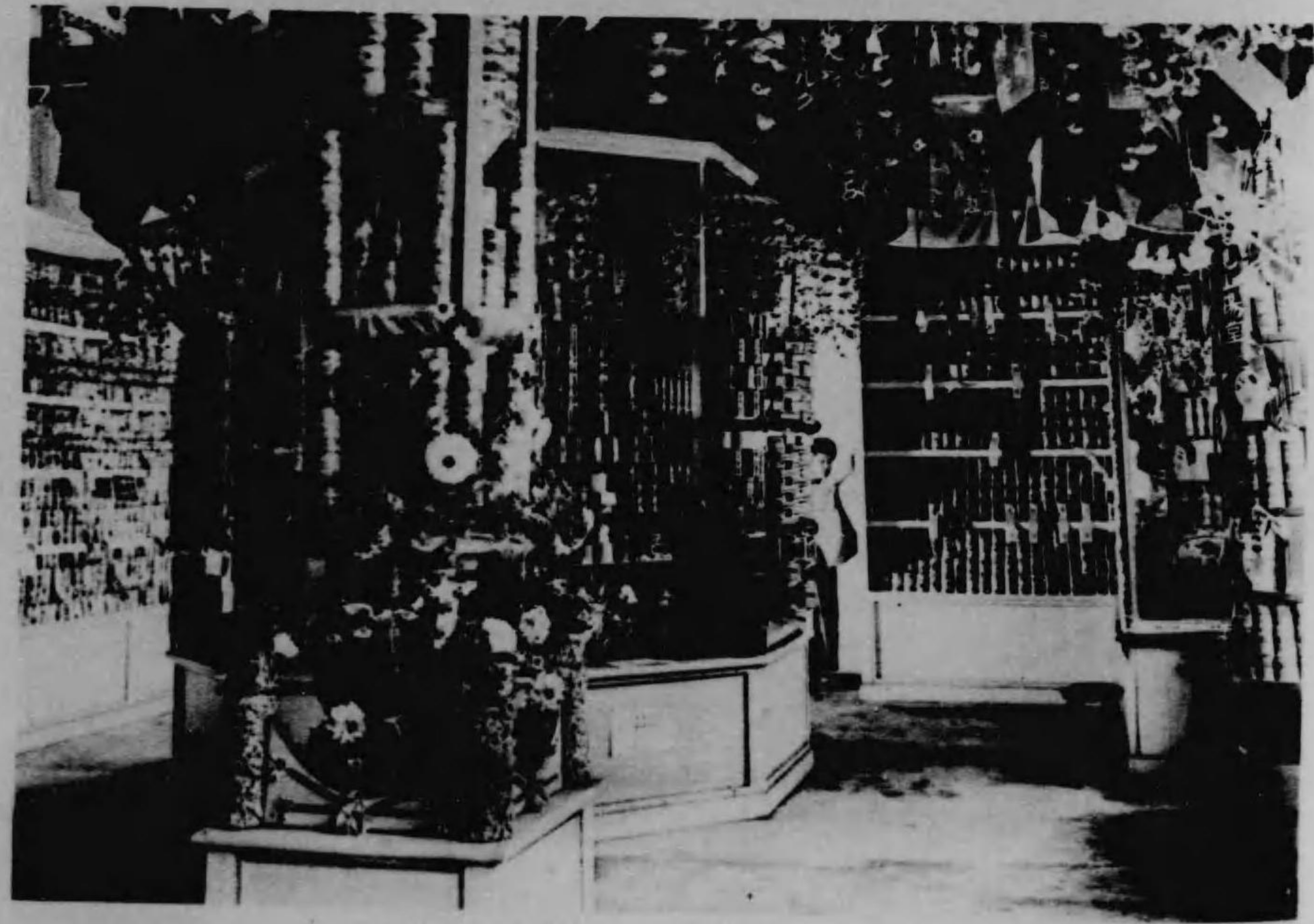
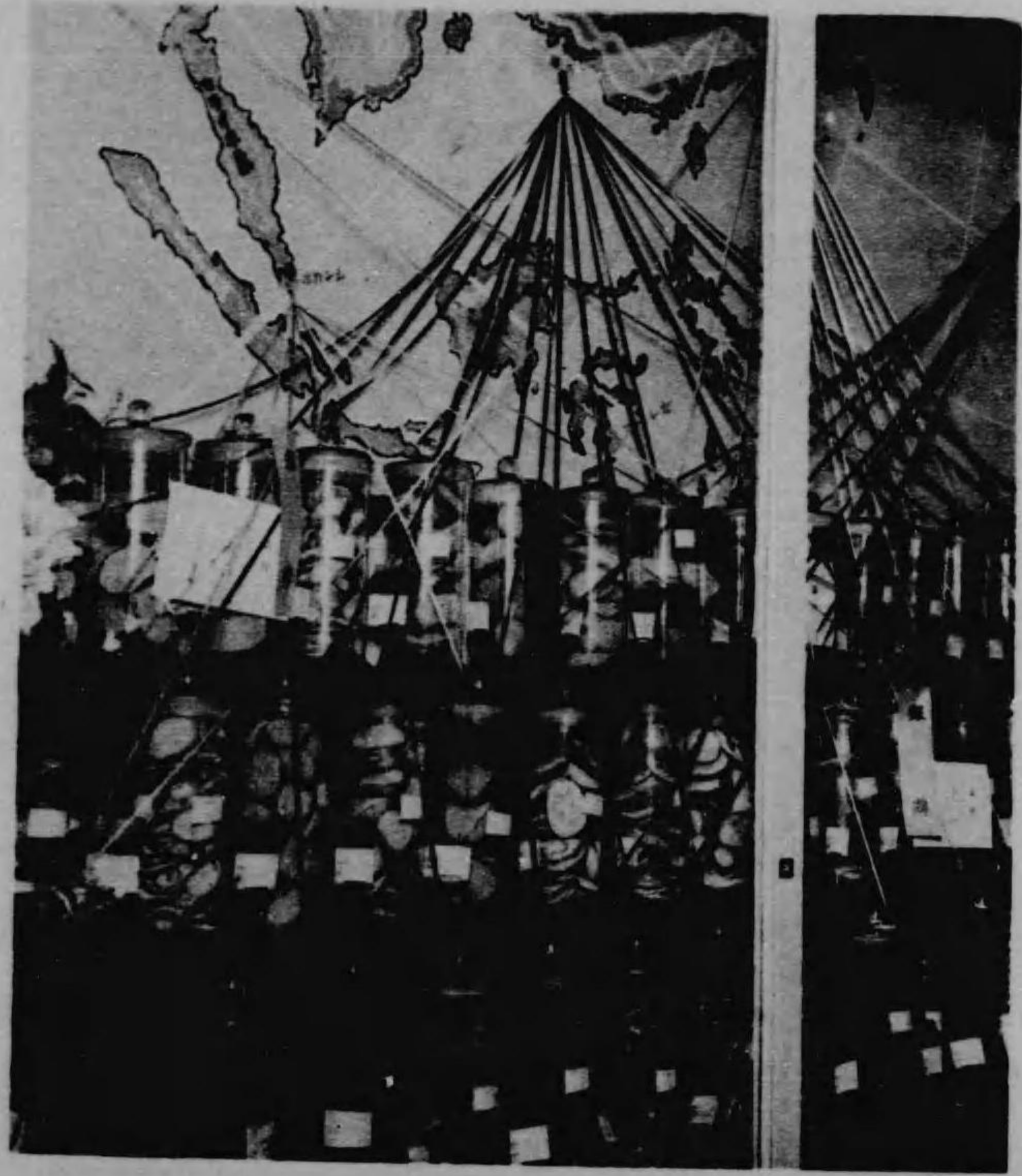
品 出 府 京 東 · 省 部 文



水産館内出品状況



水產館內陳列狀況

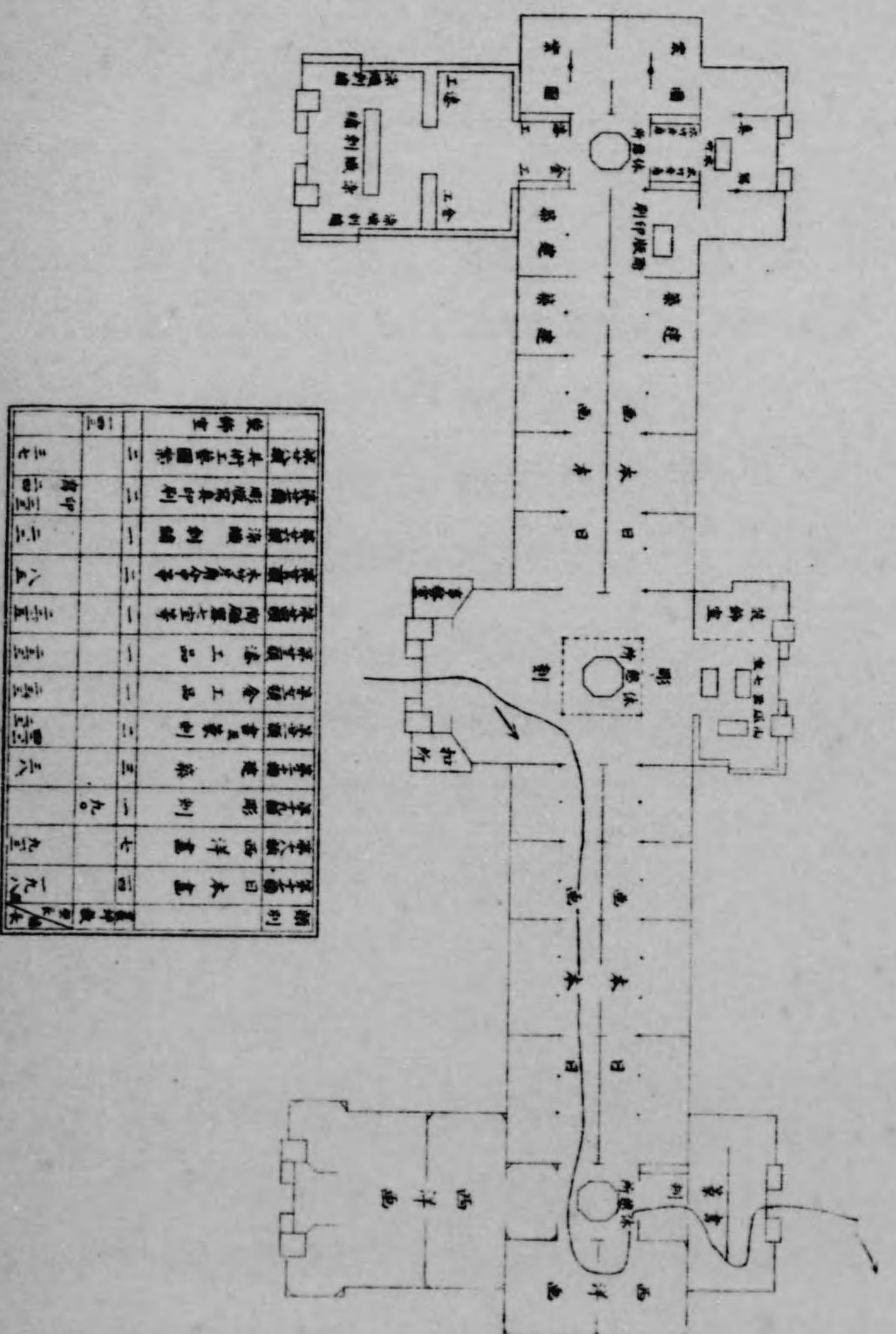


鐘詰陳列

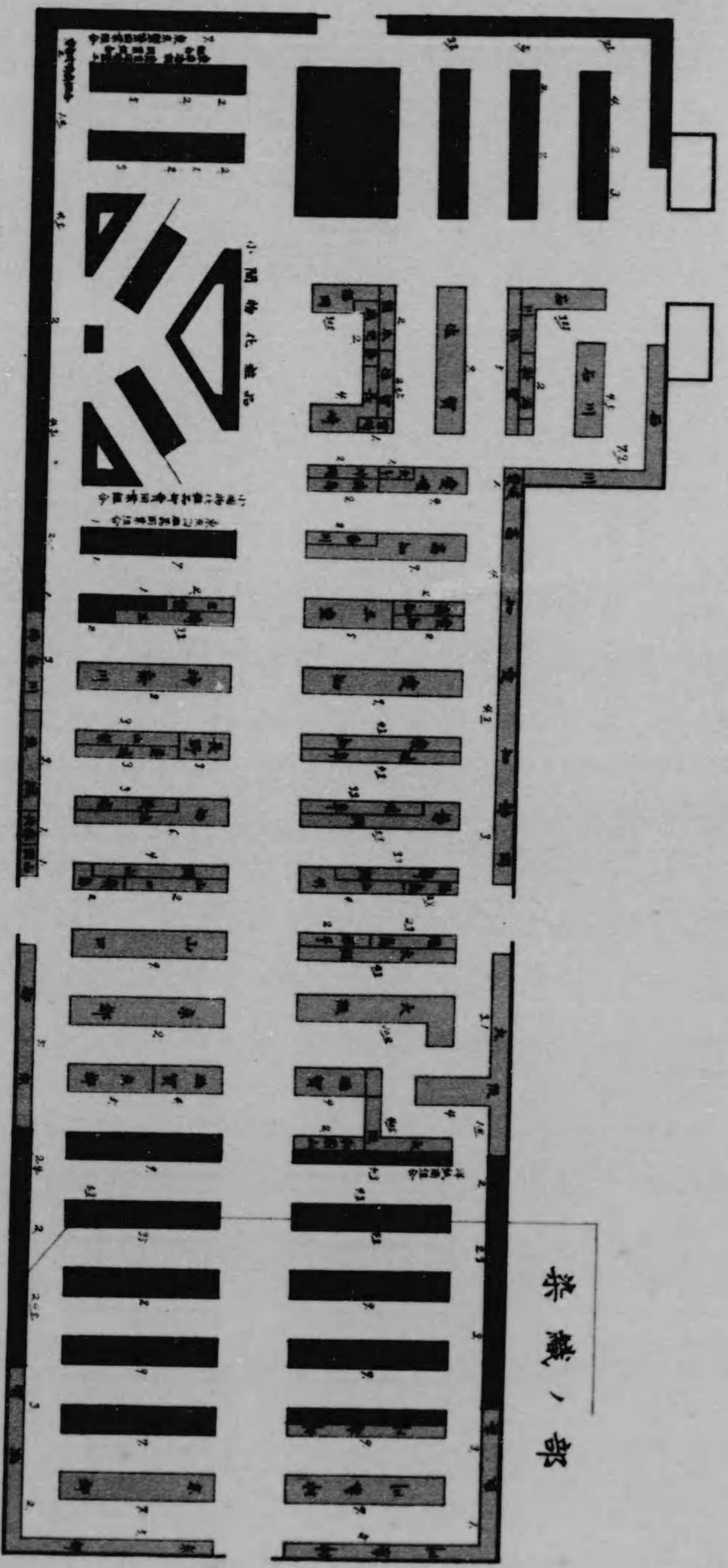
衛生經濟館出品狀況



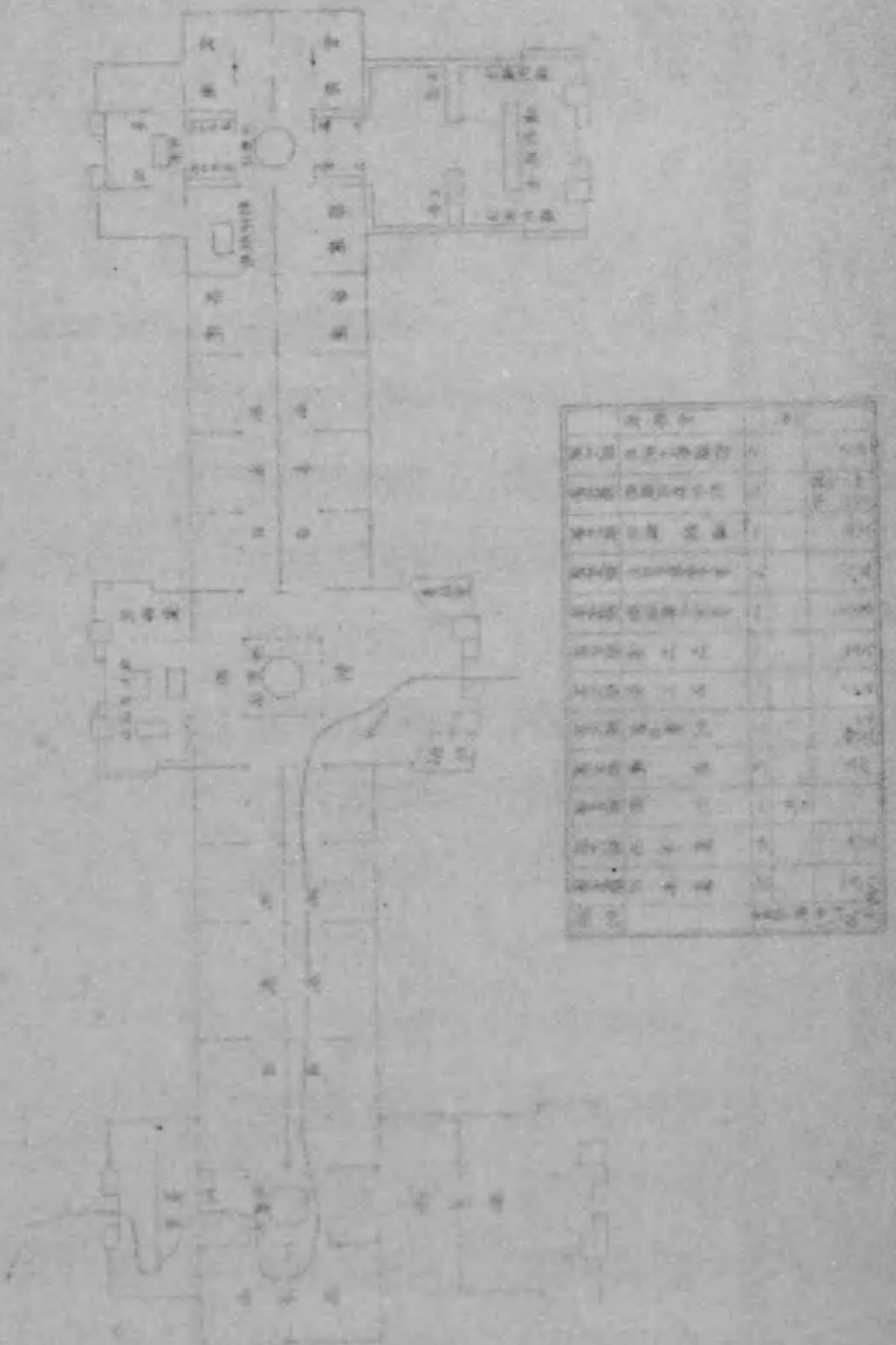
美國藝術區劃圖  
縮尺八百分之一



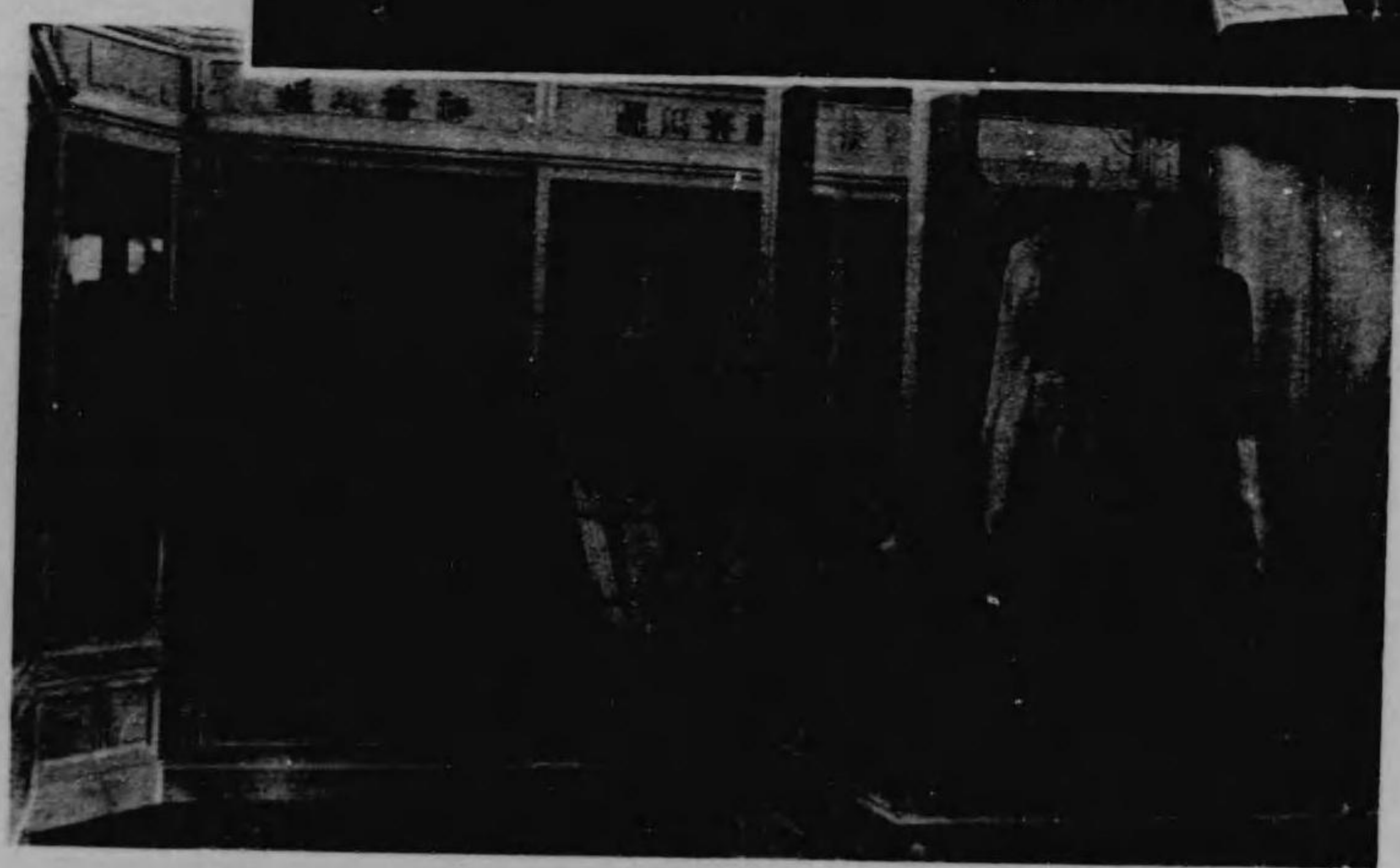
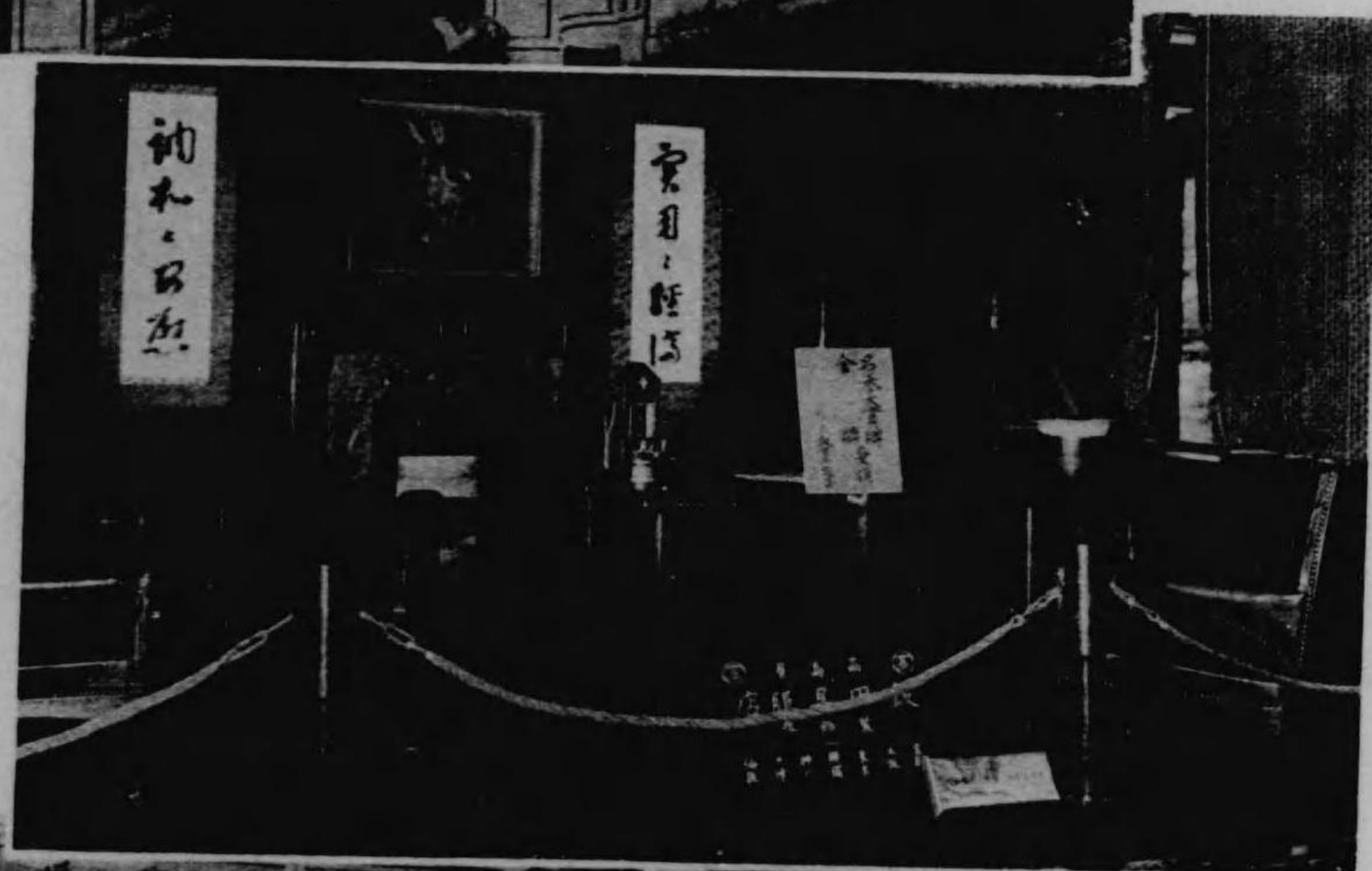
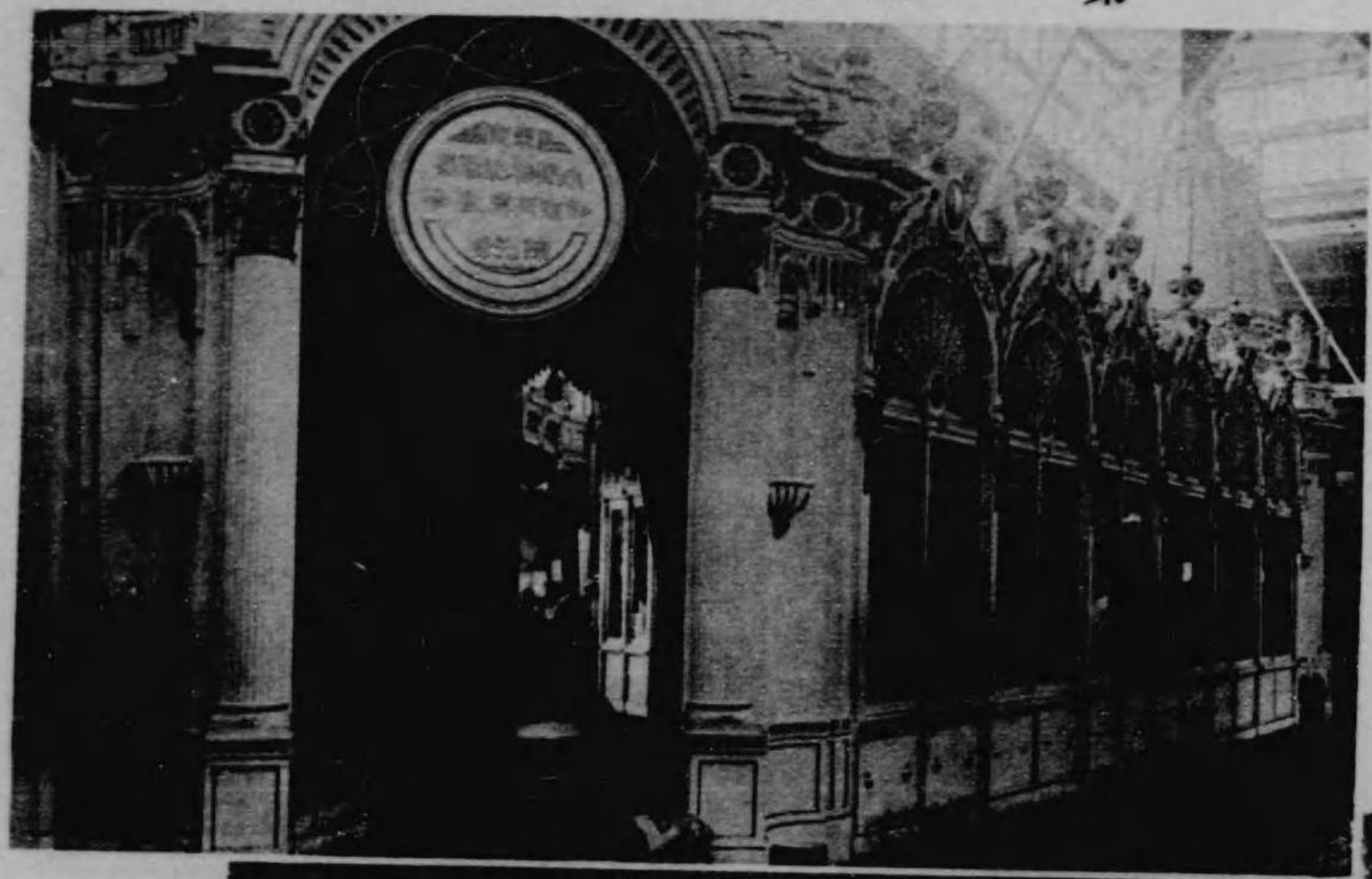
工業館之圖



美國製鋼廠圖



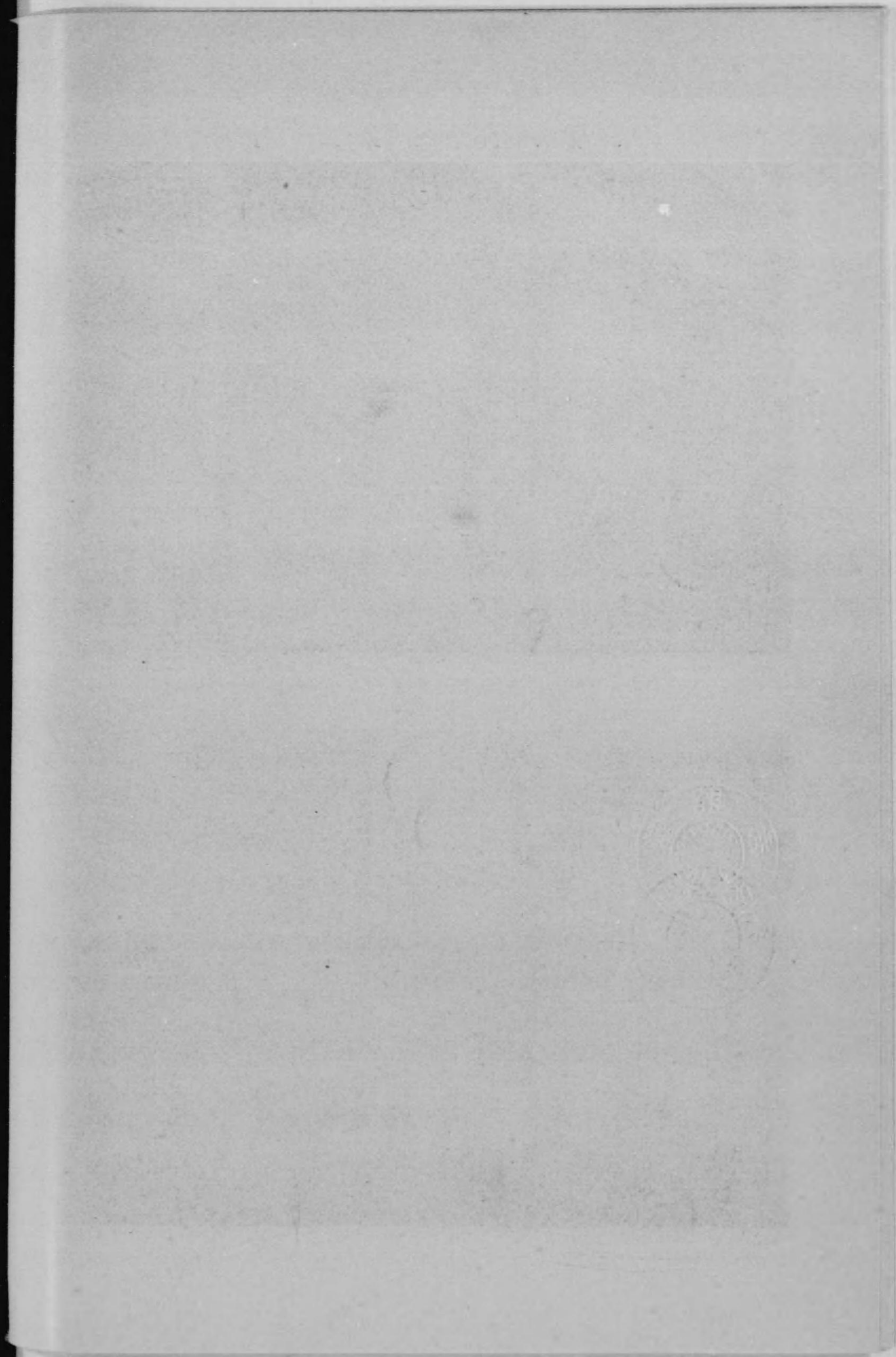
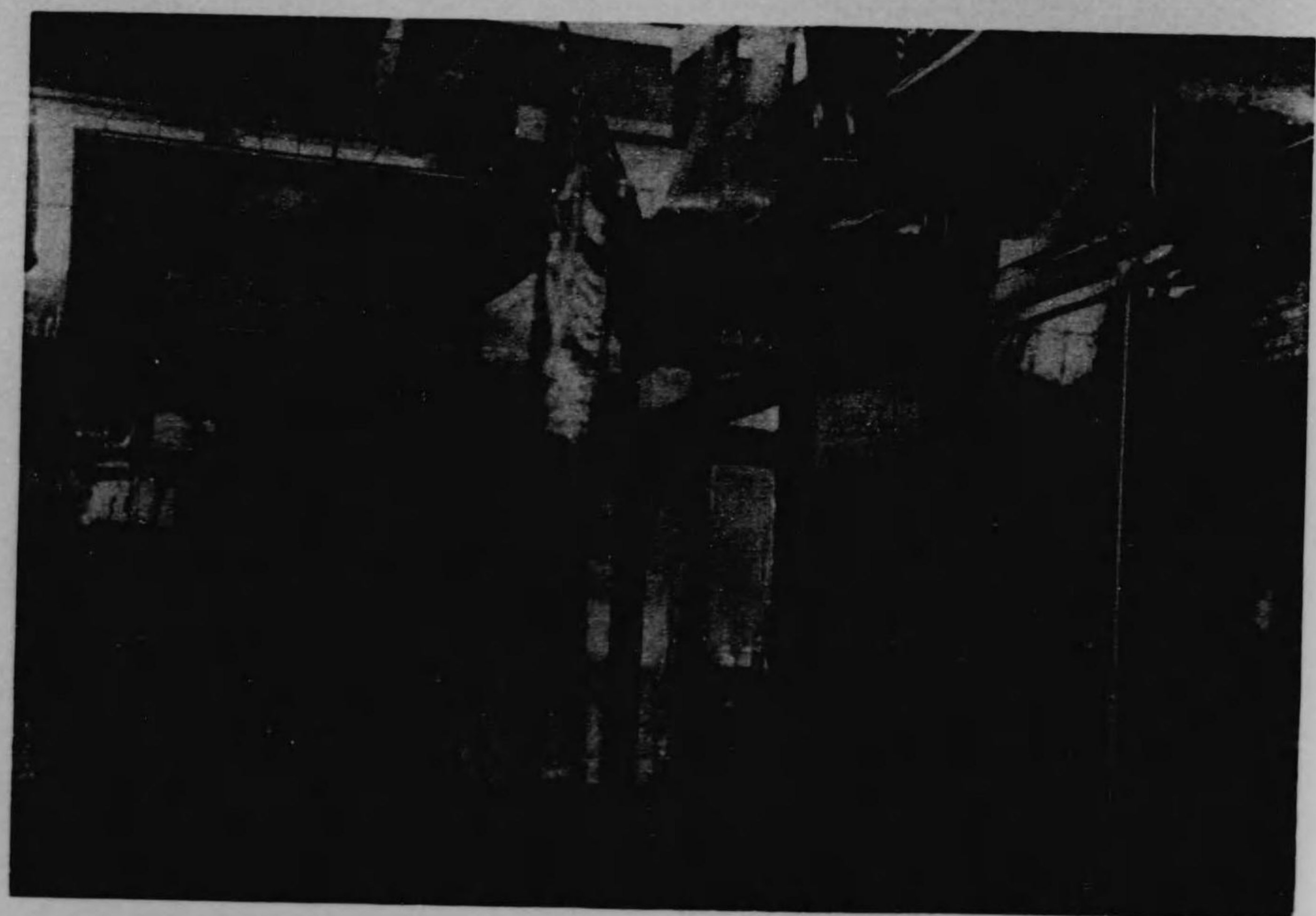
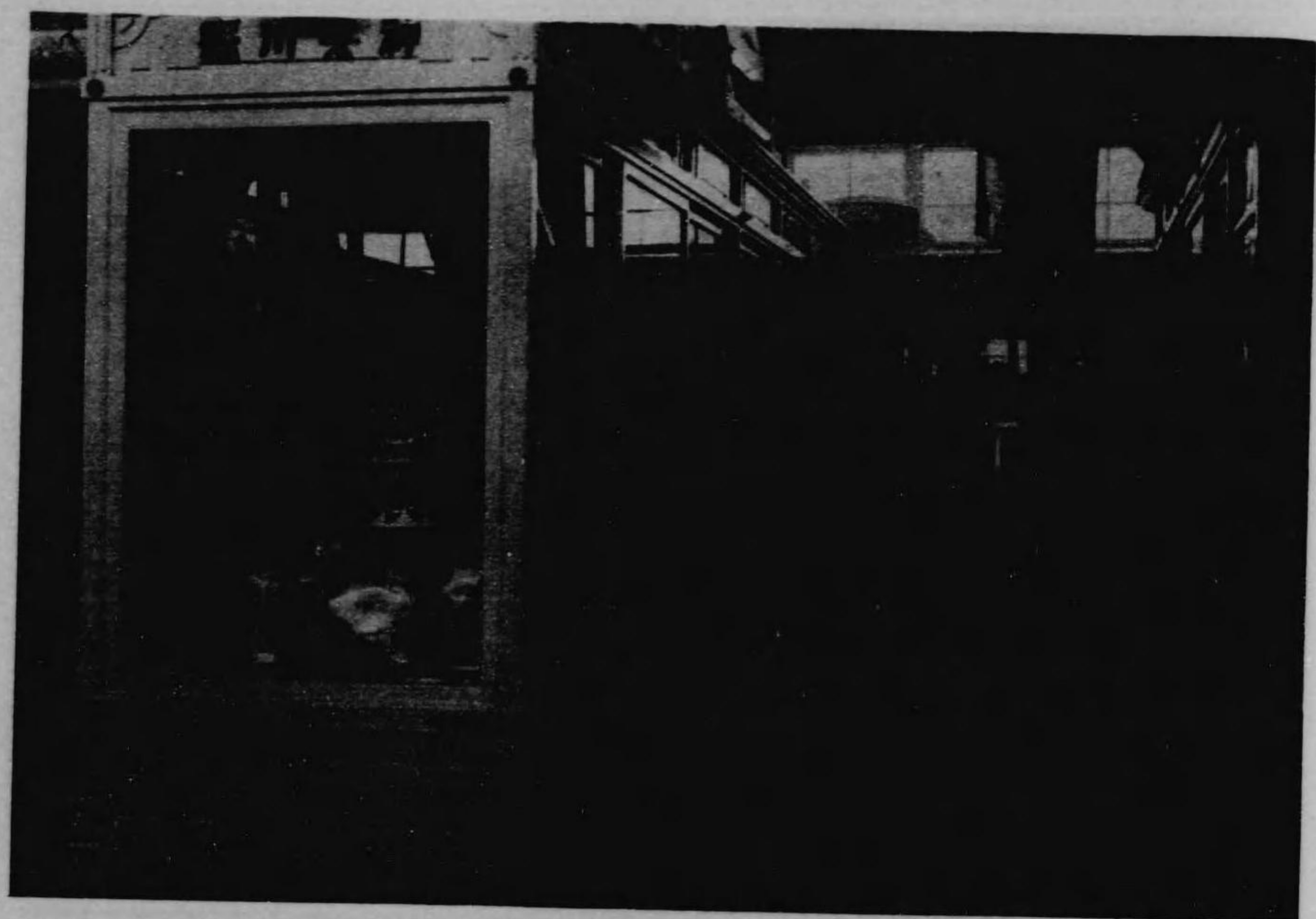
第一工業館出品狀況



第一工業館內陳列狀況







各館ニ於ケル出品ノ排列ハ主トシテ部類別ニ依レリ但シ觀覽ノ便宜上又ハ陳列館ノ廣狹ニ應シ一館ニ數部ヲ或ハ一部類ヲ二館ニ分チ若クハ館外ニ陳列シタルモノモ少ナカラス今各館ニ於ケル出品ノ排列ヲ舉クレハ左ノ如シ

イ 教育學藝館

階下表面ニ金光燦然タル帝國劇場ノ模型其ノ左右ニ寫真器械竝ニ附屬品、樂器、醫療機械、度量衡各種教育上ノ標本及ヒ模型印刷出品等整然ト陳列セラレ階上ニハ各種模型教育竝ニ其ノ成績ニ關スル出品アリ殊ニ通俗圖書館或ハ學理ノ應用又ハ實物ノ利用ニヨリ「イルミネーション」電氣實驗、X光線廣告電燈、日本景觀農家ノ狀態等通俗教育ノ施設ハ一般觀覽者ニ對シ多大ノ感興ト高遠ナル學理ヲ理解セシムルニ與ツテ力アリシカ如シ

ロ 美術館

本館ハ第二部出品ヲ陳列セリ壁面ニハ總テ海老茶色ノ布帛ヲ張リ以テ光線ノ強弱ヲ調和セリ陳列ハ各室ニ分チ篆刻鑄金其ノ他ノ美術工藝品ハ概ネ陳列棚中ニ之ヲ置キ繪畫圖案ノ中懸垂シ得ヘキモノハ混雜セサル間隔ニ於テ適當ノ角度ニ陳列セリ

ハ 第一工業館

本館ニハ第八部(化學工業)ヲ主トシ第九部(染織工業)及第十一部(建築裝飾)ノ一部分ヲ陳列セリ其ノ主ナルモノハ高嶋屋ノ室内裝飾及ヒ東京小間物化粧品卸商同業組合ノ陳列棚等ニシテ其ノ他斬新ナル意匠ヲ凝ラシタルモノ尠ナカラス第九部ニ於テハ洋服類「ネクタイ」及ヒ神奈

川縣ノ輸出染織物等觀者ノ注目ヲ惹ケリ

ニ 第二工業館

本館ハ第十一部及建築及裝飾第六部(飲食)ヲ陳列セリ  
建築及裝飾部ニ於テハ箆筒組合ノ出品見ルヘク淺野式應接室三越出品應接室等觀者ノ注目ヲ惹キ其ノ他各府縣出品ノ家具花莖等陳列ニ苦心セルモノ少ナカラス飲食部ニ於テハ麥酒會社先ツ斬新ノ裝飾ヲ試ミ東京酒問屋組合ハ五彩ノ唐草模様ヲ施シタル舷側艙ニ金碧ノ光キ王朝時代ノ鶴首ヲ飾リタル高サ一丈幅五尺長サ四間半ノ船ニ清酒ノ積樽ヲ爲シ其ノ他榮太樓ノ天平式堂宇濱口醬油ノ銚子燈臺森永ノ出品等注目ヲ惹ケリ

ホ 第三工業館

第十部(製作工業)ヲ陳列セリ

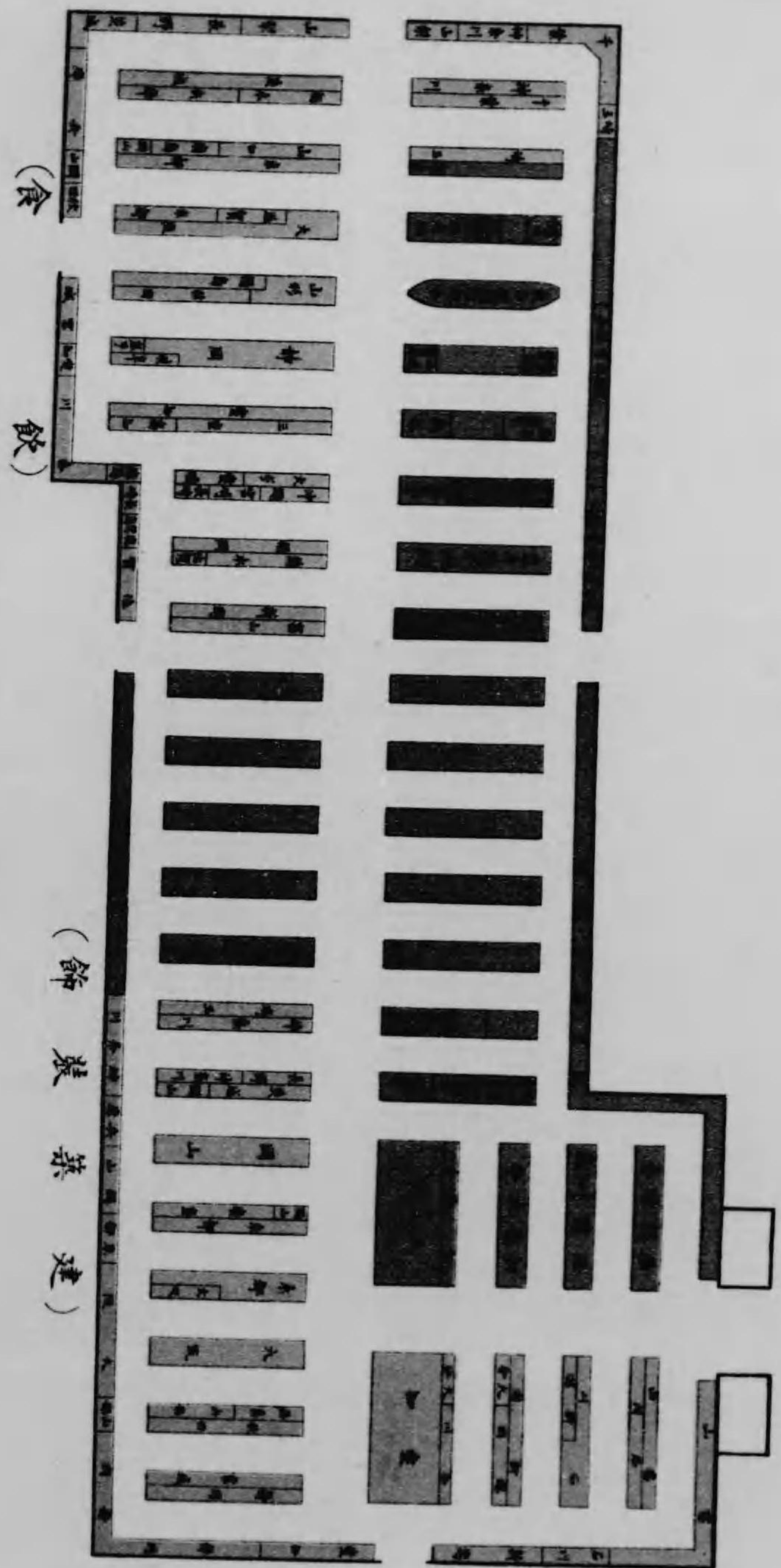
本館ハ工業館中最大ノ面積ヲ有シ出品豊富ニシテ種類ノ饒多ナル我國ニ於テ特色アル各府縣ノ製作工業ヲ網羅シテ餘サス陳列モ亦整頓セリ

ヘ 水産館

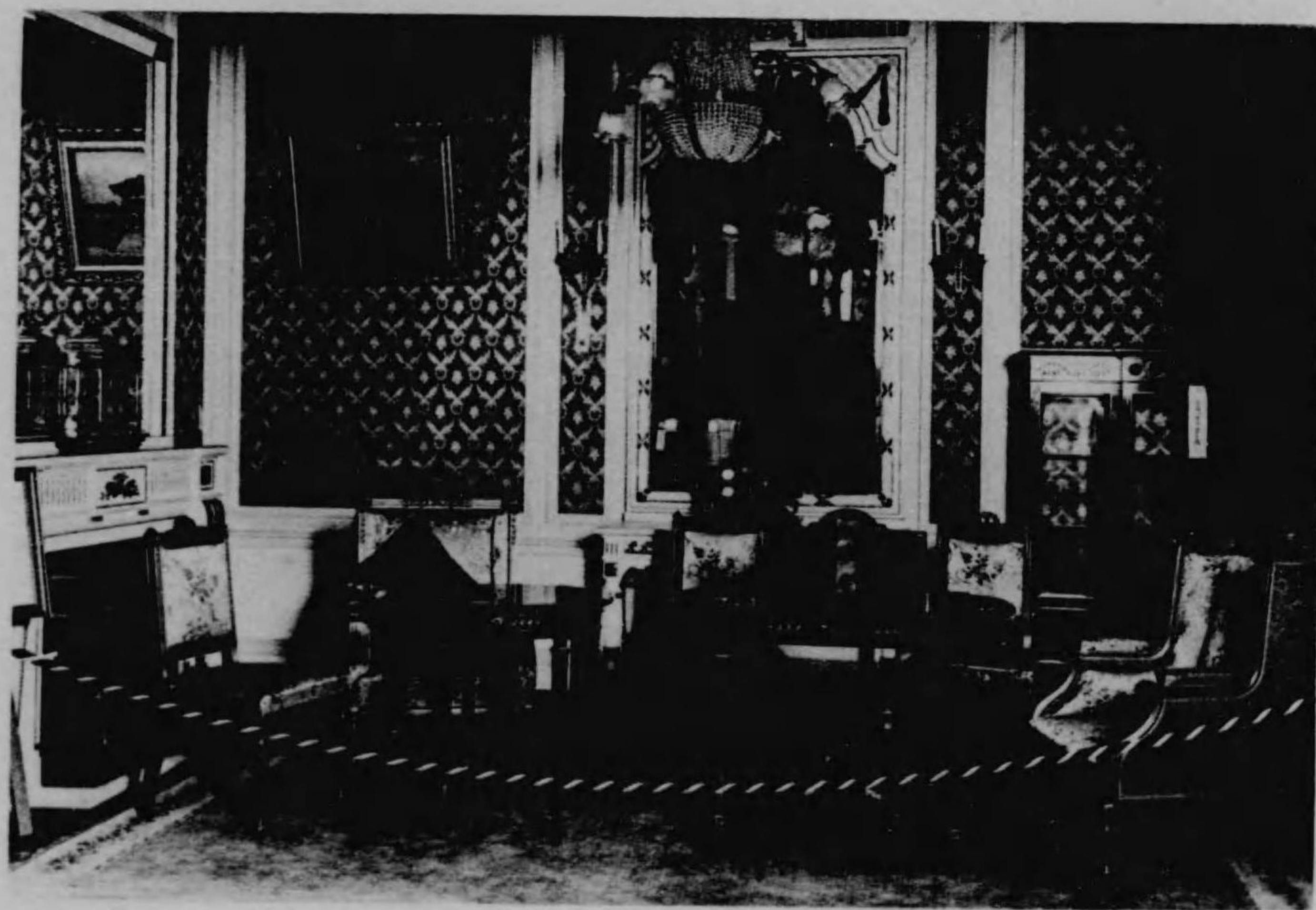
本館ニハ第五部(水産)及ヒ六部(飲食)ノ一部雜詰ヲ陳列セリ  
本館第五部陳列ハ模型類ニヨリ出品ヲ解説セント試ミタルモノ多ク一般觀覽人ヲシテ水産ニ關スル智識ヲ得セシメタルコト蓋シ尠ナラサルヲ信ス即チ東京府ノ海苔採取ノ模型アリテ海苔ニ關スル一切ノ參考品ヲ網羅シ或ハ「トロール」漁業ノ實景若シクハ農商務省水産局

圖之館業工二第

一ノ分百四尺縮



第二工業館出品狀況



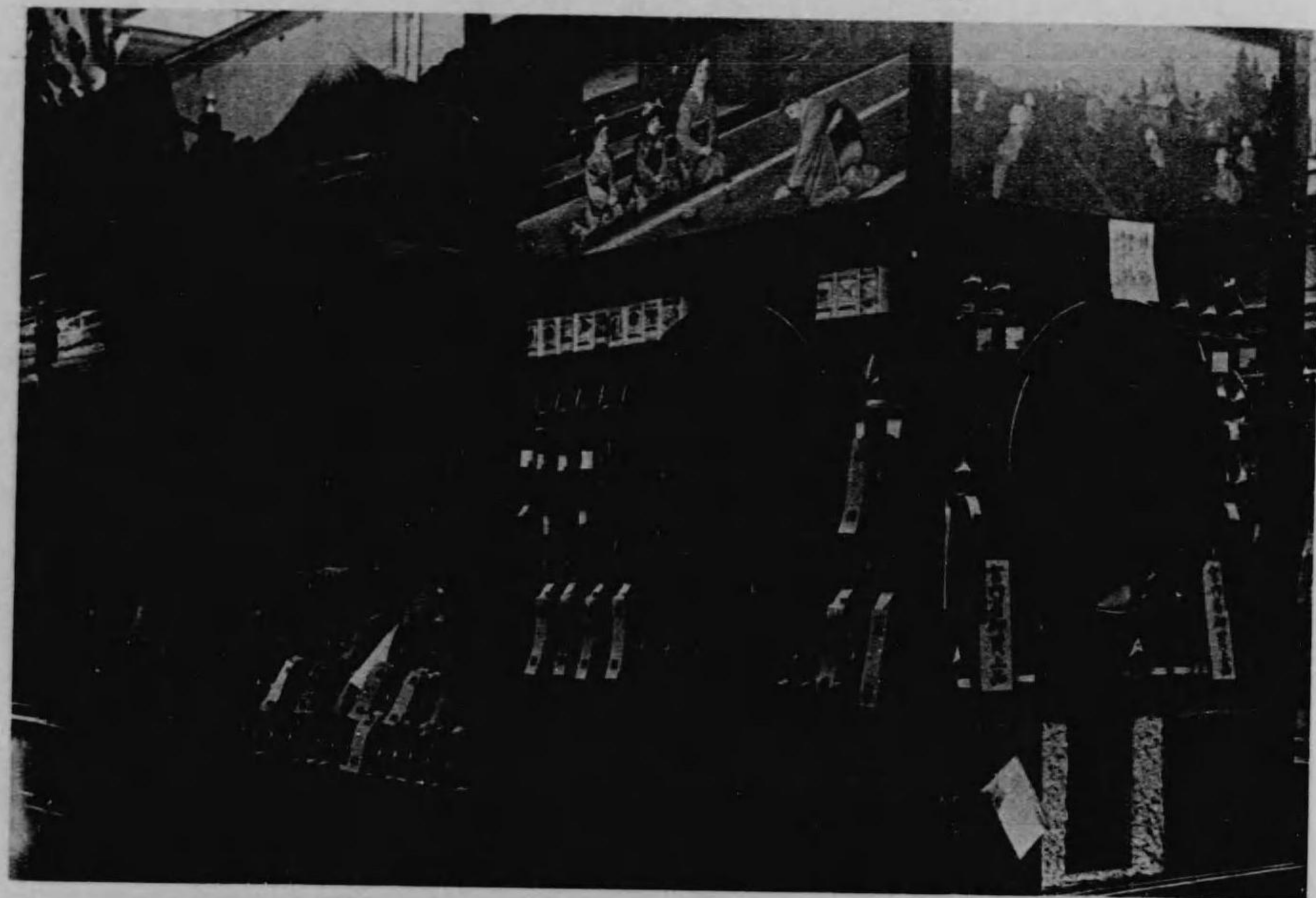
第二工業館出品狀況



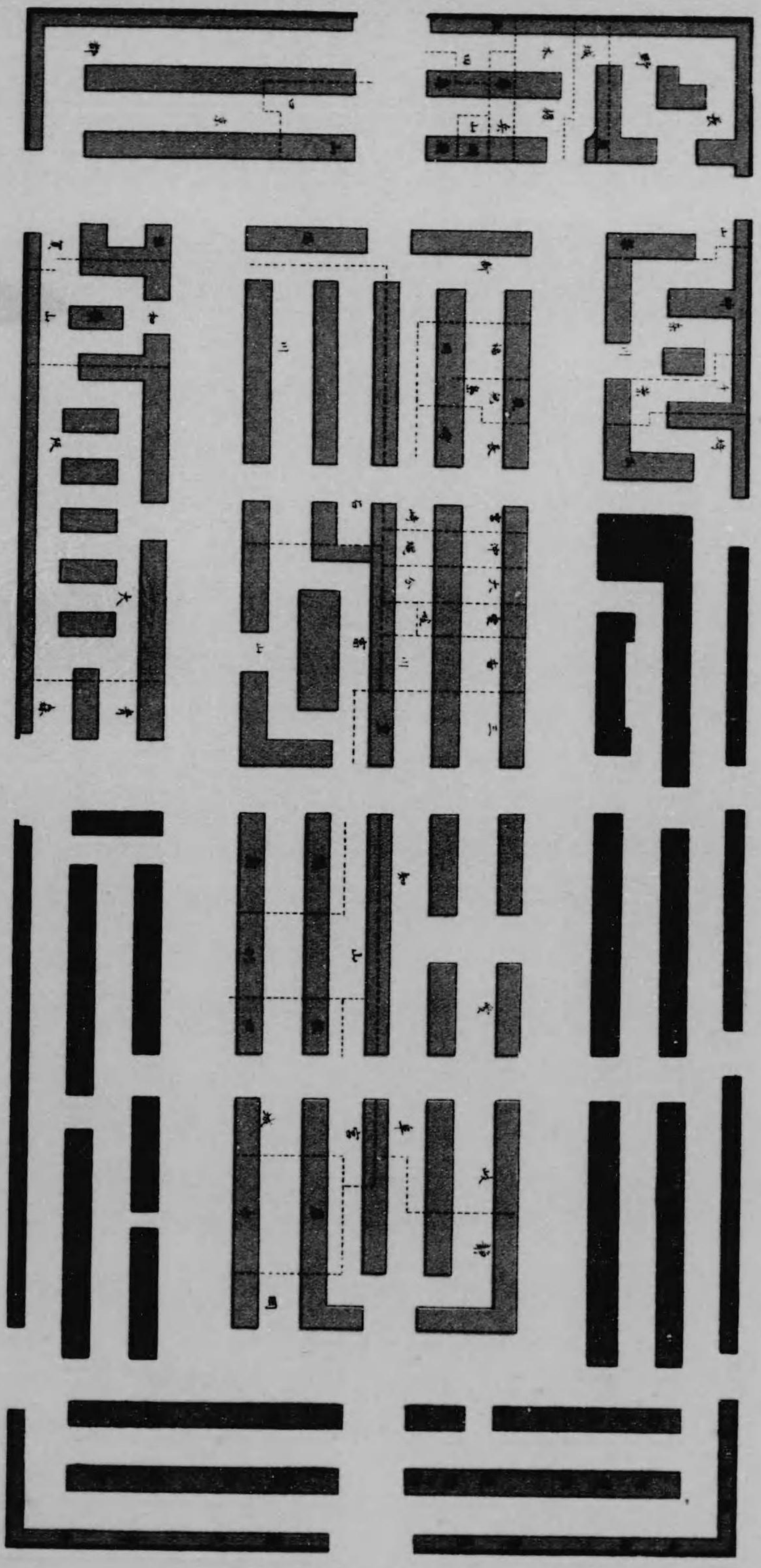
第二工業館出品狀況



第二工業館出品狀況



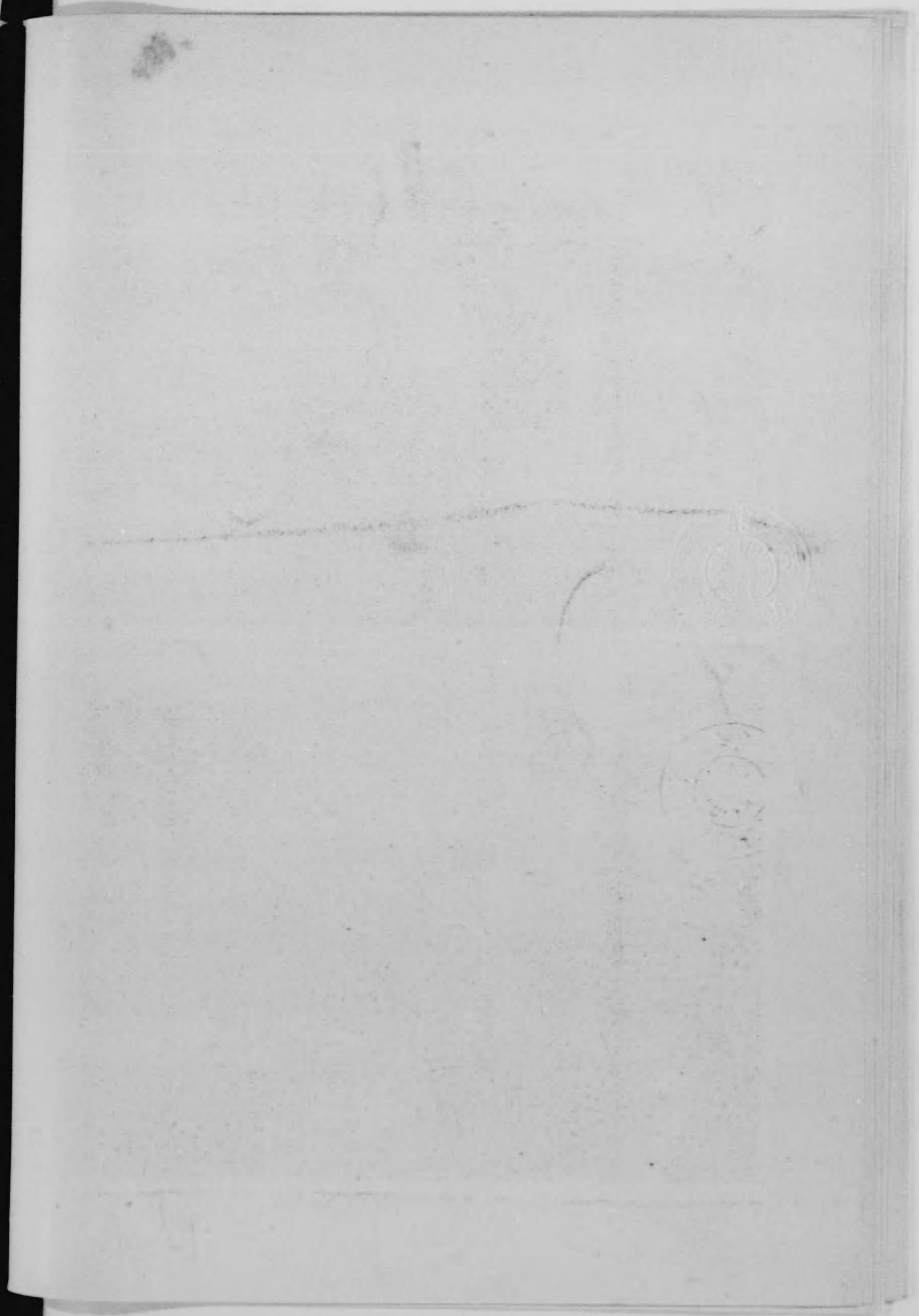
圖之館業工三第  
 一、分百四尺縮

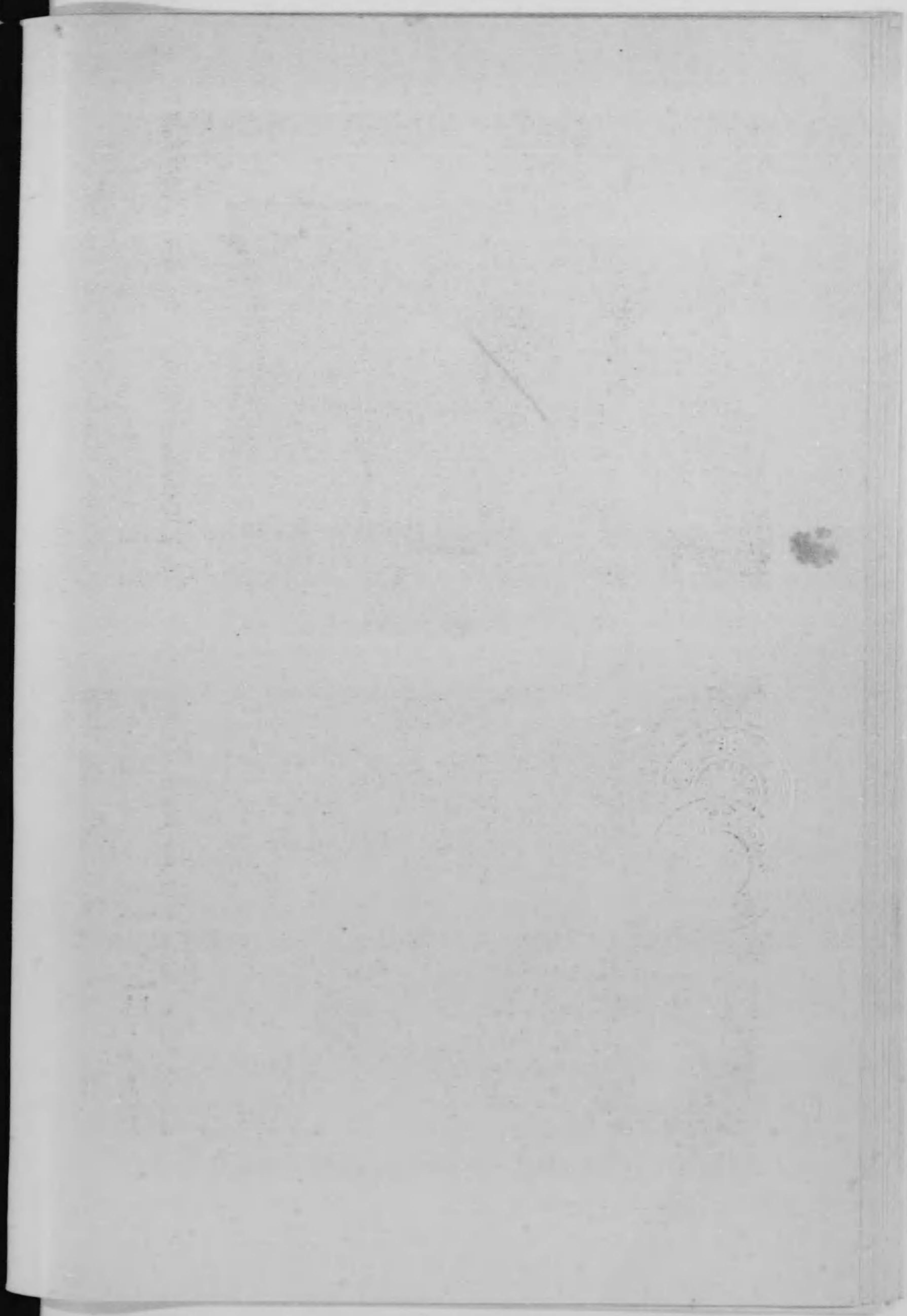


第三工業館內陳列狀況









ノ漁網捲揚機ト各種網漁業トノ關係ニ就テノ出品或ハ水産講習所ノ水産貿易ノ趨勢ヨリ各漁業ノ大勢等ヲ表示シ且ツ各種斯業ニ關スル多年ノ試驗成績ヲ陳列シテ當業者ノ參考ニ供セルカ如キ以テ一例トスヘシ其他環海ノ寶庫ヲ示セル各府縣ノ出品甚多シ  
罐詰類ハ第二工業館ニ充ツルヲ至當トスレト其ノ狹隘ナルニヨリ本館ニ之ヲ置ケリ陳列整頓セリ

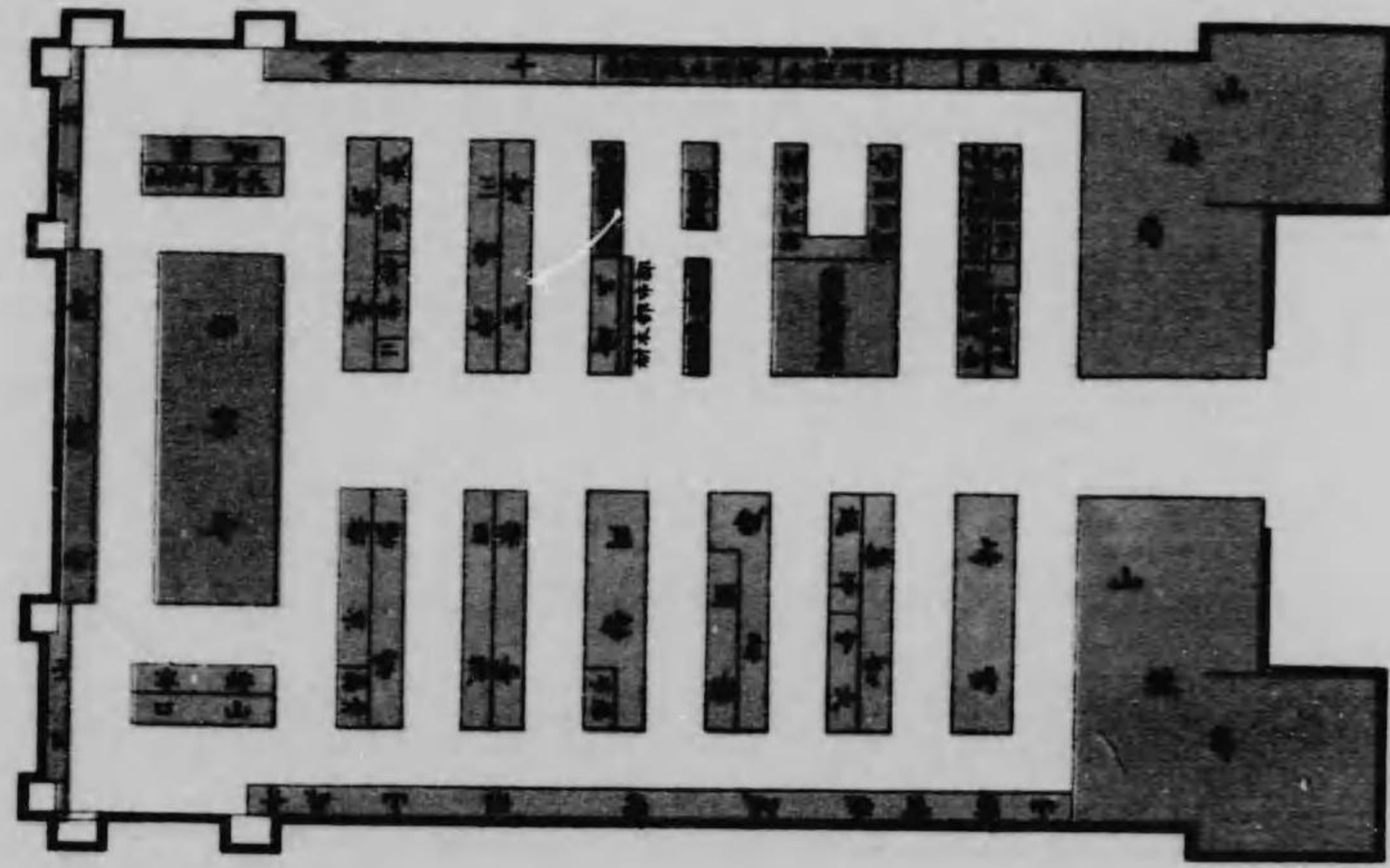
ト 衛生經濟館

本館ハ階上ニ第十四部(衛生經濟出品階下ニ第九部(染織工業)西陣織物ヲ陳列セリ  
衛生部ノ出品ニハ赤十字社、恩賜財團濟生會、日本結核豫防協會、日本花柳病豫防協會、日本禁酒同盟會等ノ統計寫真模型陳列アリテ其ノ思想ノ鼓吹ニ努メ階下ニハ西陣ノ精華ヲ鍾メテ其ノ特産ヲ展示セリ

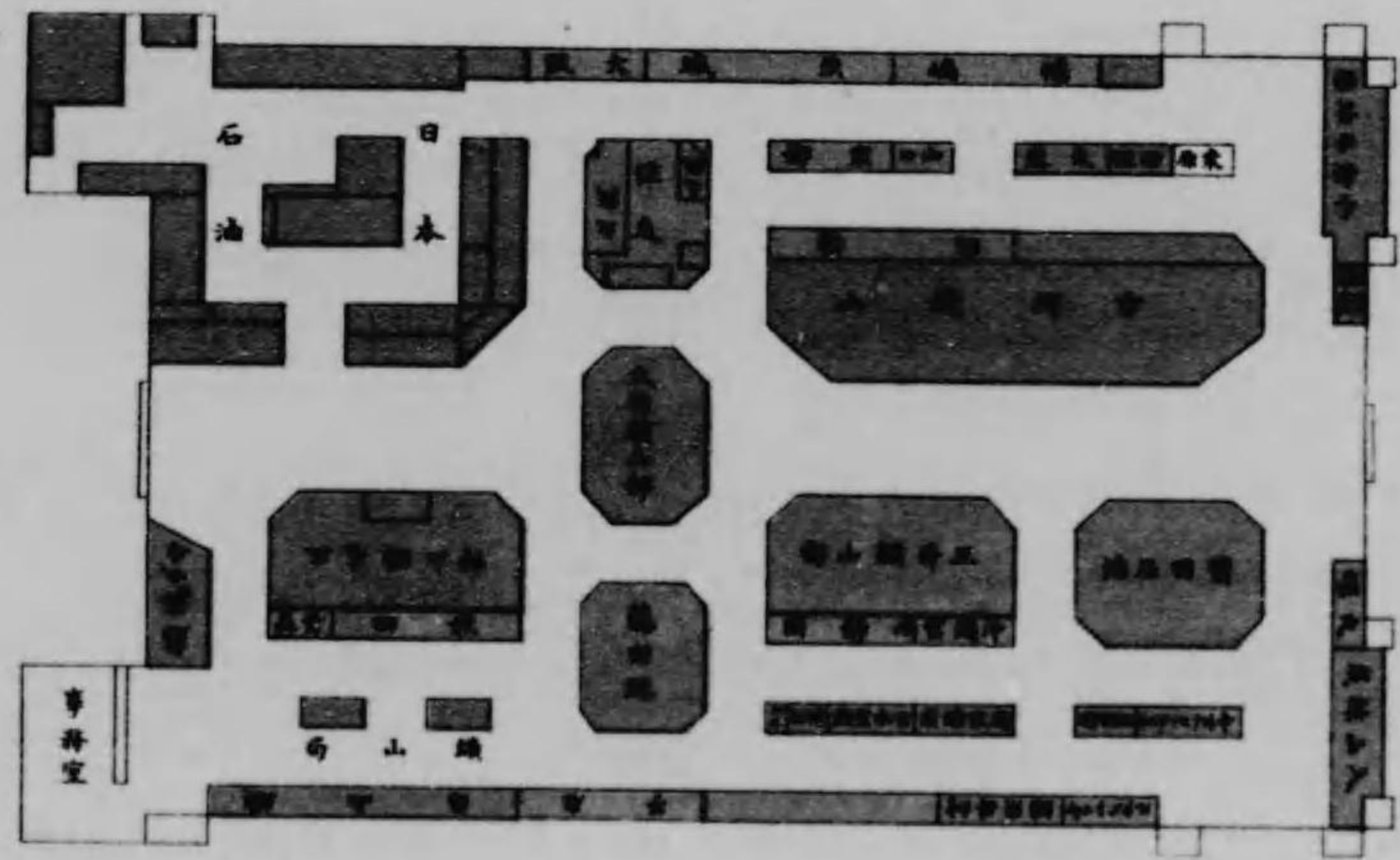
チ 林業館

本館ハ第四部(林業)出品ヲ陳列セリ  
本館出品物ハ他ノ美術工藝品ト趣ヲ異ニシ長大巨重ノ木竹材大部ヲ占ムルヲ以テ館ノ構造モ亦宏壯ヲ要スヘキニ拘ハラズ不幸ニシテ面積狹隘ナル建物ニ據ラサルヘカラサル事情アリ府縣希望ノ大半ヲ容ルル能ハス殊ニ東京府下出品ノ大半ヲ拒絕スルノ已ムナキニ至レルハ最モ遺憾トスル所ニシテ今後各出品館ハ其ノ出品物ノ性質ヲ考慮シ構造上特ニ注意ヲ要スヘキモノトス如上ノ如ク建築狹隘且ツ低キヲ以テ府縣配當ニ際シ單ニ抽籤ニヨル順位ニ

圖之館業林



圖之館山鑛



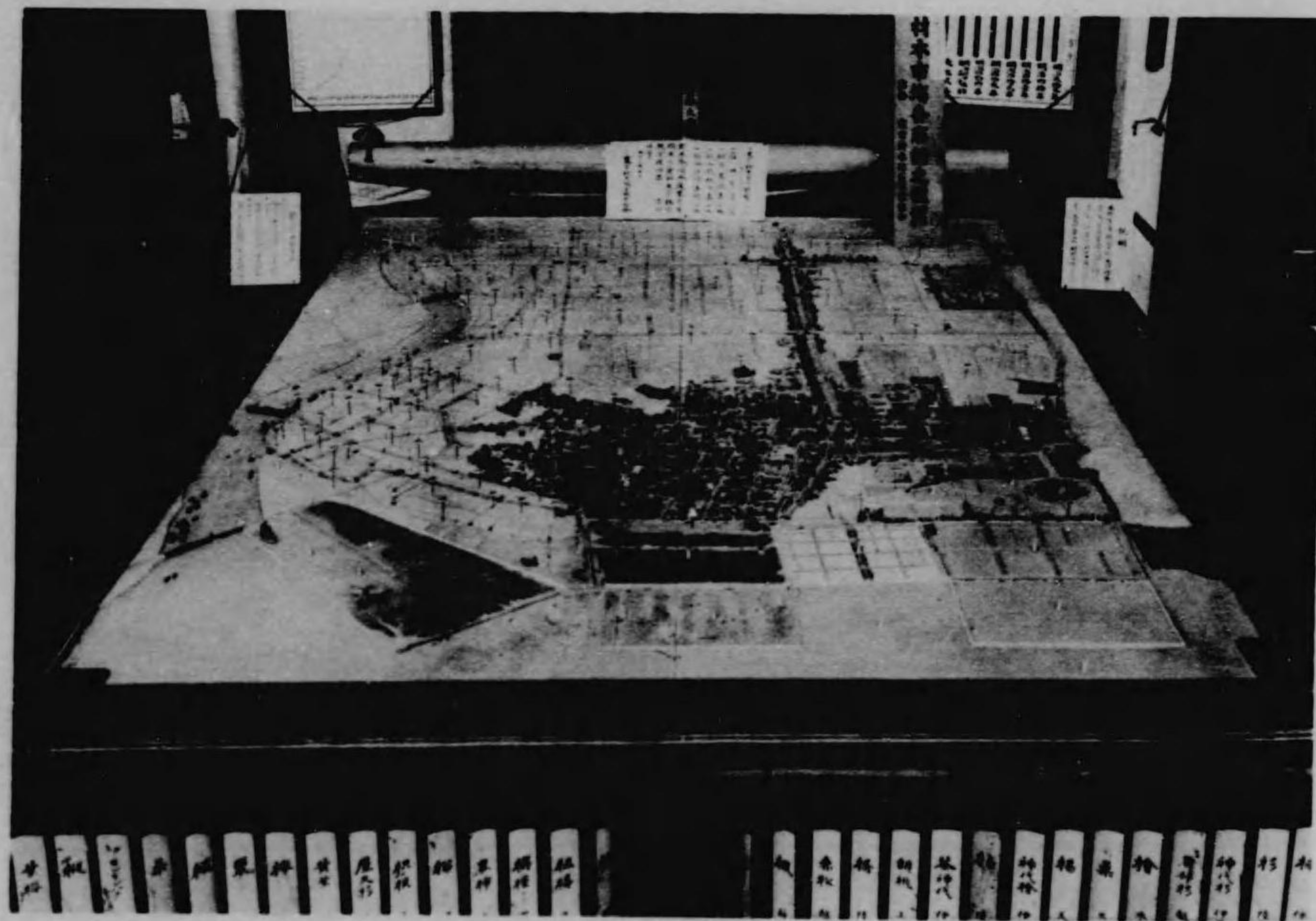
ノミ據能ハスシテ府縣林產物ノ特徴ニ重キヲ置キ申込坪數林業發達ノ狀況森林面積費用ノ多寡等ヲ斟酌シ割當ヲ減少シ又市内木材業者ニ對シテハ再三集合ヲ煩ハシ出品物ノ制限ヲナシ各店ノ取扱特殊品一二點ニ止メ且ツ營業規模大ナルモノハ殊ニ館外ニ獨立スルコトヲ勸誘シ漸ク其ノ幾部ヲ容ルルヲ得タリ

山林局及帝室林野管理局ニ對シテモ如上ノ事情ヲ具シ獨立館ノ建設ヲ希望シタルモ經費ノ都合上止ムナク館内ニ積ヲ求メサルヘカラサルニ至リ益々狹隘ヲ告ケ更ニ協議ヲ重ネ出品ノ大半ヲ減セサルヘカラサルノ狀況ヲ呈セルハ本館ノ爲メニ憾ミトスル所ナリ

林業館府縣割當表

府縣	間數(小間)	坪數	備考
農商務省山林局	四八、〇	二四、〇	各大林区署ノ出品モ含ム
帝室林野管理局	三〇、〇	一五、〇	豐住出張所ノ出品
千葉	六、〇	三、〇	木炭、竹材
埼玉	六、〇	三、〇	西川材
神奈川	六、〇	三、〇	木材、曲木
長野	七、三	三、六	落葉松
茨城	五、八	二、五	木炭、木材
和歌山	一、〇	〇、五	木炭
山口	五、八	二、五	竹材、木炭

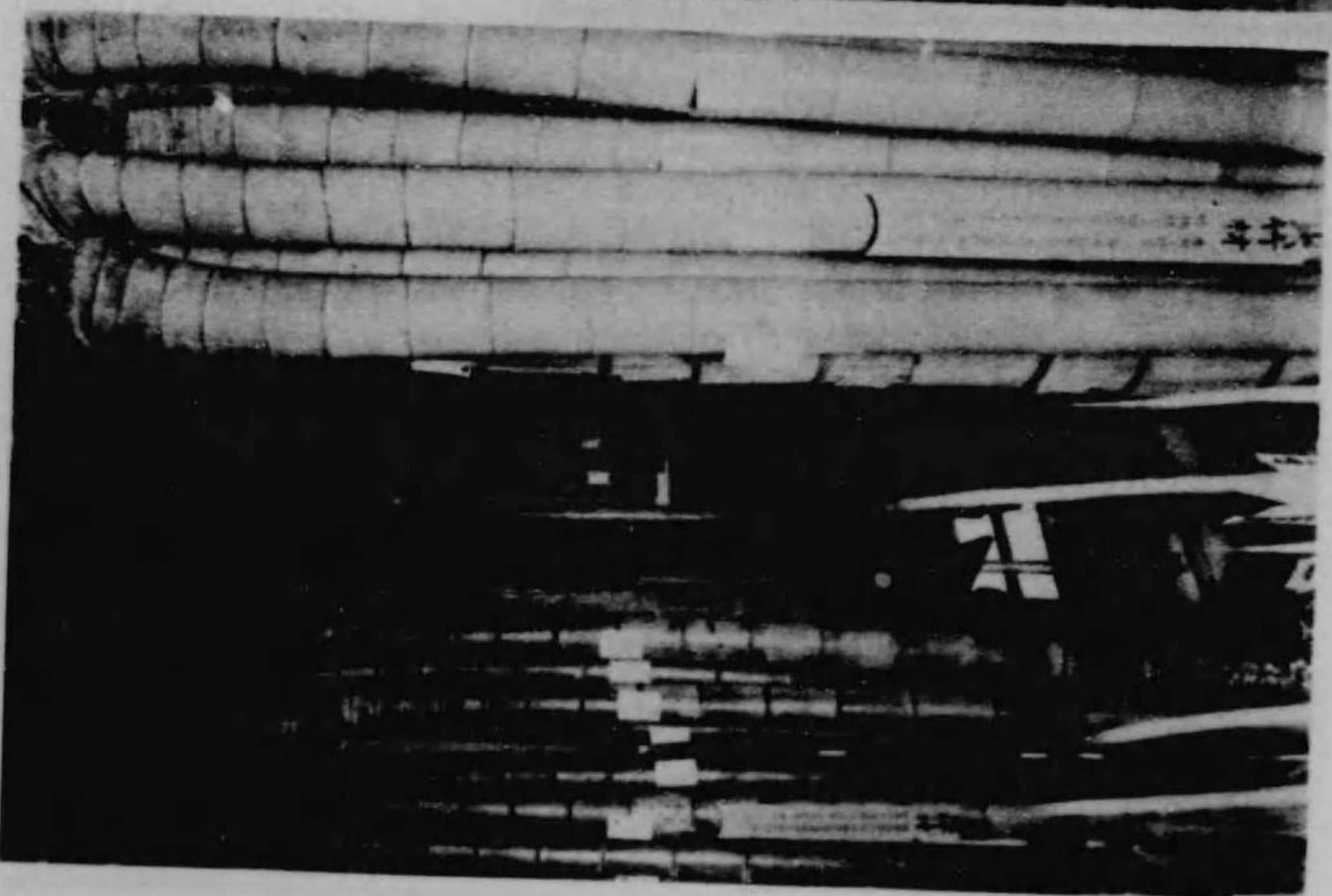
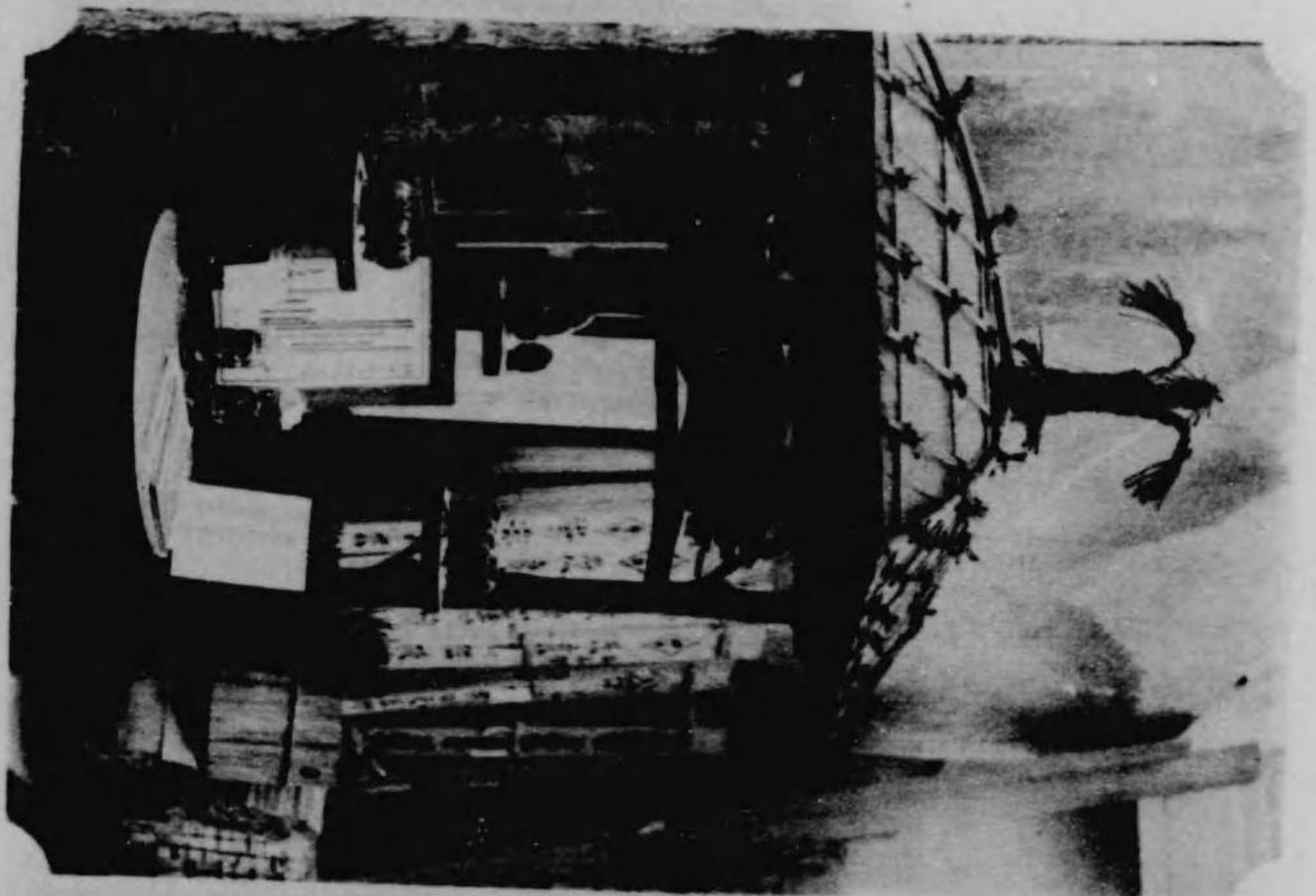
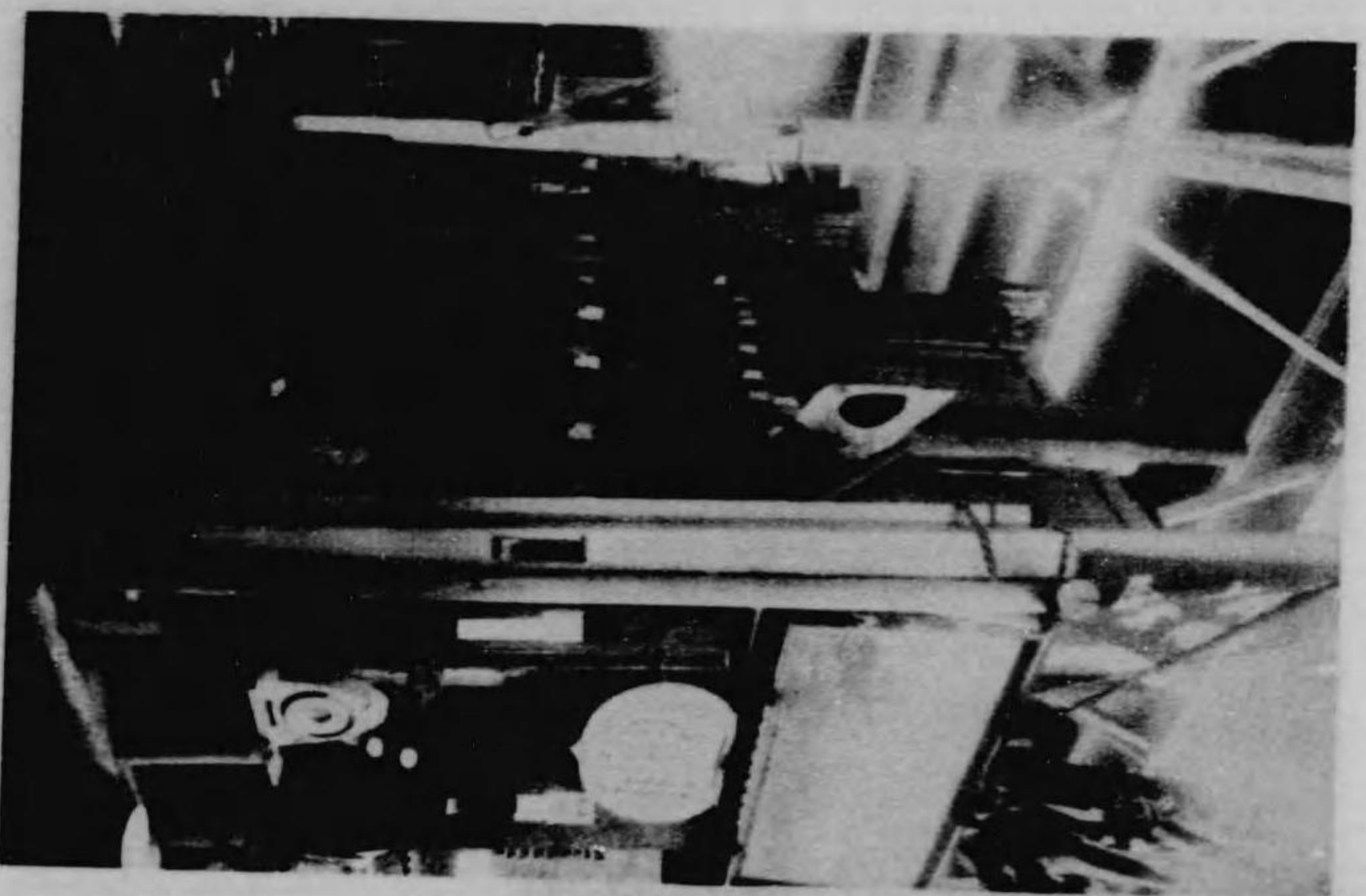
林業館内陳列狀況



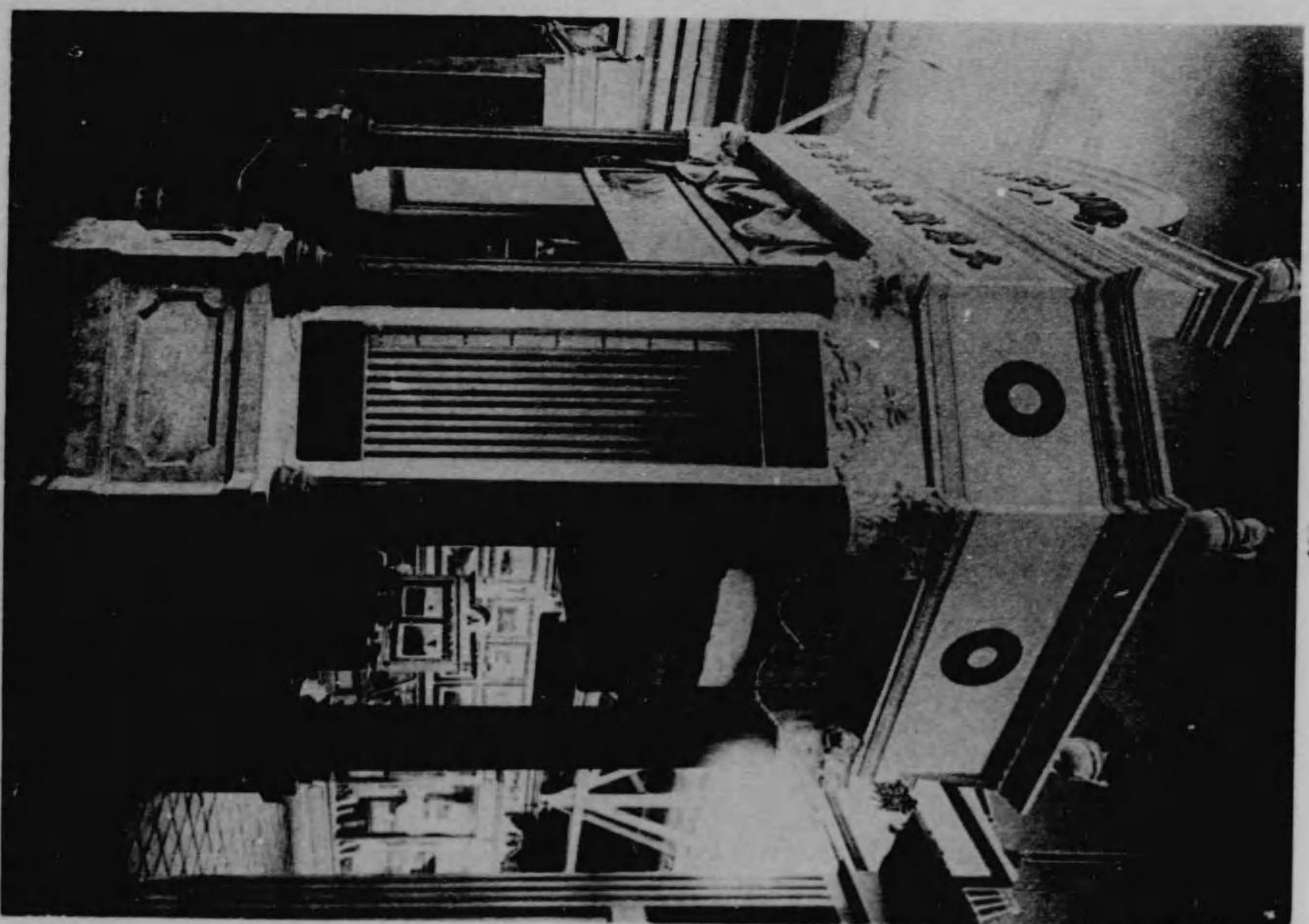
東京木材問屋組合出品 木材市場各店舖之模型



林業館内陳列狀況



泥 狀 品 出 館 山 築



Faint, illegible text or markings on the right page.

青	山	秋	岩	福	宮	靜	愛	大	宮	沖	佐	富	東	計
森	形	田	手	島	城	岡	知	分	崎	繩	賀	山	京	
二、五	三、五	四、〇	五、〇	四、〇	四、五	一、〇	五、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	三、七、三	二、一、七
一、二、五	一、七、五	二、〇〇	二、五〇	二、〇〇	二、二、五	五、〇〇	二、五〇	一、〇〇	六、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一九、五〇	一〇五、八五
圖表	木材、桐下駄甲良、桐紙	木材、曲木	木炭、毛皮、椎茸	桐材其他	木材	椎茸、ベニヤ材	木材、器具	木材、椎茸	木材、木炭(別館ヲ建設ス)	木材、板類	同上	同上	木材、板類、獵銃、木炭其他	

本館出品希望ハ各府縣ヨリ申込ナク却テ事務局直接取扱大部ヲ占ムルノ結果ヲ呈セリ蓋シ  
 販賣其ノ他ノ關係上東京ニ營業事務所ヲ有スル大會社多ク直接ノ便宜多キヲ以テナラン乃

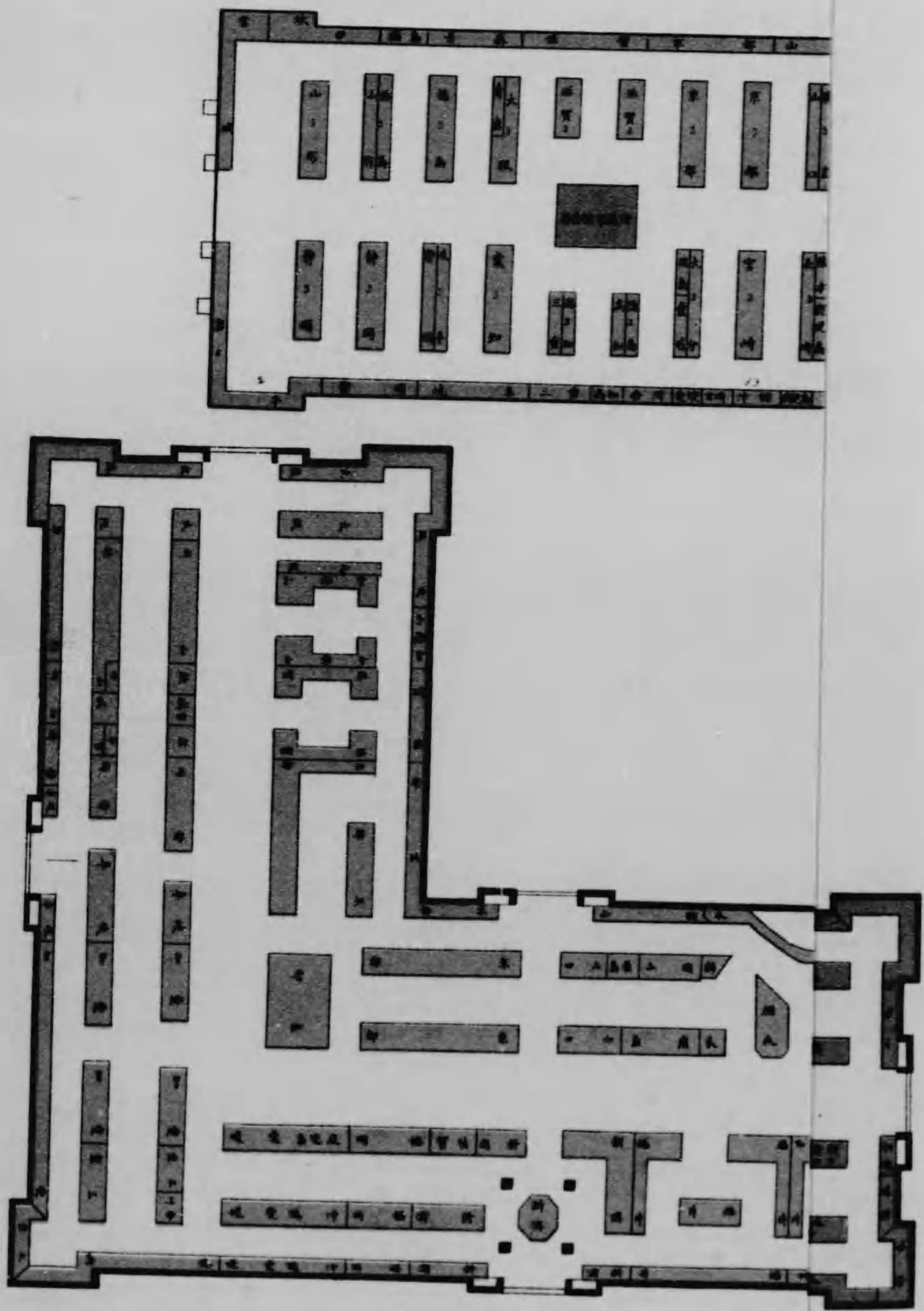


チ賛同府縣主任官開議ノ際坪數割當其ノ他ニ關シ重複ノ憂アリトノ理由ヲ以テ協議ヲ遂ケ特別扱ヲナスノ承認ヲ得抽籤順位等ニ關係ナク坪割配置一切ハ事務局ニ於テ適當ニ定ムルコトトナリタルヲ以テ府縣ヨリ申込アリタル以外ノ申込全部ヲ東京府ノ分トシテ引受ケテ各種ノ出品ヲ包含センコトヲ努メタルモ各鑛業者ノ希望坪數大ニシテ其ノ希望ノ大半ヲ入ルル能ハサリシハ遺憾トスル所ナリ

出品ハ概ネ簡潔雄大ニシテ日本鑛山ノ現況ヲ示スニ足ルモノアリキ  
第二會場ノ夜間開館ニ對シ第一會場ニ於テ之レヲ行フノ議アリ而モ盜難其他ノ關係上尙決行ニ至ラサリシカ七月八日開館ノ内命ヲ受ケタリ是レ林業鑛山共ニ巨大巨重ノ出品物大部ヲ占メ盜難ノ憂少ナキニ起因シタルモノノ如シ因テ直ニ其ノ旨各出品者ニ通知シ一方關係府縣事務所ニ通知承認ヲ得電氣局ニ依頼シ電燈ノ取付ヲナシ九日工事ニ著手シ十日電燈試驗ヲナシ即日開館ヲナセリ夜間開館中ハ看守人ヲ増シ兩館ヲ加セテ三十人トナシ以テ何等故障ナキヲ得タリ鑛山館ノ如キ煌煌タル電燈各鑛石ニ映シ燦爛人目ヲ牽キ又林業館ノ巨林竹材ノ并立電燈ノ映射スル恰カモ晝尙暗キ大森林ニ入ルノ觀ヲ起サシメ一ハ雄大一ハ壯嚴共ニ好評ヲ博セリ

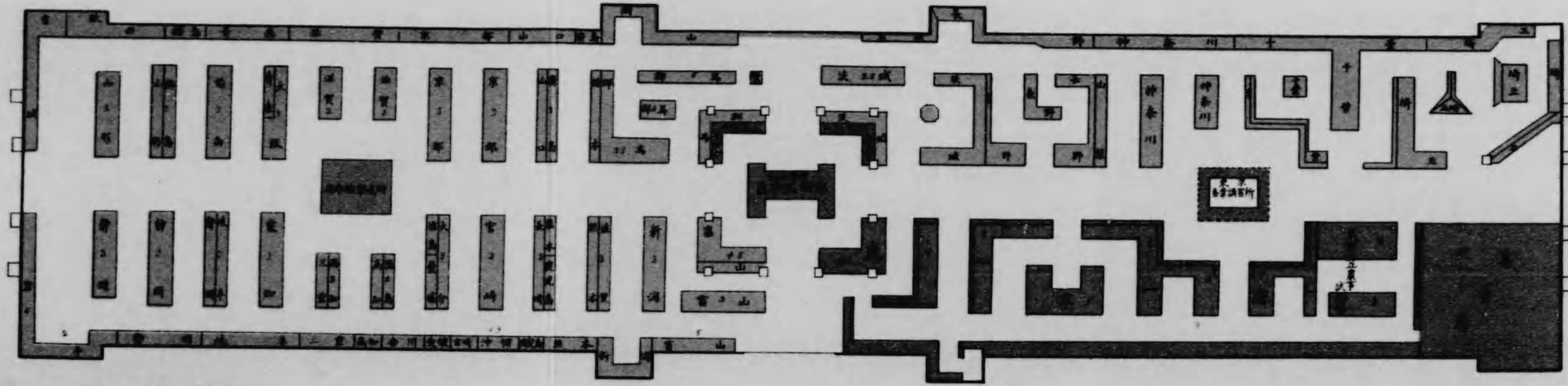
ス 農業館

農業館ハ第三部農業ニ屬スル一切ヲ網羅セリ  
而シテ其ノ出品多量ニ上リシヲ以テ米、麥、穀菽及蠶繭等ハ成ルヘク累積陳列ニ據リ米ノ如キ



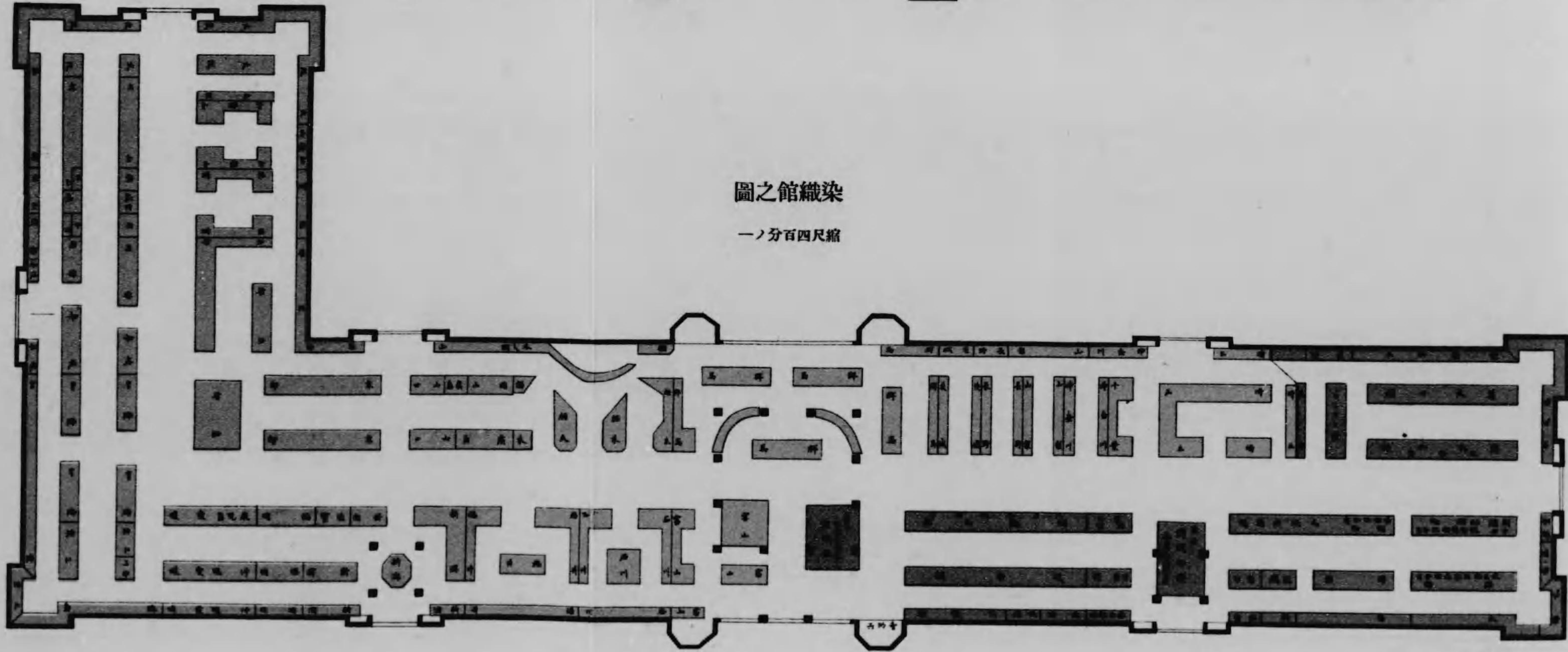
圖之館業農

一ノ分百四尺縮



圖之館織染

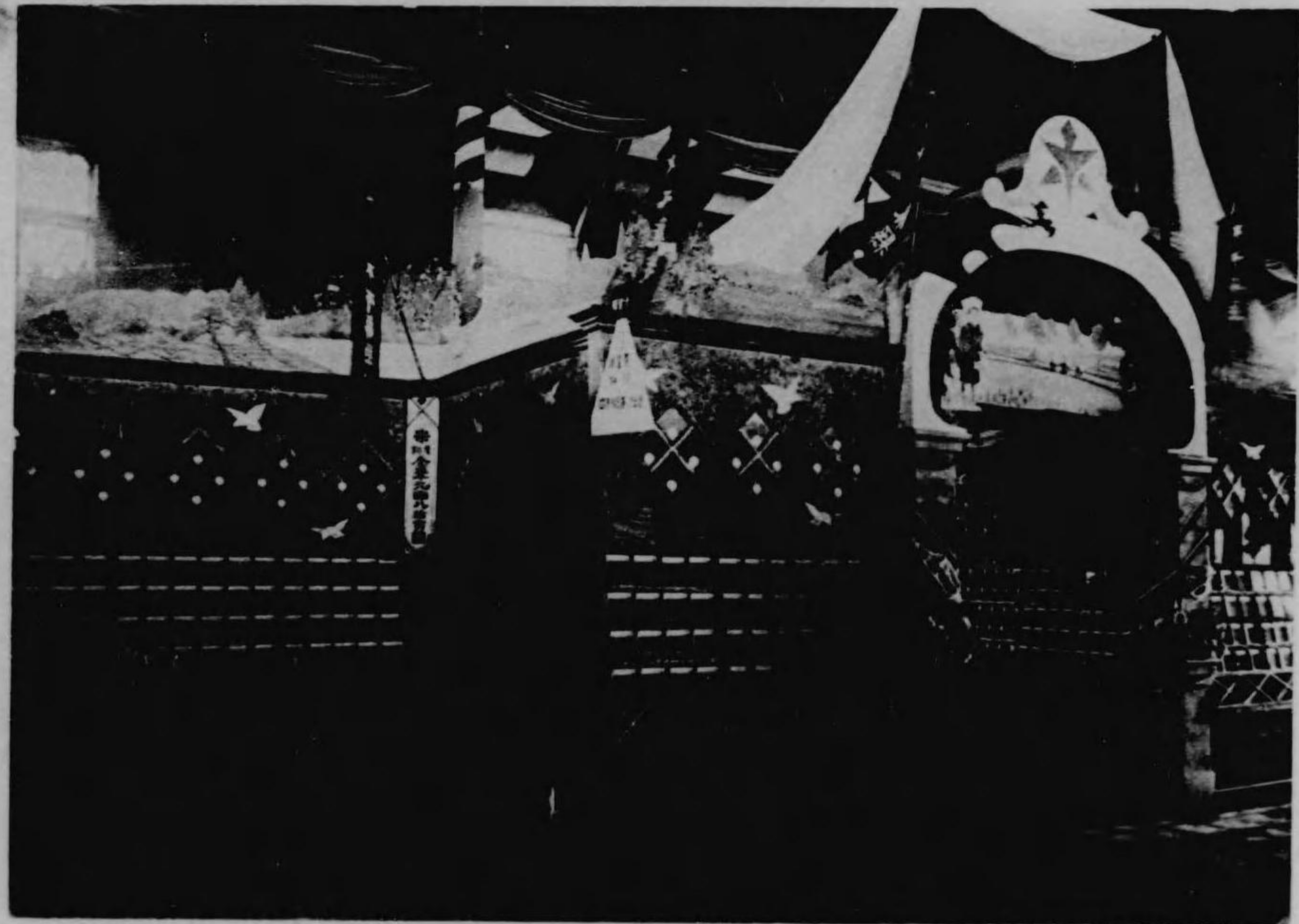
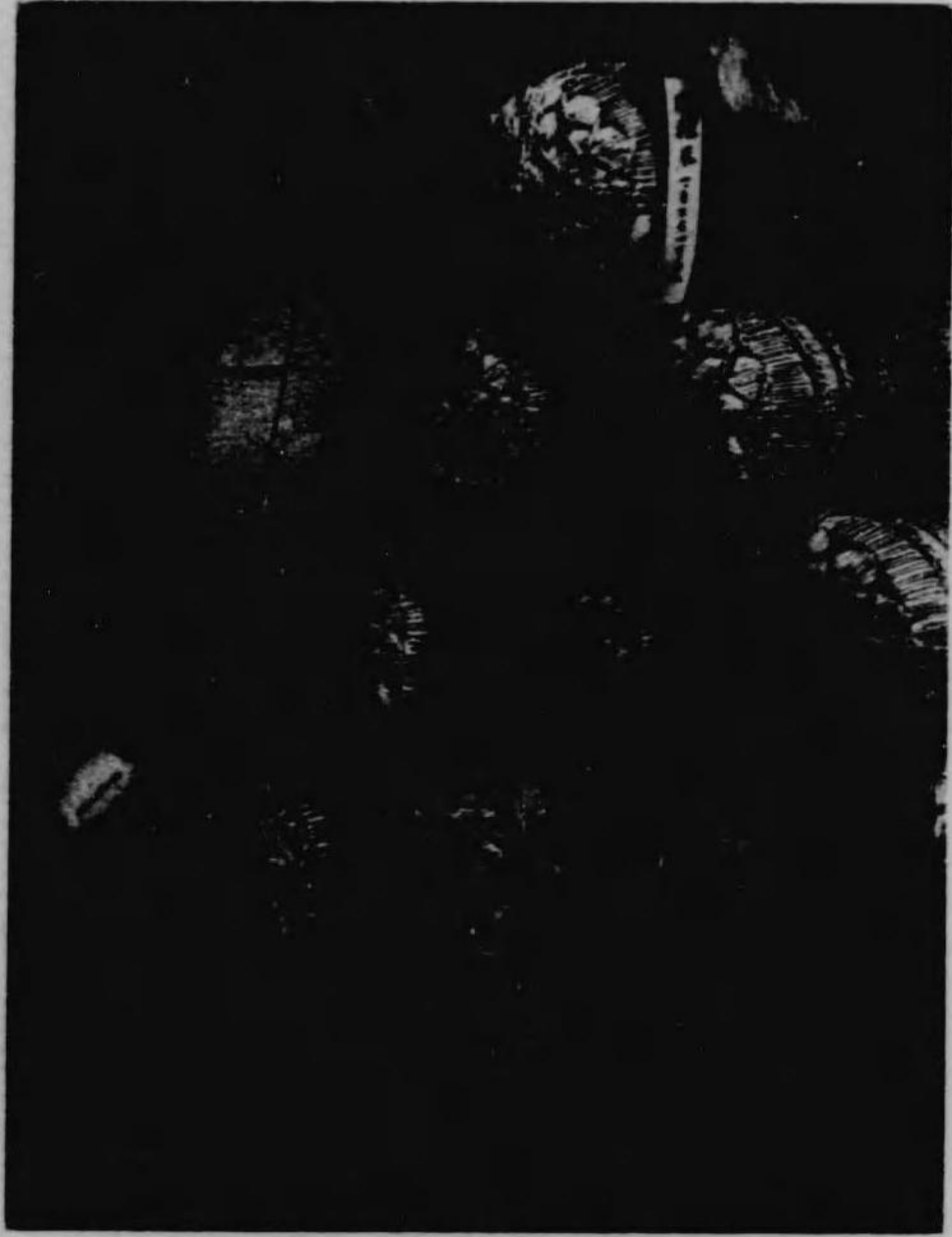
一ノ分百四尺縮



府縣事務所ニ通知承認ヲ得電氣局ニ依頼シ電燈ノ取付ヲナシ九日工事ニ着手シ十日電燈試  
 験ヲナシ即日開館ヲナセリ夜間開館中ハ看守人ヲ増シ兩館ヲ加セテ三十人トナシ以テ何等  
 故障ナキヲ得タリ鑛山館ノ如キ煌煌タル電燈各鑛石ニ映シ燦爛人目ヲ牽キ又林業館ノ巨林  
 竹材ノ并立電燈ノ映射スル恰カモ晝尙暗キ大森林ニ入ルノ觀ヲ起サシメ一ハ雄大一ハ壯嚴  
 共ニ好評ヲ博セリ

又 農業館  
 農業館ハ第三部農業ニ屬スル一切ヲ網羅セリ  
 而シテ其ノ出品多量ニ上リシヲ以テ米麥穀菽及蠶繭等ハ成ルヘク累積陳列ニ據リ米ノ如キ

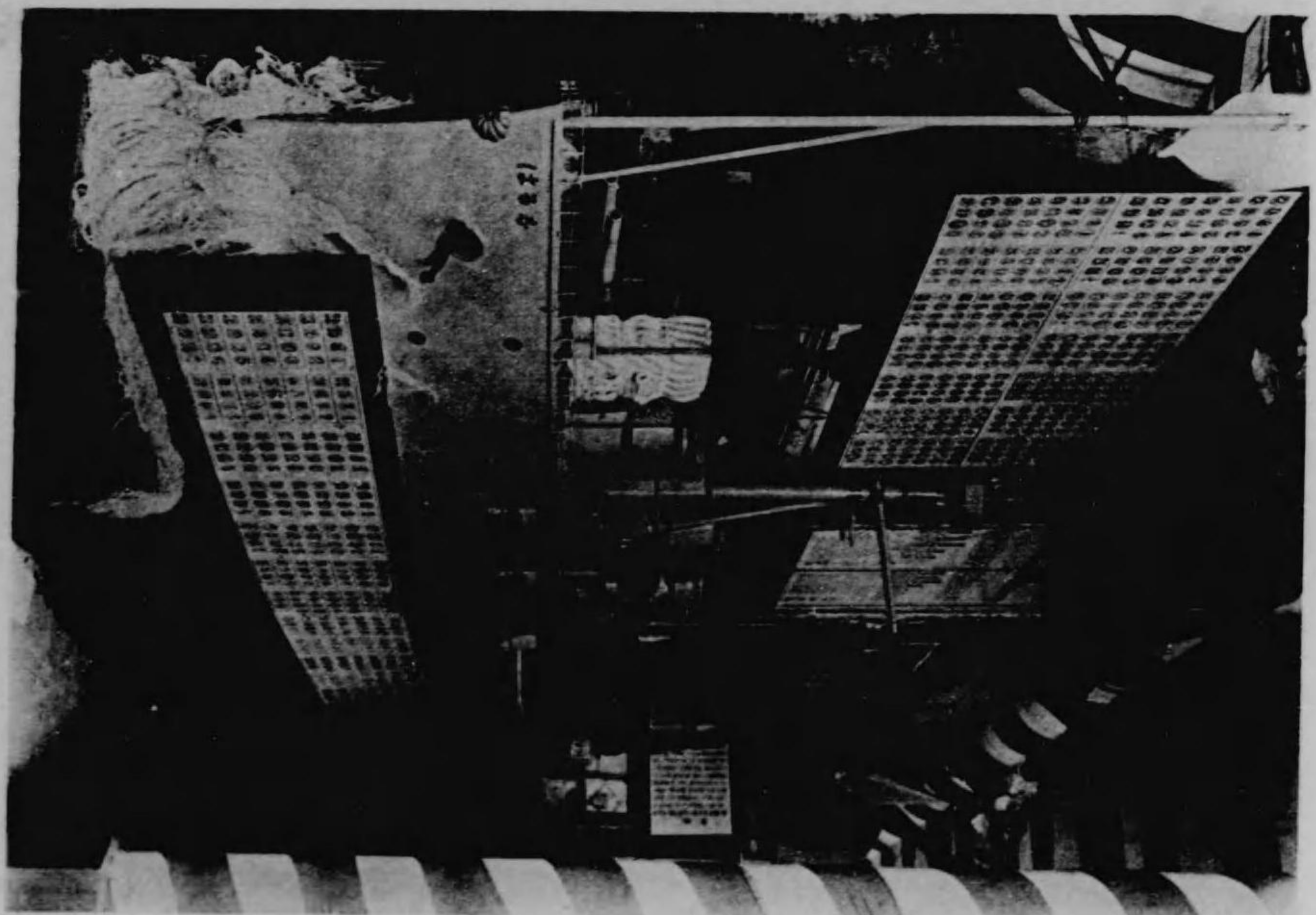
農 業 館 內 陳 列 狀 況



陳列狀況

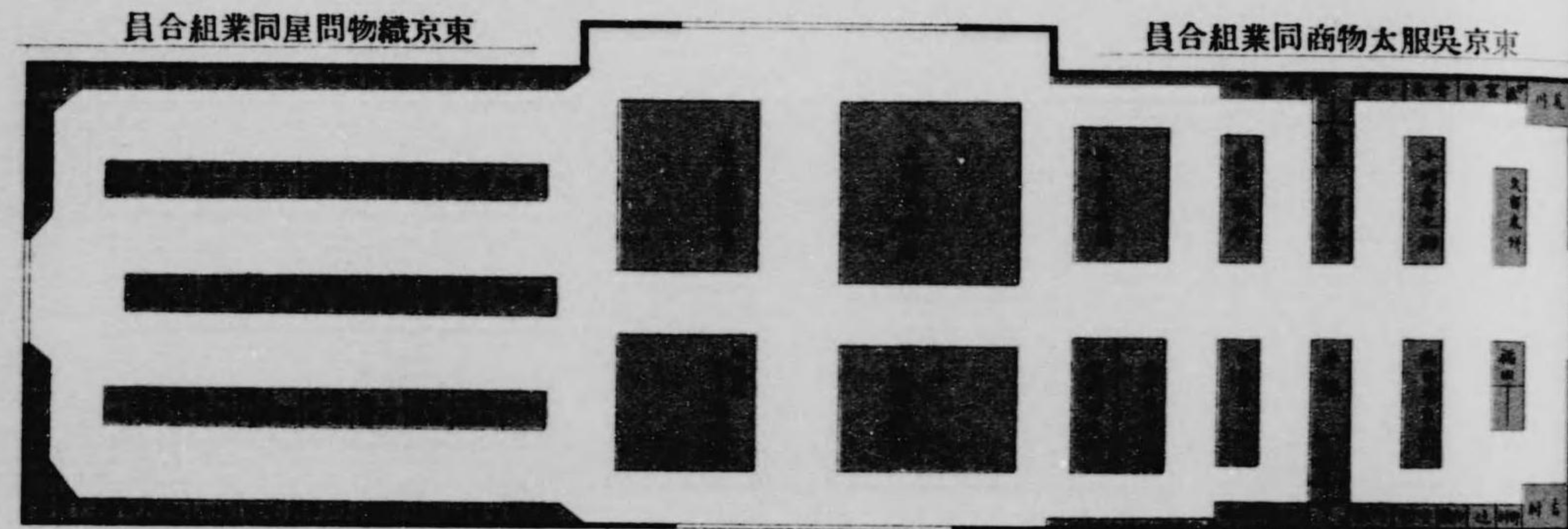


農業館內



圖之館別織染

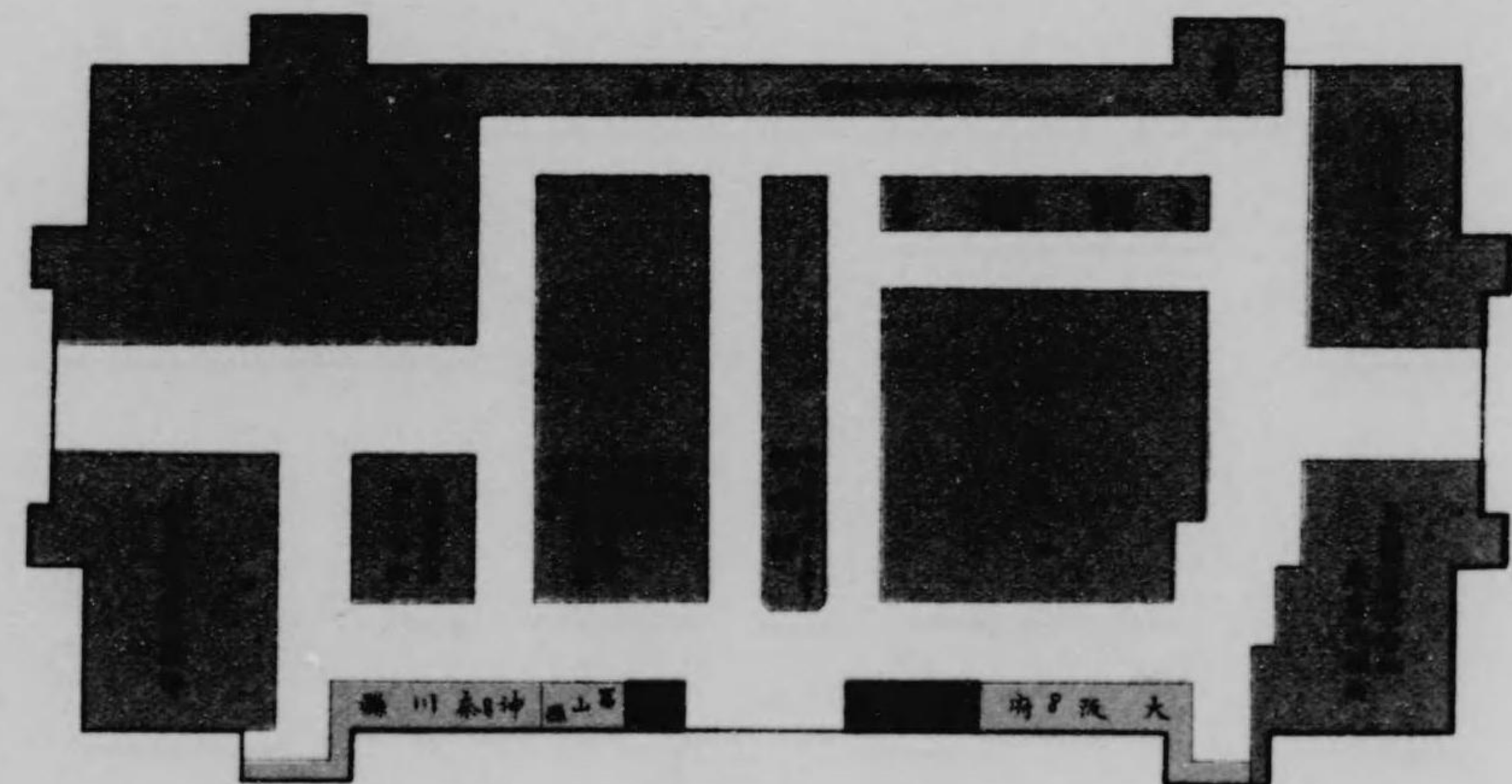
一ノ分百四尺縮



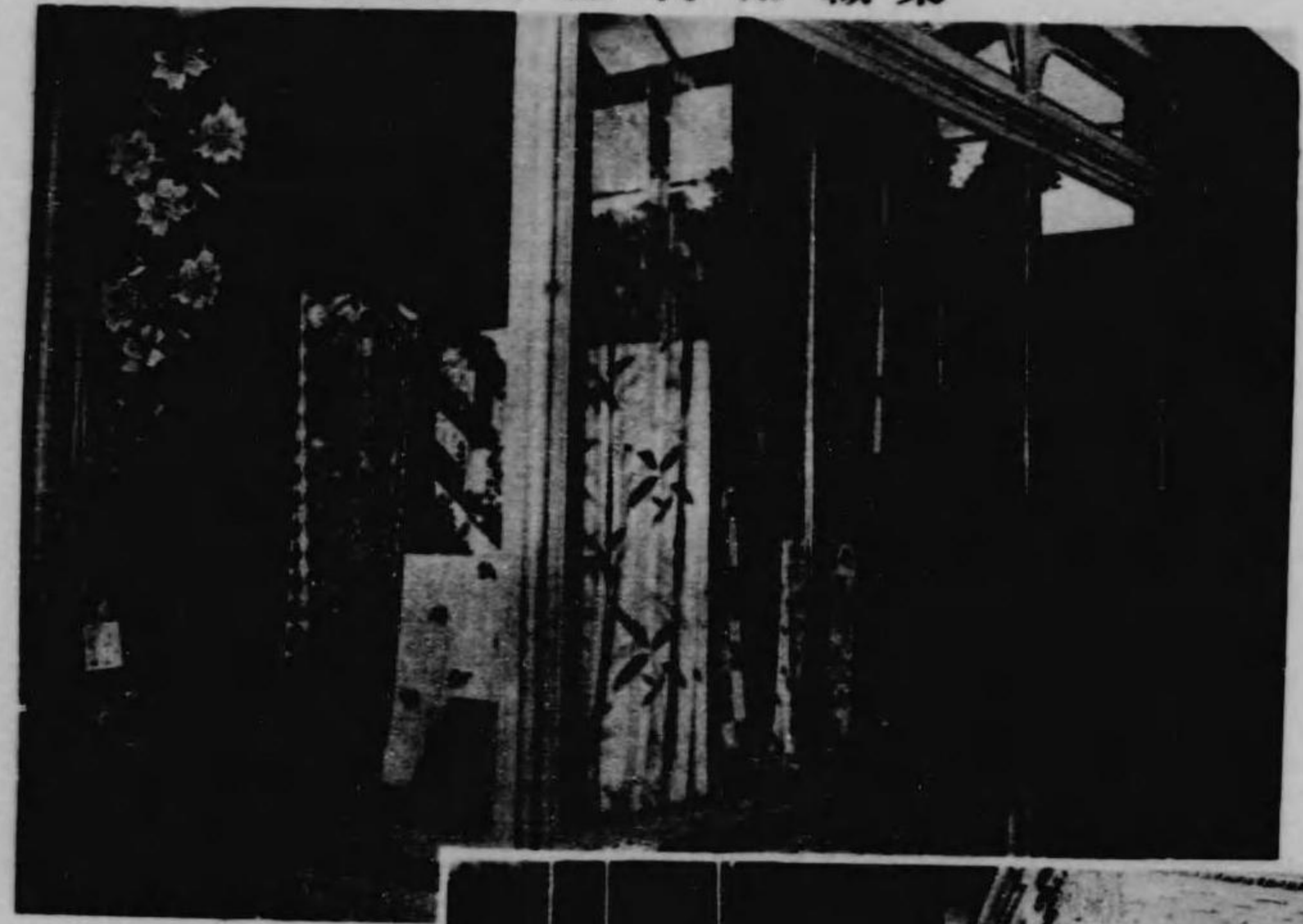
(池忍不)

圖之館輸運

一ノ分百四尺縮



染織館内陳列状況





形人飾裝店服吳田飯屋島高館織染



部一ノ列陳禪友ソリスモ京東館織染

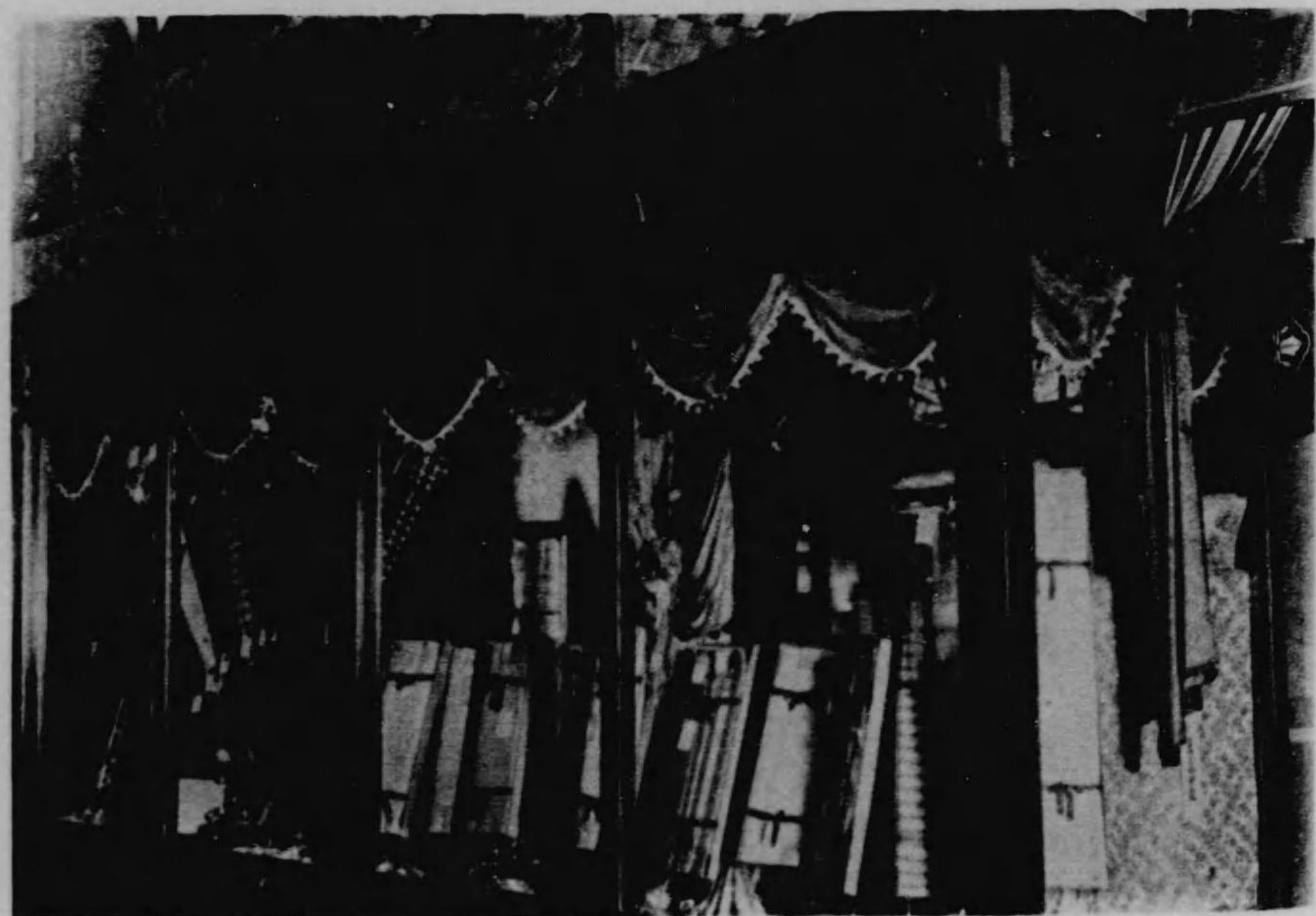
況 状 列 陳 内 館 別 織 染







部一ノ列陳縣木枋館織染



列陳物織絹出輸縣馬群館織染

特ニ俵積ミヲ獎勵セリ由來農業ニ關スル出品ハ生活ト最モ密接ノ關係アルニ拘ハラス一見甚タ無趣味ナルヲ常トスルヲ以テ今次ハ感興ト智識トヲ與フヘキ統計、模型、圖書、研究品或ハ野趣ヲ漲ラシメタルモノヲ陳列シ煙草專賣局ハ煙草製造機械二臺ヲ据付ケ多數ノ女工ヲ派シテ機械ノ内容作業工程ヲ示シタリ  
其ノ他農省務省農事試驗所原蠶種製造所東京高等蠶種學校ノ斯業上有益ナル出品アリ孰レモ以上ノ趣旨ニ於テ巧妙ナル陳列ヲ試ミラレタリ

ル 染織館

本館ハ第九部(染織工業)出品ヲ陳列セリ

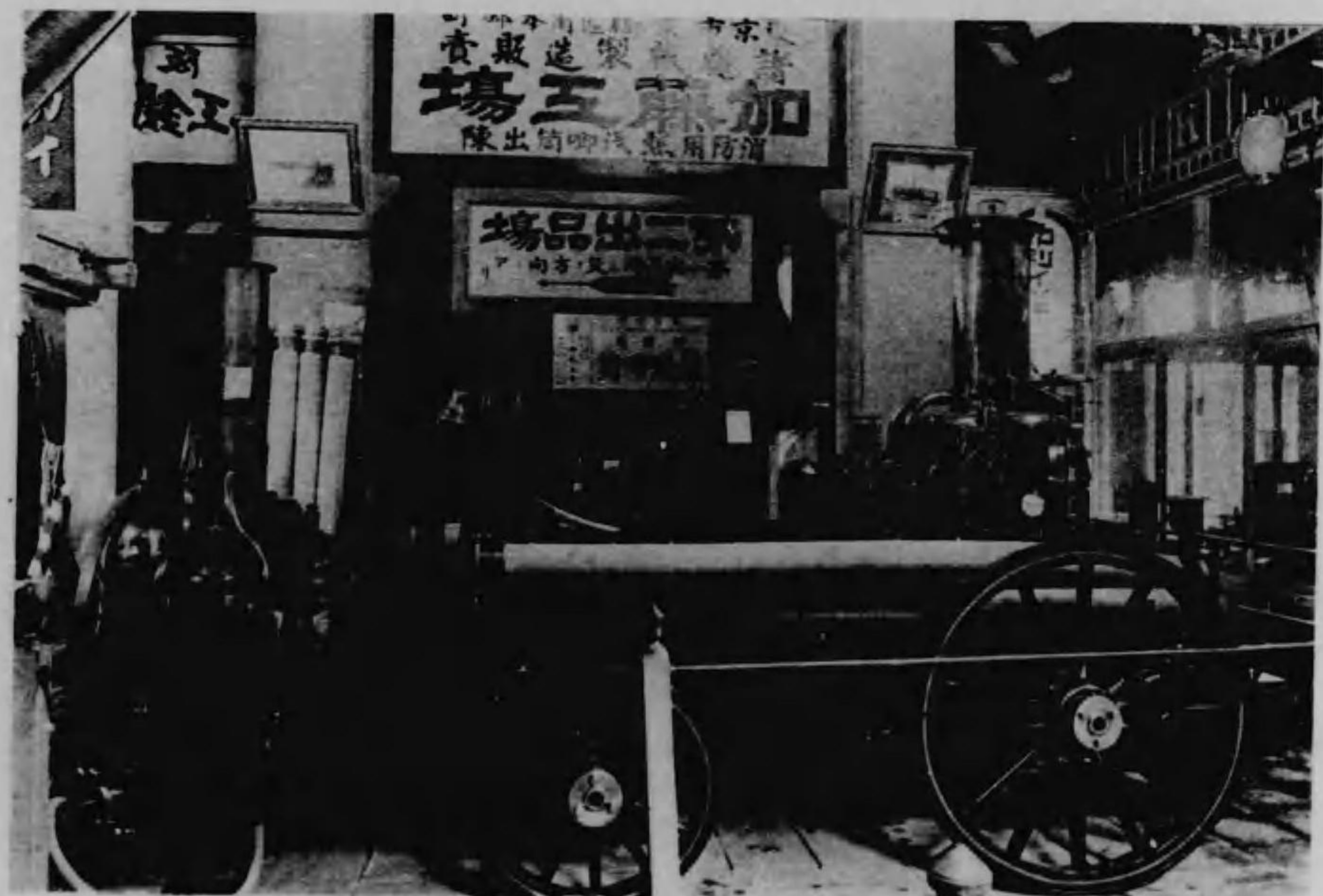
陳列竝ニ配置ニ就テ特ニ記載スヘキ事項ナシト雖モ各府縣共ニ其ノ意匠ニ全力ヲ竭クシ或ハ絢爛或ハ清洒以テ衆目ヲ惹カンコトヲ競ヘリ特ニ高島屋出品ノ人形應用陳列ハ一頭地ヲ抜ケルヲ見ル但シ光線ニ最モ注意スヘキ本館ノ採光充分ナラサルニ加ヘテ嵩大ノ陳列施設ヲナスモノアリタルヲ遺憾トス

ヲ 染織別館

本館陳列ハ第九部トス

陳列ハ綾羅飾繻ノ美ヲ發揮シ就中著名吳服店ノ陳列或ハ壯麗或ハ優美觀者恍惚トシテ立ち去ルヲ忘ルルカ如ク特ニ夜間開場ニ於テ燦爛タル電飾ノ下百花繚亂ノ美ヲ盡クシテ本館ハ常ニ肩摩ノ雜踏ヲ極メタリ

機械館内陳列狀況



運輸館

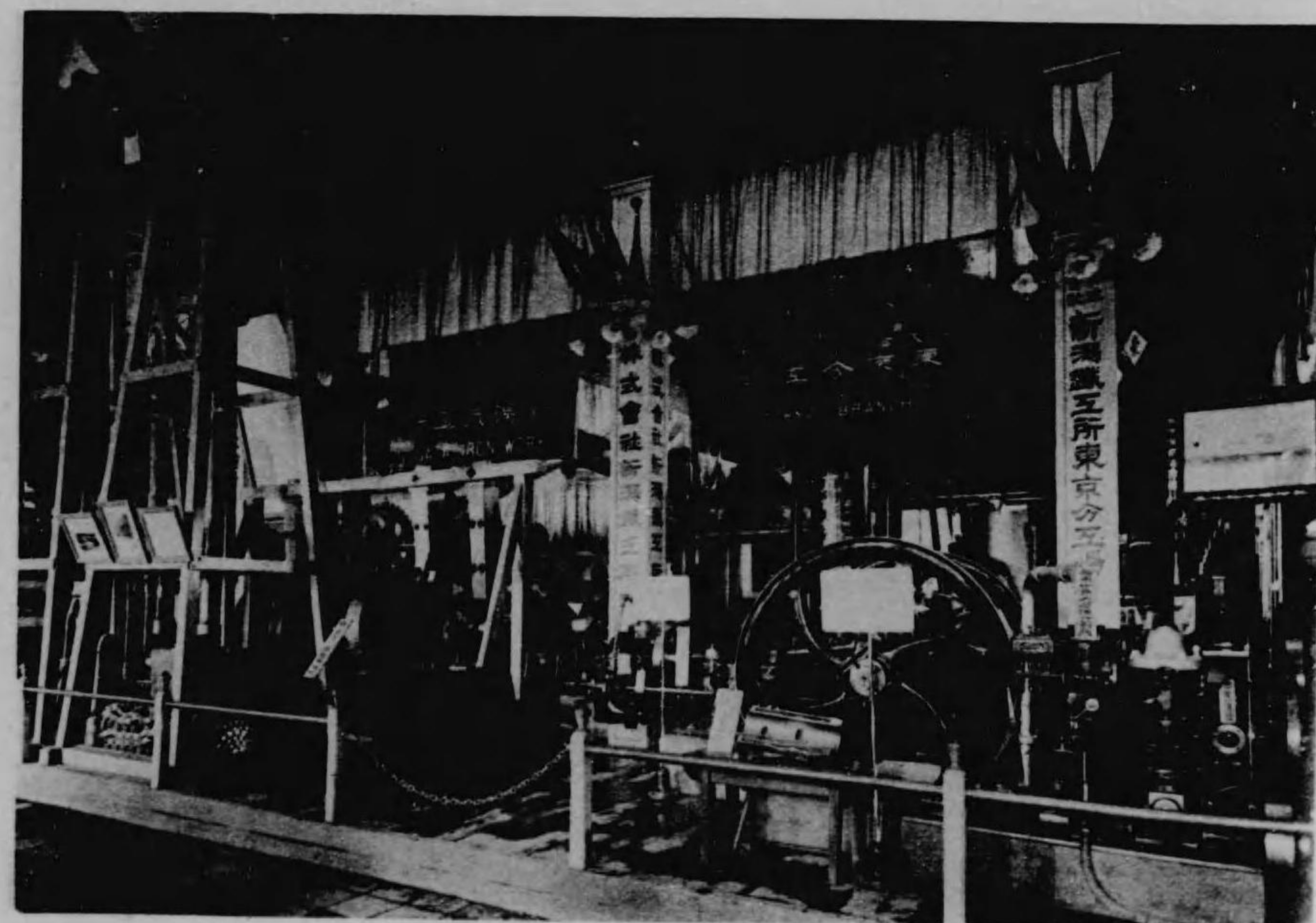
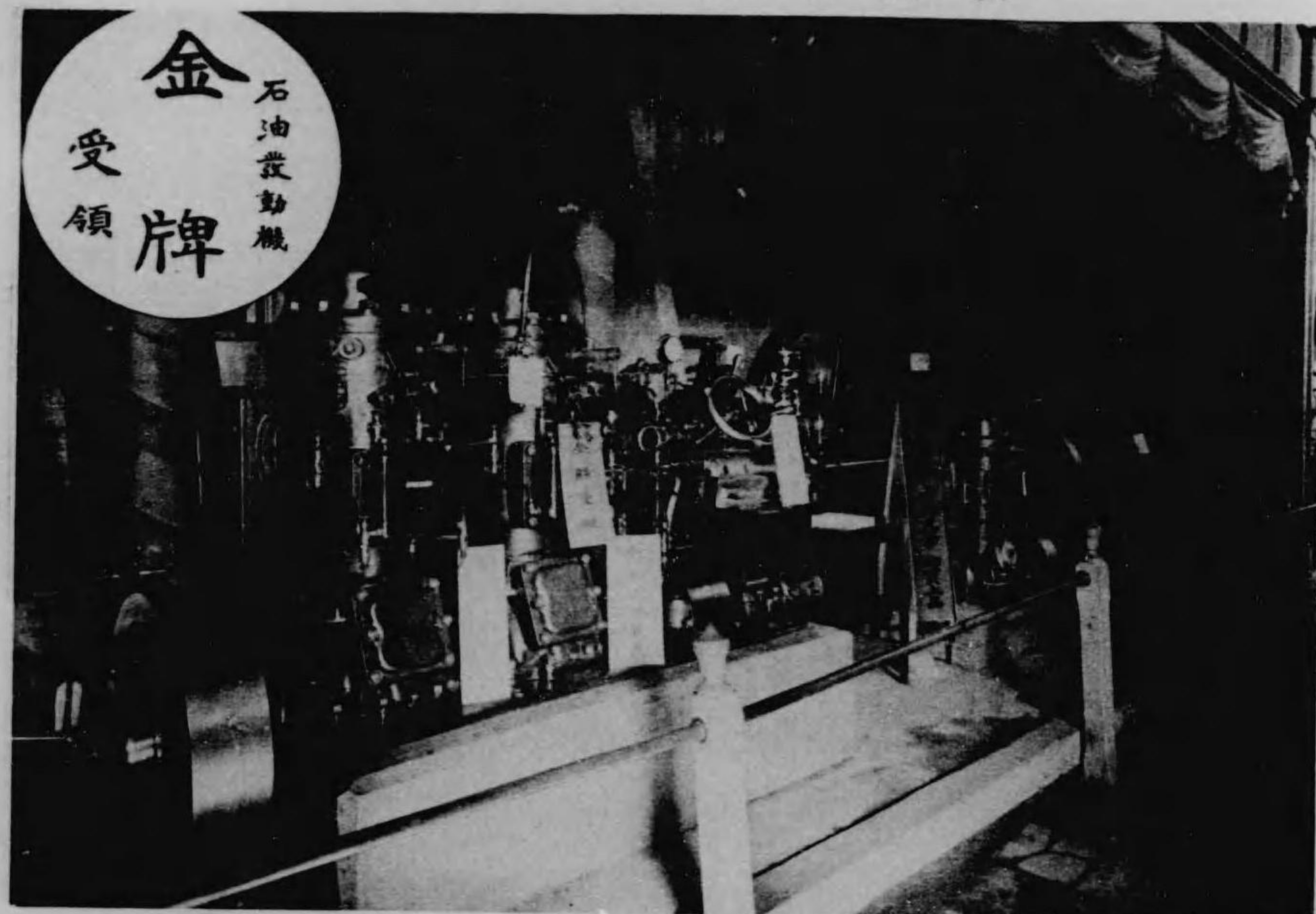
本館ニハ第十三部(運輸及土木)第十二部中船舶出品ヲ陳列セリ  
鐵道院ハ輪奐宏壯ナル中央停車場模型田端停車場ニ於ケル貨車操車模型橋梁工事模型東京  
汽船會社大阪商船會社ハ航路模型汽船模型日本郵船會社ハ伏見丸ノ特等室一部ヲ展開セル  
モノ三菱造船所ハ二等巡洋艦矢矧模型及造船模型ヲ夫々出品シテ觀者ノ足ヲ留メシメ其ノ  
他人力車自動車自轉車等運輸ニ關スルモノヲ網羅シ出品亦多數ニ上リタル爲メ陳列稍難駁  
ニシテ道路狹隘ノ感アリシヲ遺憾トス

機械館

概況 工業ノ真髓タル機械工業ハ當局ノ指導獎勵ト當業者不屈ノ努力ト相俟テ近時長足ノ  
進歩ヲ示シ今ヤ歐米製品ニ比シテ其ノ外形實質共ニ遜色無キモノアルニ至リタルハ聊カ意  
ヲ強フスルニ足レリ從テ本會出品モ亦頗ル饒多ニシテ我國現時代表的作物ヲ網羅シ其ノ出  
願面積三千坪ニ及ヒ八百四十坪ノ機械館内ニ收容不可能ナル盛況ヲ呈セシヲ以テ其ノ一部  
ヲ運輸館並ニ館外ニ適宜配置セシモ尙且一部出品拒絕ノ已ム無キニ至リ又假令其ノ選ニ入  
レルモノト雖モ出品者ヲ満足セシムヘキ坪數ヲ割リ宛テ得サリシヲ遺憾トス今府縣別並ニ  
類別ノ出品表ヲ示セハ次ノ如シ

機械館出品人員點數府縣別表

機 械 館 內 陳 列 狀 況





面 外 館 械 機

府 縣 別	科 目																
	東 京 府	京 都 府	神 奈 川 縣	兵 庫 縣	新 潟 縣	群 馬 縣	三 重 縣	愛 知 縣	靜 岡 縣	長 野 縣	宮 城 縣	福 島 縣	山 形 縣	秋 田 縣	廣 島 縣	福 岡 縣	佐 賀 縣
機	出 品 人 員	一 六 二	一 三 三	二 八 二	一 四 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一	一 三 一
械	出 品 點 數	二 、 二 五 〇	二 、 一 三 三	四 六 〇	一 〇 六	二 〇 六	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二	一 七 二
電	出 品 人 員	七 〇	二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
氣	出 品 點 數	二 、 〇 六 〇	一 七 〇	七 二	三 五	七 二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合	出 品 人 員	二 三 三	二 二	二 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四	一 四
計	出 品 點 數	四 、 三 一 〇	一 七 〇	二 四 八	五 三 二	一 〇 六	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二	二 七 二

機械館出品人員點數類別表

類別	種類	出品人員	出品點數
第一百五十三類	原動機	二七	一一三
第一百五十四類	一般機械、調帶、接手、ヴァルヴ、コック	六五	一、一三八
第一百五十五類	工作機械、カリパス、コンパス、定盤	二五	六九七
第一百五十六類	製造機	三四	八八
第一百五十七類	染色機	三八	一九一
第一百五十八類	印刷機	一〇	一六〇
第一百五十九類	探礦及冶金用機械	二	六
第一百六十類	土木及建築用機械	一	二
第一百六十一類	雜機	二四	七四七
第一百六十三類	發電電動變成及配電用器械器具	二五	八五八
第一百六十四類	電燈	一五	五九四
第一百六十五類	電氣鐵道	三	四七
第一百六十六類	電信電話電氣信號	一四	一五三
第一百六十七類	送電用材料並器械器具	一八	四二一
第一百六十八類	電氣測定器	七	三〇九
第一百六十九類	電氣應用裝置	六	二八

合計

三二四

五、五七九

出品選擇 規則ニヨリ十月三十一日ヲ以テ願書ノ受附ヲ切リタルカ記載事項不明ノ點多ク殊ニ設計圖ニ在リテハ疎漏杜撰不備甚シキモノ尠ナカラサリシカ爲メニ照會訂正ニ時日ヲ費シ且ツ出願坪數ハ豫定ノ約四倍ニ達シ到底短時日ニ取捨選擇スル能ハス爲メニ約二箇月ニ互ル慎重ナル取調ノ上漸ク大正三年一月十日出品許可ノ指令ヲ交附セリ

- (イ) 基礎工事ハ既定ノ場所ニ於テ係員ノ指定スル日限内ニ著手並ニ終了セシムヘシ
- (ロ) 基礎工事ニ要スル器具材料ハ必要ニ應ジ搬入スヘシ但シ豫メ指定ノ場所ニ搬入シ置キ各自保管スルモ妨ケ無シ此ノ場合ニハ自己ノ名札ヲ立テ置ク可シ

- (ハ) 工事中ニ生シタル残土ハ混雜ヲ防ク爲メ直チニ管外指定ノ場所ヘ搬出スヘシ
- (ニ) 器具材料散亂セサル様日々必ス跡片付ヲ爲スヘシ
- (ホ) 管内ニ於テ焚火及ヒ喫煙ヲ嚴禁ス
- (ヘ) 本工事中ハ多人數同時ニ著手スル故相互ニ譲リ合ヒ不都合無キ様工事を施行スヘシ
- (ト) 工事使用人ノ行爲ニ關シテハ凡テ出品人其責ニ任スヘシ
- (チ) 工事施行時間ハ午前九時ヨリ午後五時マテトシ一切係員ノ指揮ニ從フヘシ

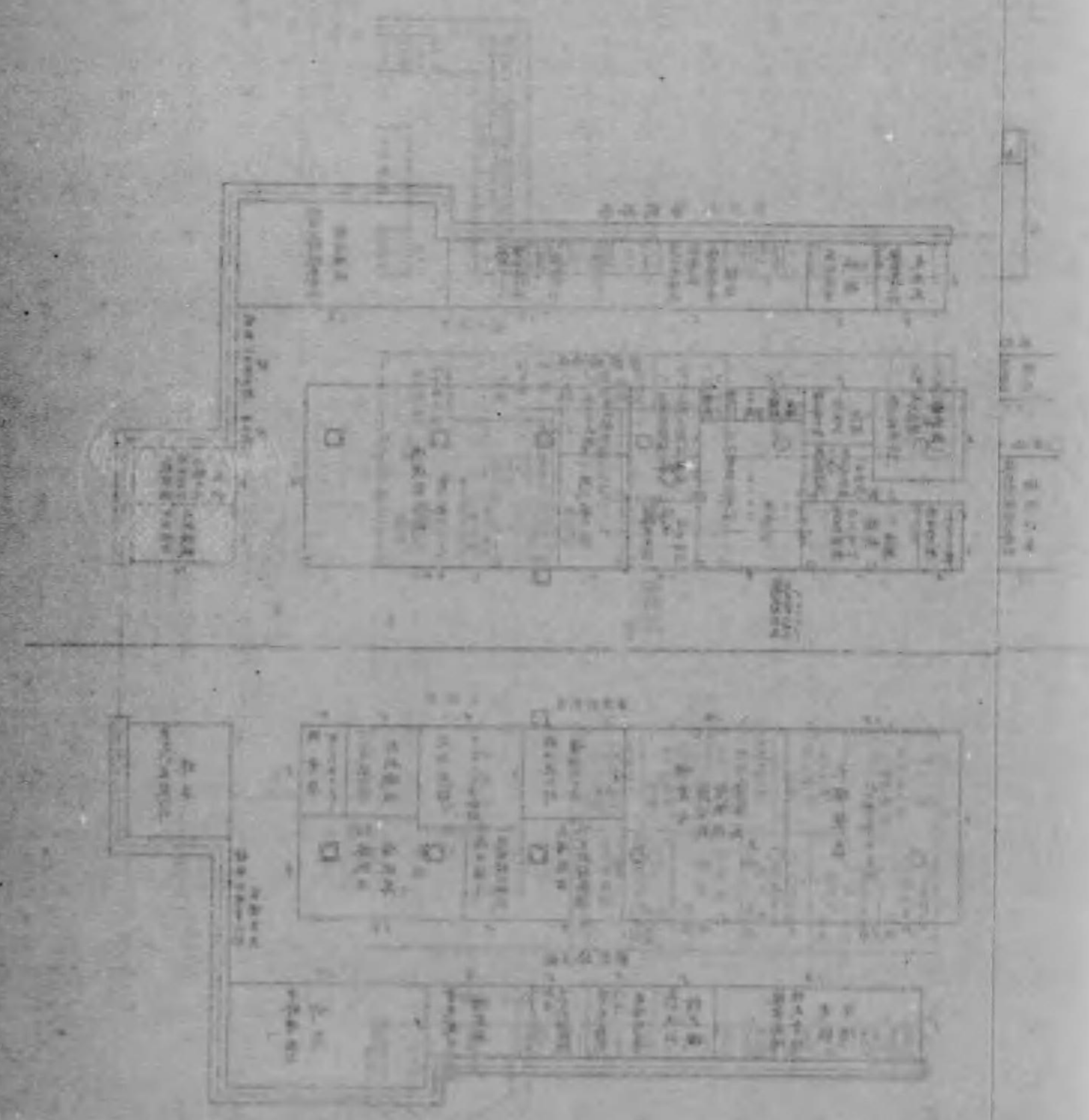
配置圖 機械館内出品者名及ヒ重ナル出品物ヲ其ノ配置ニ從ヒ圖ヲ以テ現セハ次ノ如シ但關係アル動力館圖モ添付ス

出品物基礎工事 規則ニヨリ鉅重物並ニ運轉品ニ對スル基礎工事設計書及設計圖ヲ提出セシメ軟弱ナル地層上ニ工事ヲ爲シテ差支無キヤ附近出品物其ノ他ニ對シ危險ナラサルヤ等ヲ充分調査シ數回訂正ノ上殆ント半永久的ニ堅固ナル基礎工事ヲ爲サシメタルヲ以テ開期中全荷重運轉ニ際シ振動甚タシキヲ以テ一二其ノ休止ヲ命シタルモノノ外凡テ完全ニ目的ヲ達シタリ

出品物整備 諸機械ハ能フ限リ分解ノ上運搬セシメシモ變壓器ノ如キハ約二十噸ノモノニシテ又如何トモスヘカラサリシヲ以テ別ニ臨時橋梁ヲ本館裏手ニ架設シテ搬入セシメタリ從來本館ハ他館ト異リ基礎並ニ運搬其ノ他ニ時日ヲ費シ開會ニ至ルモ其ノ過半ハ出品運延セシヲ以テ今回ハ特ニ此點ニ多大ノ注意ヲ拂ヒ出品者モ亦此ノ意ヲ體シテ搬入ニ勉メタルヲ以テ出品機械全部出揃ヒタル上秩序整然既定ノ時日ニ開館シタルハ確カニ一進歩トシテ特筆ノ價値アルモノナラン

夜間開館 本館夜間縦覽ノ件決定スルヤ危險盜難其ノ他ニ對シ充分ナル研究ノ上晝間看守人數ノ約一倍半ヲ配置シ本會ニ於テハ電燈八百八十四箇此燭光二萬五千ヲ設備シ出品人モ亦之ニ倍スル電飾ヲ以テセルカ故ニ足一度本館ニ入レハ光輝燦爛煌煌トシテ出品物ニ照映シ壯觀ヲ極メタリキ而シテ四月十八日夜間開館以來諸機械ヲ運轉シテ何等ノ事故無ク閉會迄續行シ得タリ

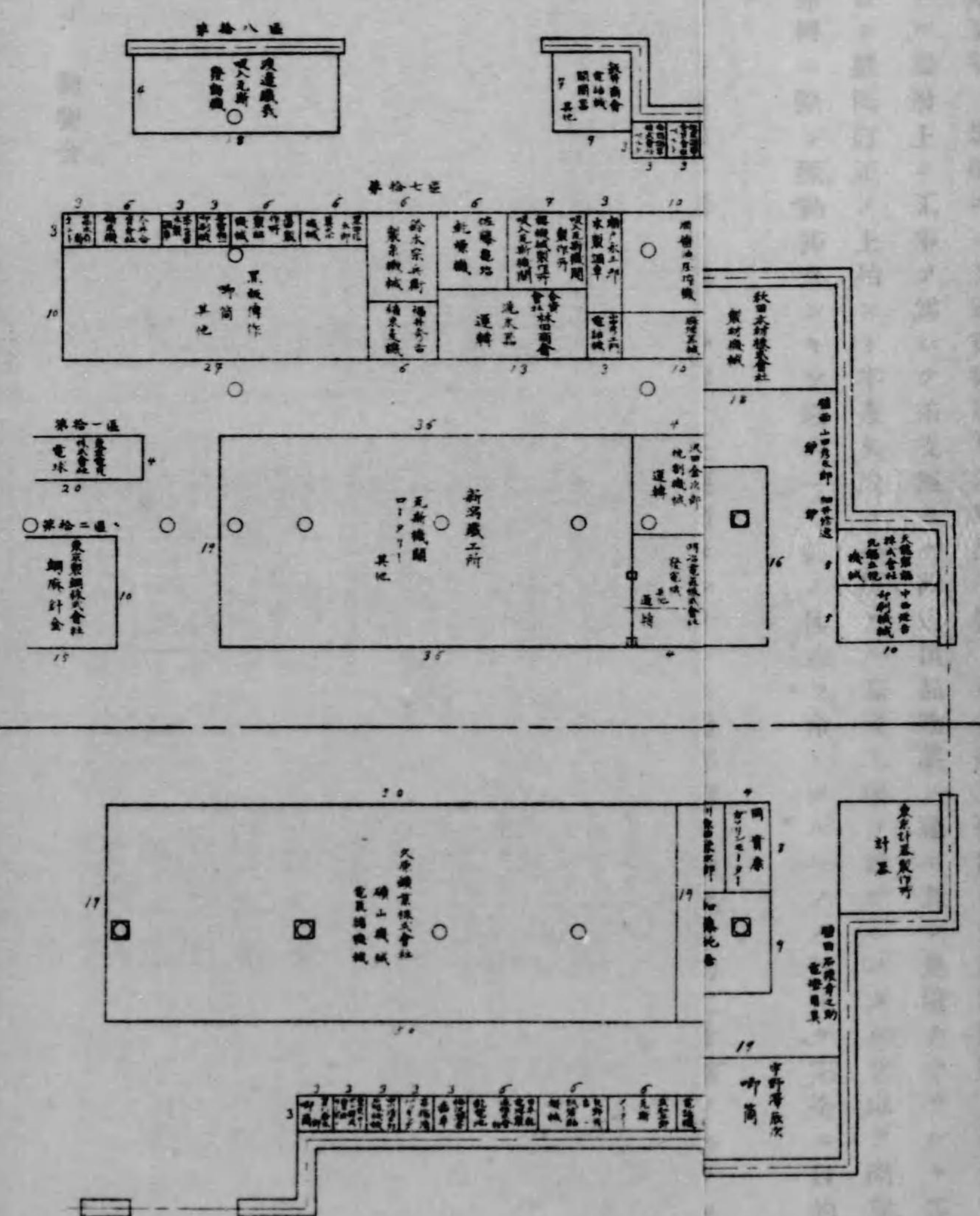
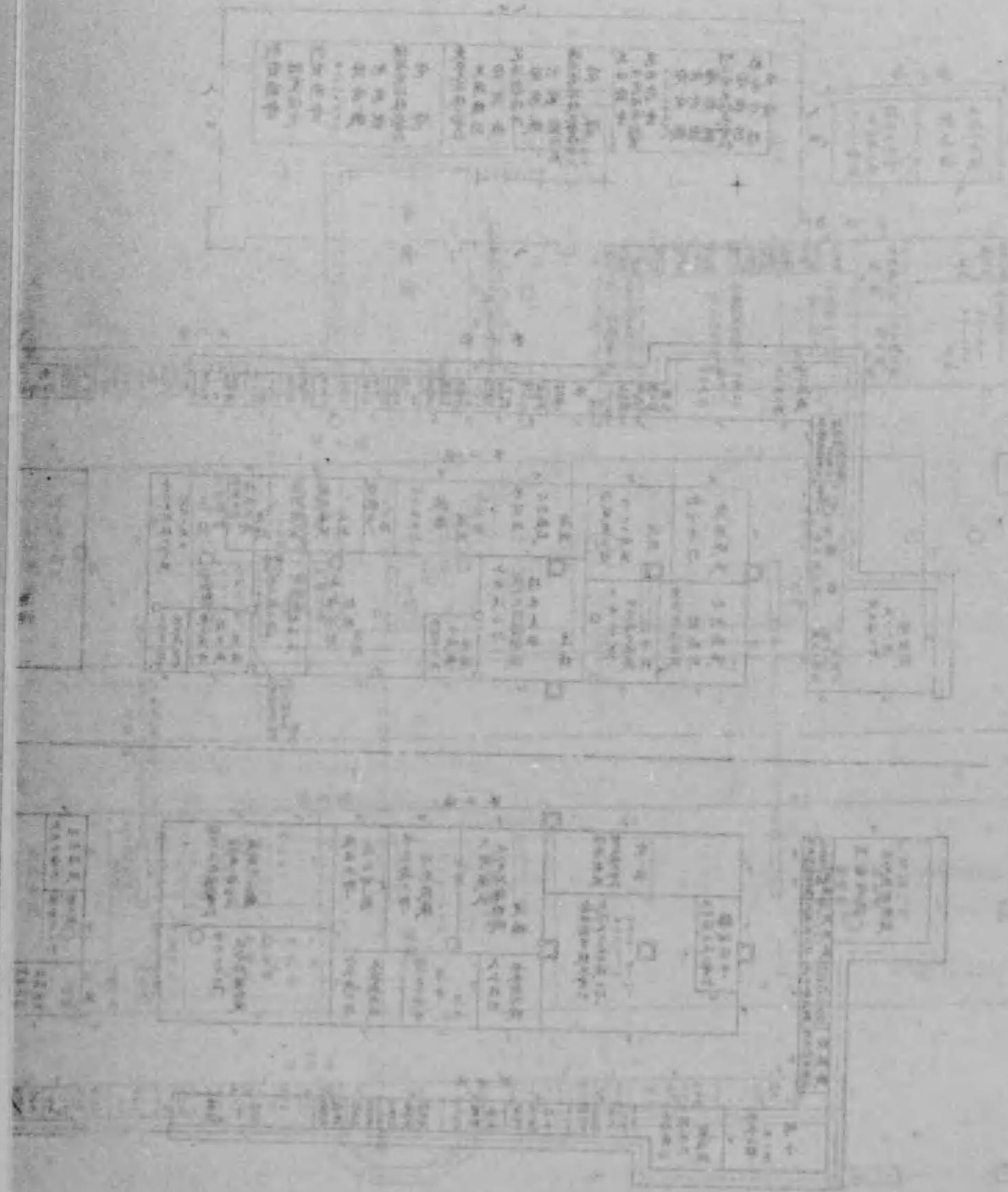
ヨ 動物舍





酒造部 圖

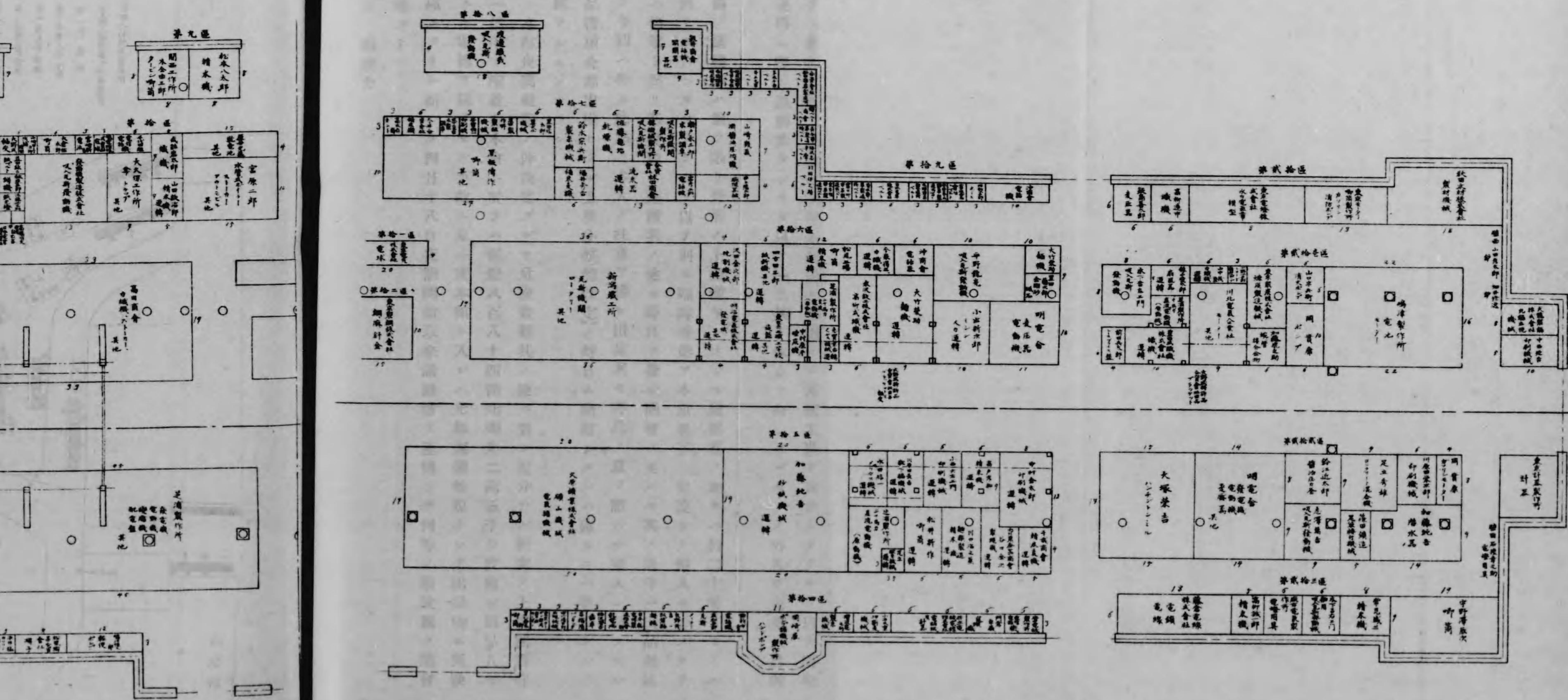
昭和二十一年



此圖為酒造部之建築設計圖  
 其內容包括：  
 一、總平面圖  
 二、各棟建築之平面圖  
 三、各棟建築之立面圖  
 四、各棟建築之剖面圖  
 五、各棟建築之構造圖  
 六、各棟建築之設備圖  
 七、各棟建築之配管圖  
 八、各棟建築之配電圖  
 九、各棟建築之配水圖  
 十、各棟建築之配氣圖  
 十一、各棟建築之配熱圖  
 十二、各棟建築之配冷圖  
 十三、各棟建築之配風圖  
 十四、各棟建築之配光圖  
 十五、各棟建築之配音圖  
 十六、各棟建築之配視圖  
 十七、各棟建築之配味圖  
 十八、各棟建築之配香圖  
 十九、各棟建築之配色圖  
 二十、各棟建築之配觸圖

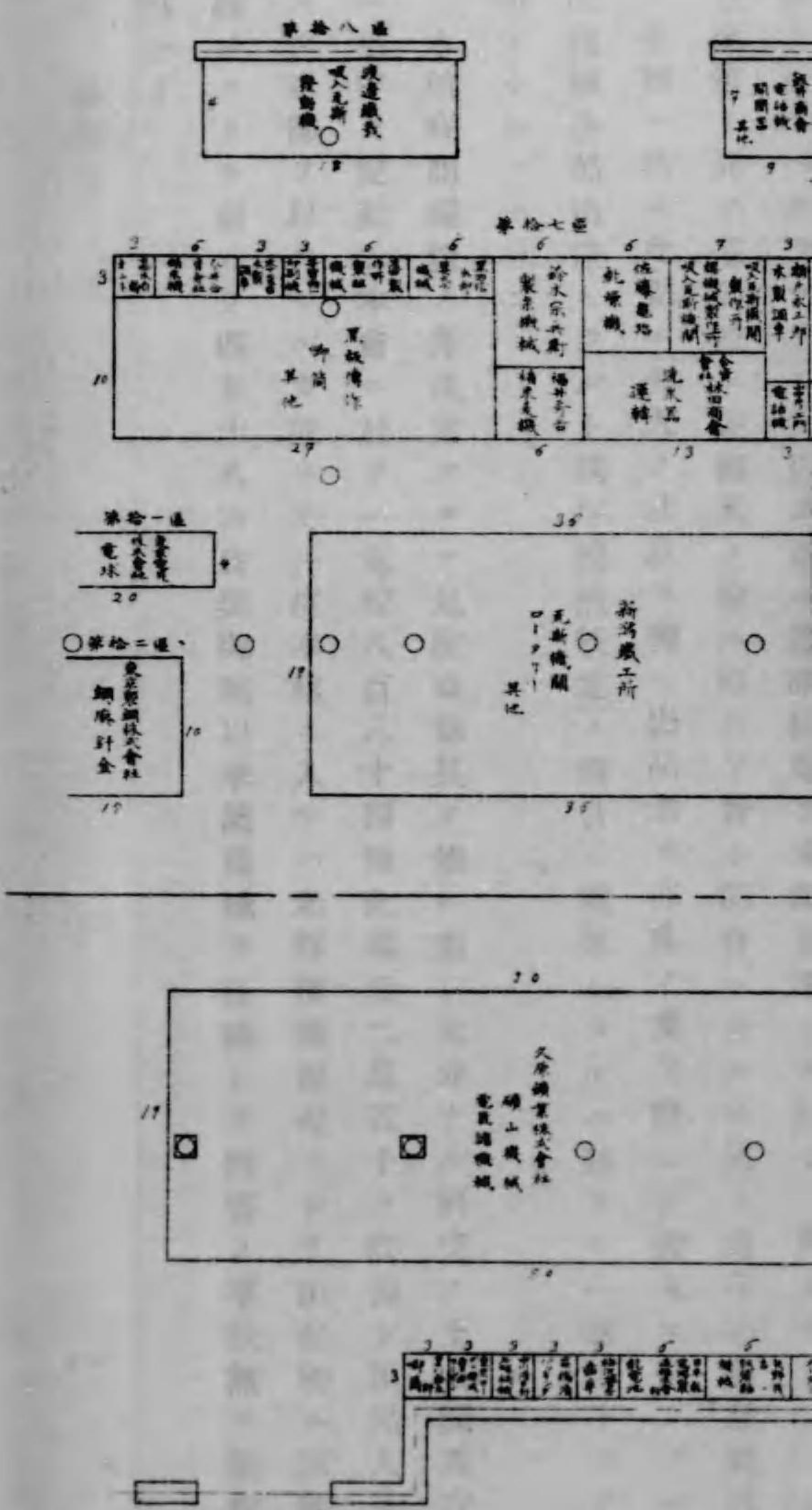
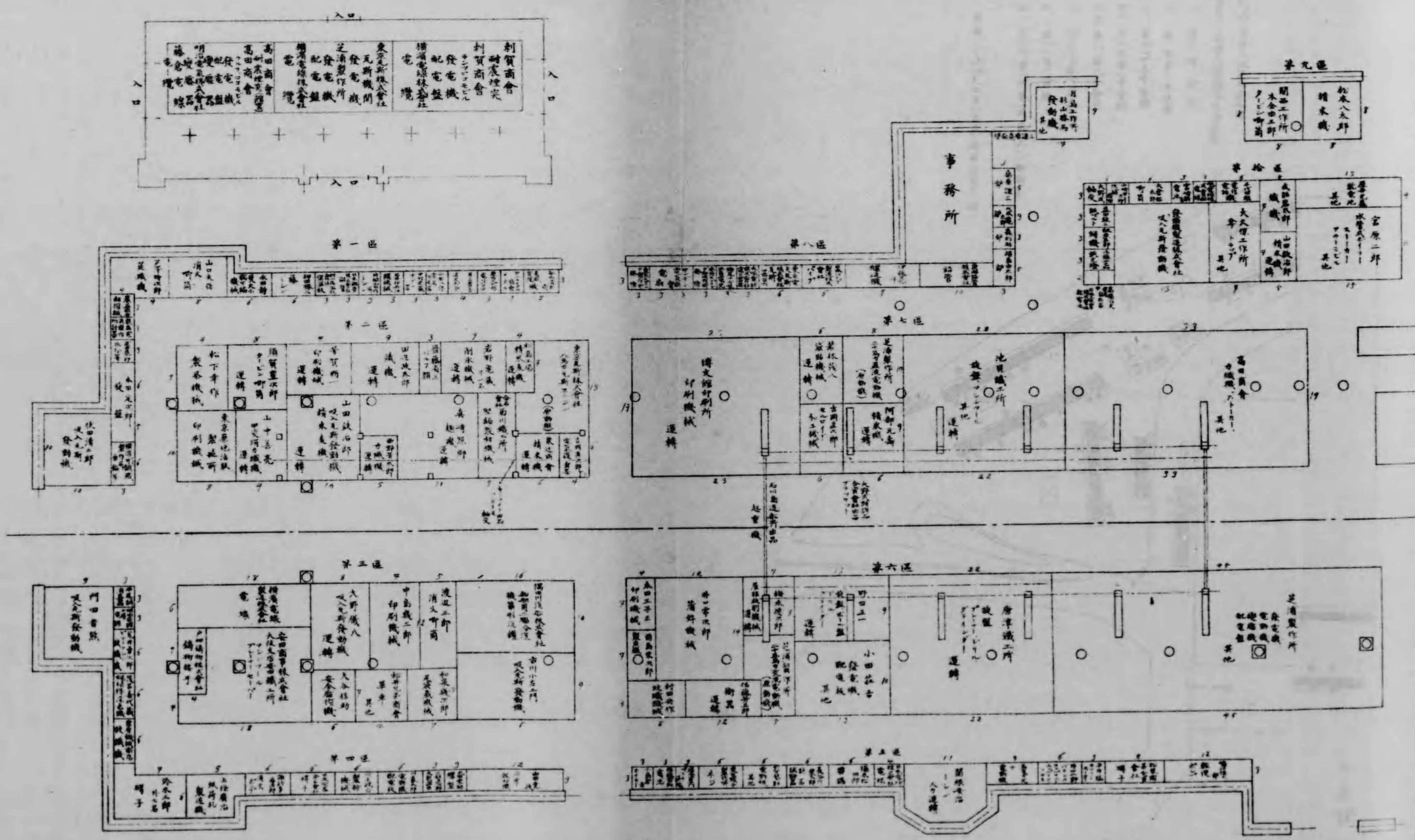
機 械 館 內 出 品 配 置 圖

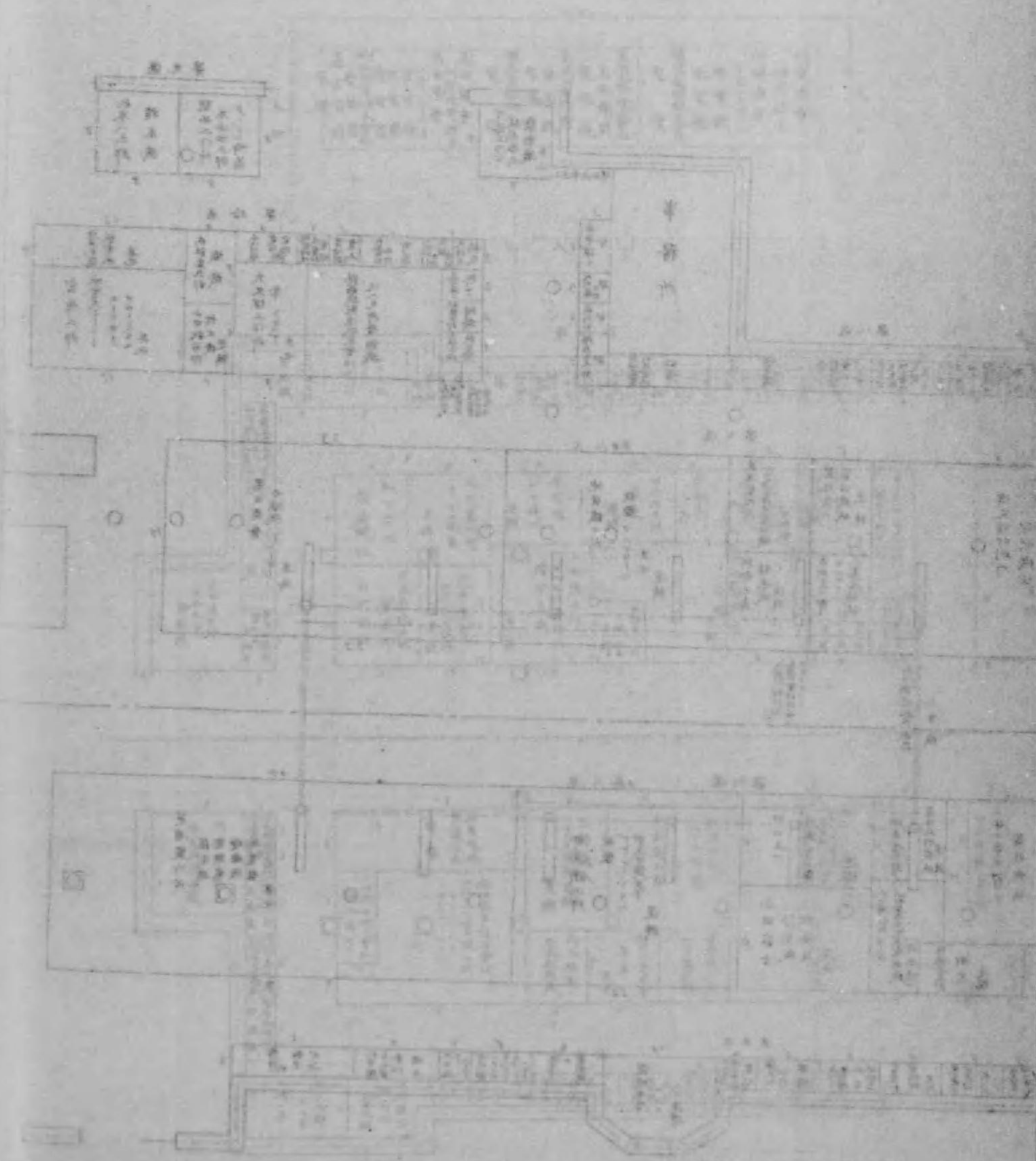
縮 尺 四 百 分 之 一



# 動力館配置圖

縮尺四分百一





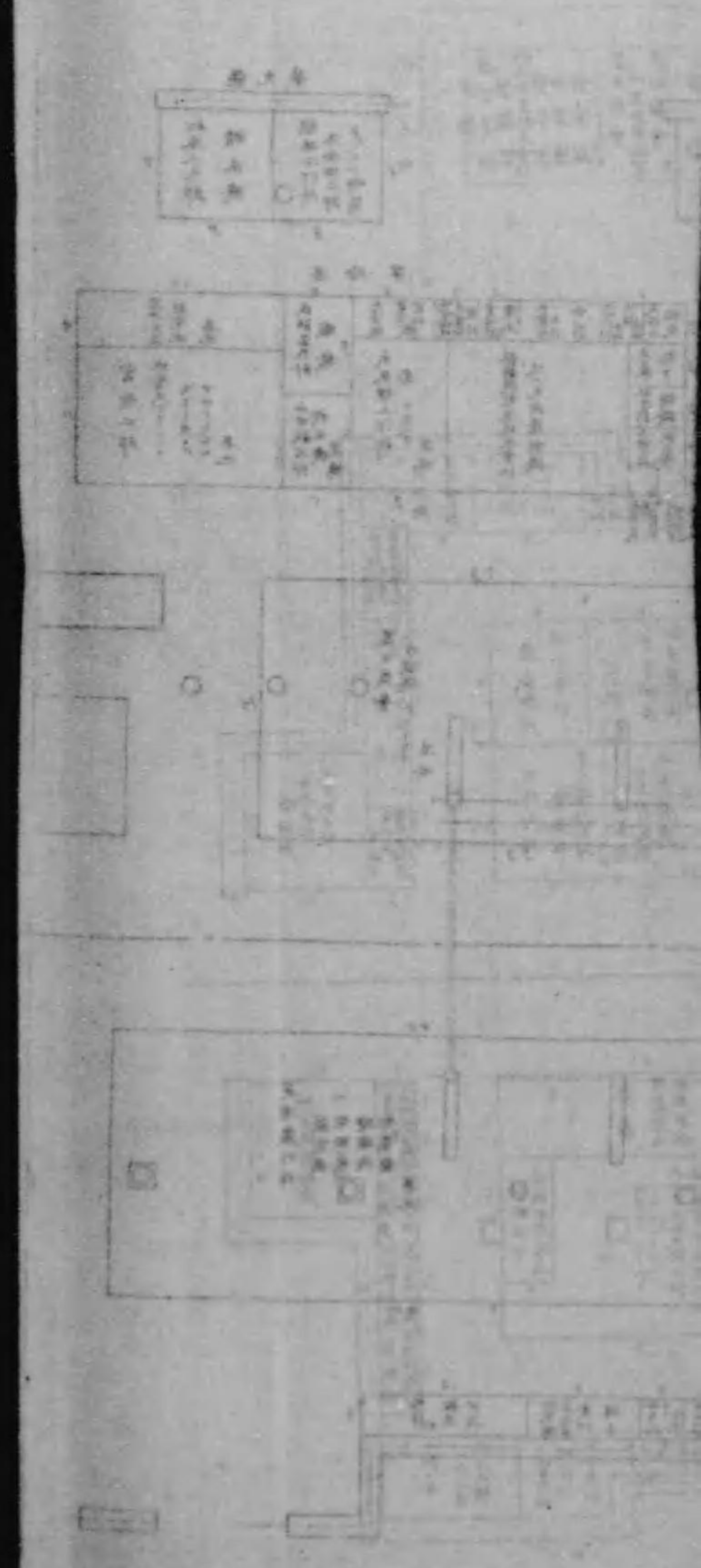
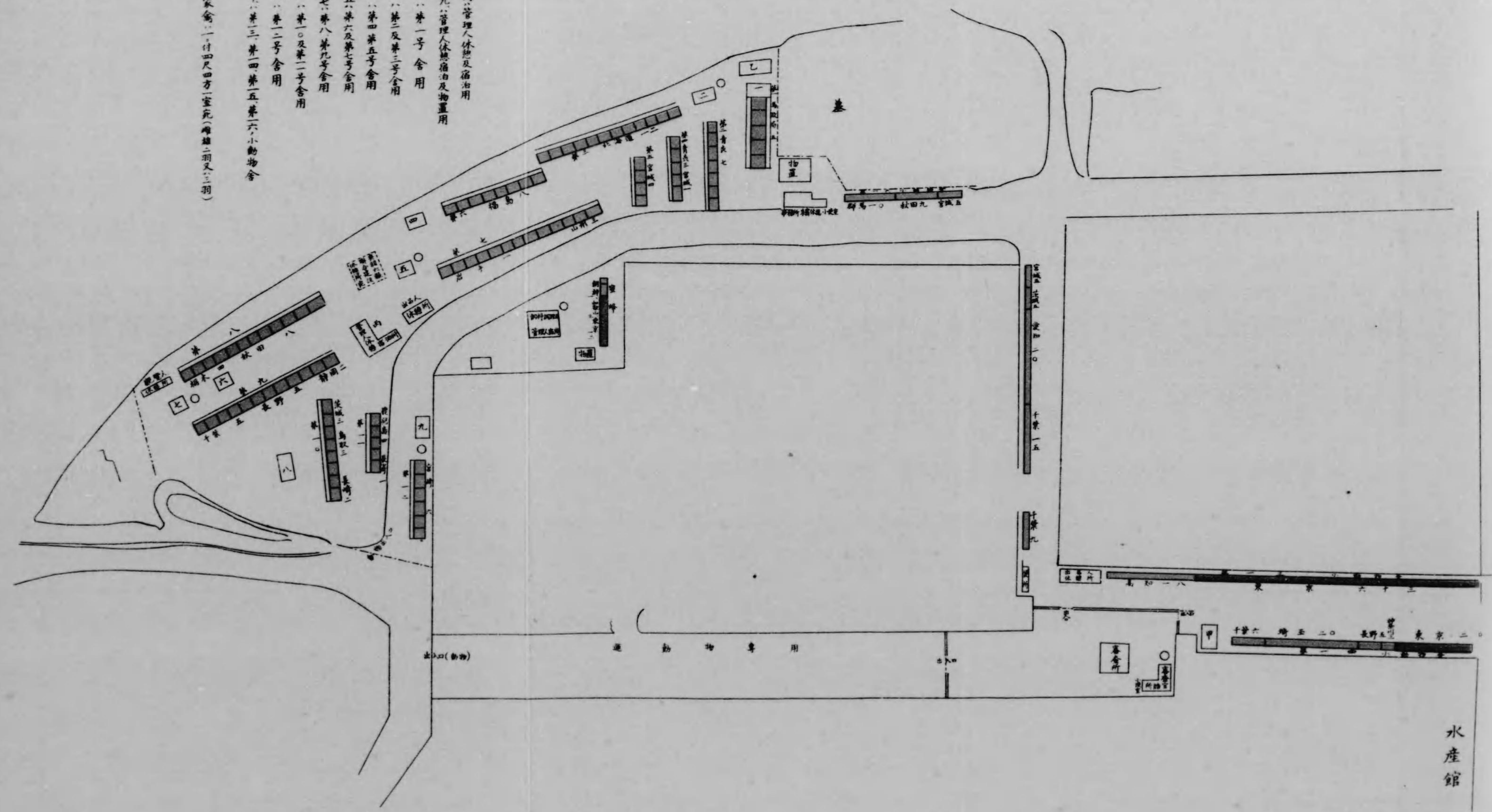
- 甲乙丙管理人休息及宿用  
一乃至九管理人體檢室及物置用
- 一、第一号舍用
  - 二、第二及第三号舍用
  - 三、第四及第五号舍用
  - 四、第六及第七号舍用
  - 五、第八及第九号舍用
  - 六、第一〇及第二号舍用
  - 七、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十号舍用
  - 八、第十一号舍用
  - 九、第十二号舍用
- 家舍一、付四四方一室此用雜二羽又三羽



水産館

動物舍之圖  
縮尺二千分之一  
馬、家、及蜜蜂

- 甲乙丙管理人休息及宿用
- 一 乃至九管理人休息宿用及物置用
- 一、第一号舍用
- 二、第二及第三号舍用
- 三、第四及第五号舍用
- 四、第六及第七号舍用
- 五、第八及第九号舍用
- 六、第十号舍用
- 七、第十一号舍用
- 八、第十二号舍用
- 九、第十三号舍用
- 甲、第十三、第十四、第十五、第十六号小動物舍
- 家、禽、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百



# 動物舍第貳回陳列

畜、牛、豚、山、羊、犬、貓、種

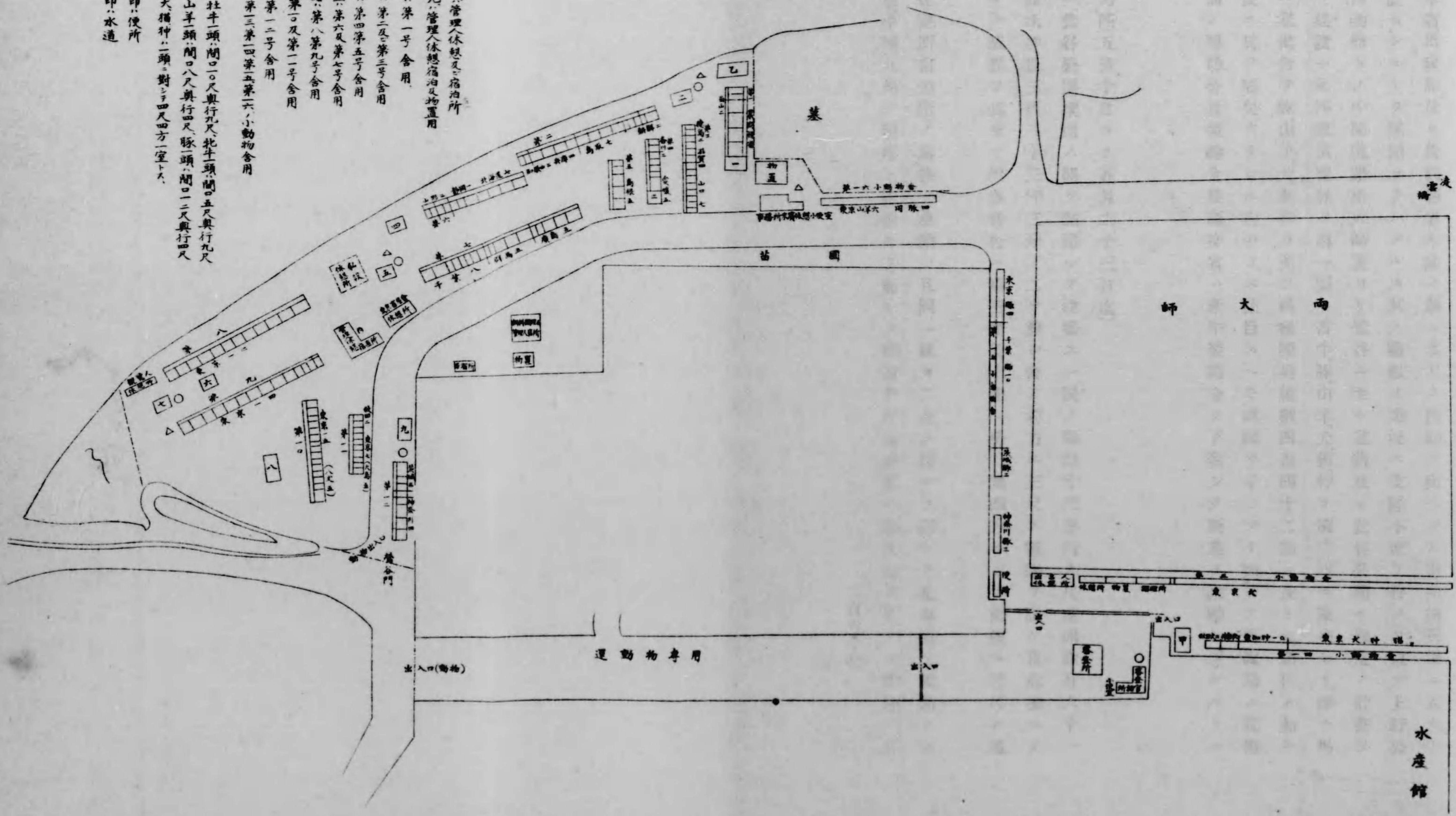
甲、乙丙管理人員休息及宿務所  
 一、乃至九管理人員總宿務及物置用

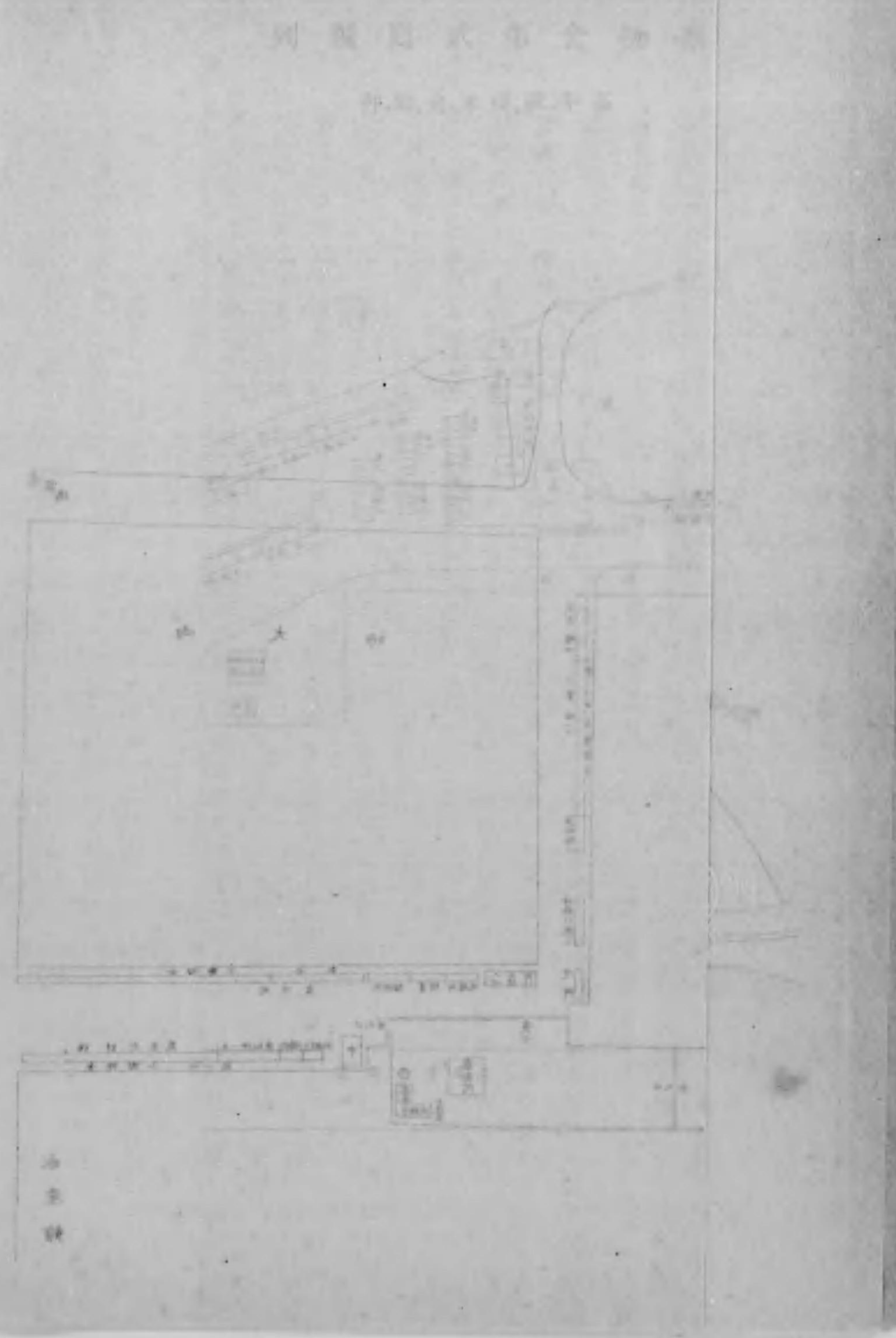
一、第一号舍用  
 二、第二及第三号舍用  
 三、第四第五号舍用  
 四、第六及第七号舍用  
 五、第八第九号舍用  
 六、第十及第十一号舍用  
 七、第十二号舍用  
 八、第十三及第十四号舍用  
 九、第十五号舍用

甲、第三、第四、第五、第六、小動物舍用

柱牛一頭間〇〇尺與行九尺、牝牛頭間〇五尺與行九尺  
 山羊一頭間〇八尺與行四尺、豚一頭間〇二尺與行四尺  
 犬種一頭二對、對三四尺四方一室下

△印、便所  
 ○印、水道





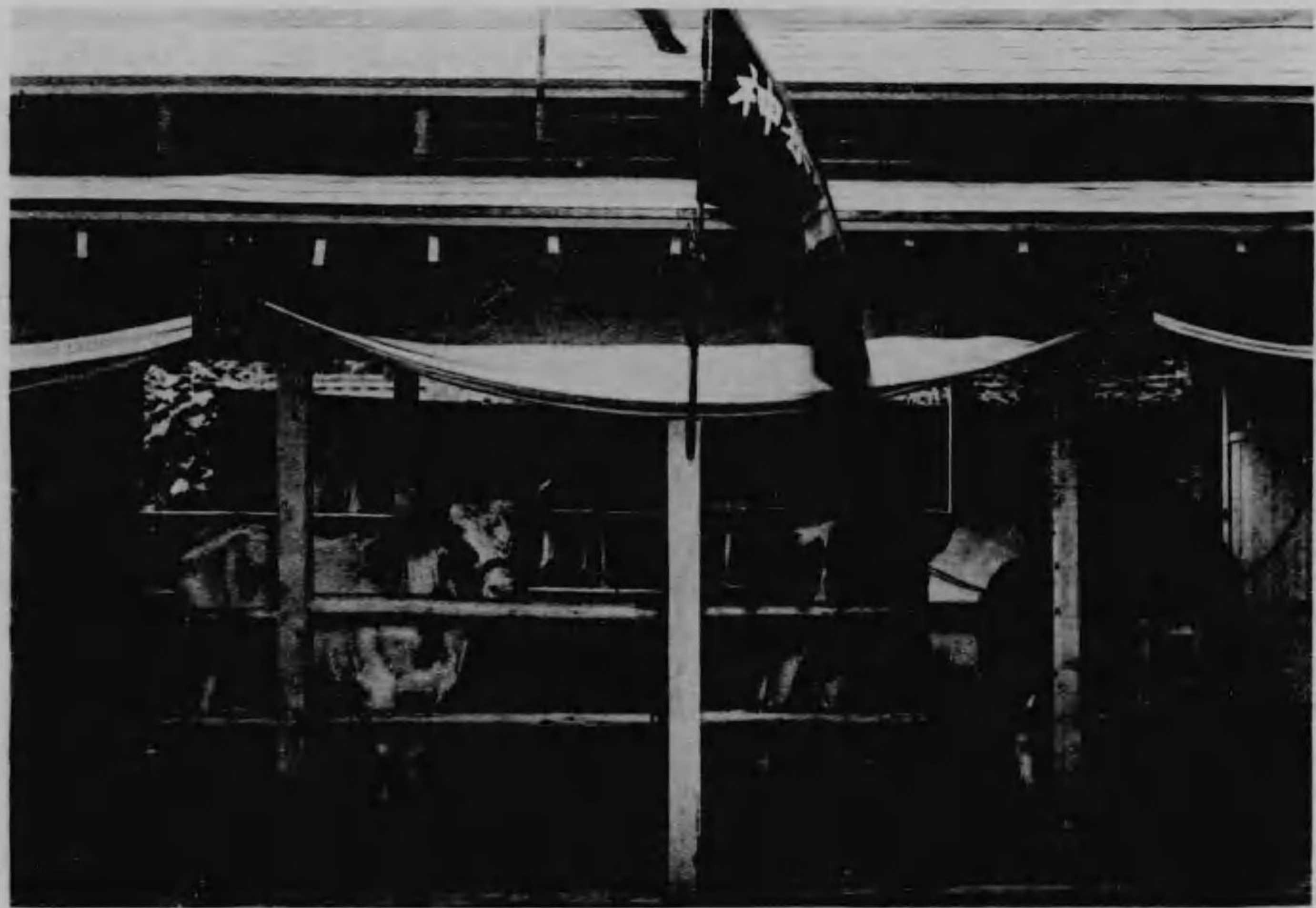
當初本會カ馬匹産牛ノ改良獎勵ニ資スヘキ計畫ヲ以テ之カ出品規則ヲ制定シ出品勸誘ヲ開始スルヤ陸軍省、馬政局及ヒ農商務省ハ此ノ舉ニ多大ノ援助ヲ與ヘラレ青山練兵場ニ宏大ナル會場ヲ建設センコトヲ德憑セラレタルカ其ノ諸般ノ業況ニ支障不便ヲ伴フヲ以テ上野公園兩大師ト博物館トノ中間道路兩大師裏ヨリ鶯谷ニ至ル道路及ヒ鶯谷公園ニ豫定ノ計畫ヲ縮少シテ舍ヲ建設シ馬匹家畜蜜蜂ヲ第一回ニ畜牛、豚、山羊、犬、猫、狎ヲ第二回ニ陳列セリ即チ馬匹舍ヲ畜牛ニ家畜舍ヲ豚、山羊、犬、猫、狎ニ充テ前後陳列總數四百四十二點ニ及ヒ犬、猫、狎ノ如キハ此ノ種施設ニ於テ嚙矢タリシニ拘ハラヌ注目スヘキ成績ヲ示シタリ而シテ馬政局ハ設備費中へ八千圓ノ補助金及獎勵金農商務省ハ産牛獎勵金ヲ下附シテ斯業ヲ激勵セラレルトコロアリキ

大動物舍

一 第一回馬匹(五月十日ヨリ五月二十三日迄)

單列棟數十一、鶯谷公園櫻樹ノ間ヲ點綴シテ建築ス一房ノ間口十尺奥行九尺延間數百六十一間四尺幅二間此坪數三百三十三坪三分ノ二ヲ算シ舍ノ前方ニ三尺ノ道路ヲ設ケ且前後ヨリ觀覽セシムルノ裝置ヲ爲セリ但參考舍ハ幅三間長十間一房二間四方ニシテ前後ニ三尺ノ通路ヲ設ク

陳列ハ物置休憩所宿泊所ノ廣狹ヲ參酌シ且同一縣カ二舍ニ跨ルヲ避ケテ北海道ヲ起點トシ奥羽、北陸、關東、中國、九州ノ順序ニ配置セリ而シテ靜寂ナル青葉影ニ駿馬高ク嘶クノ情趣ハ又



喧噪ナル博覽會場裡ニ別天地ノ感アラシメシナリ

二 第二回畜牛(五月三十日ヨリ六月十二日迄)

畜牛ハ牝牡ニヨリテ陳列廣狹ヲ定メタリ、即チ牡牛ハ一馬房ニ一頭ヲ而シテ牝牛ハ一馬房ヲ  
門ニテ二分シ間口五尺奥行九尺ニ一頭ヲ充テ其ノ陳列順ハ東京府ヲ中心トシ乳用役肉用ノ  
用途ニ別チ馬匹ト同シク一縣ニ互ルヲ避ケテ比較觀覽ノ便ヲ圖リタリ

小動物舍

第一回家禽(五月十日ヨリ五月二十三日迄)

敷地ノ關係上七棟ニ分チテ建テ高サ三尺ニ床板ヲ張リ室ノ三面ハ板張リ、前面ニ金網戸ヲ設  
ケ觀覽竝ニ家禽ノ出入及飼料差入口トシ家禽一番ヲ四尺四方一室ニ充テタリ又舍ノ前方ニ  
三尺ノ通路ヲ設ケ管理飼養人ノ通路トス

陳列順ハ馬匹及ヒ畜牛同様ノ注意ヲ拂ヒ且其府縣毎ニ種類別順トセリ只尾長鶏ノミハ床ヲ  
設ケス高サ九尺ノ金網戸ヲ以テ觀覽ニ支障無キヲ期シタリ

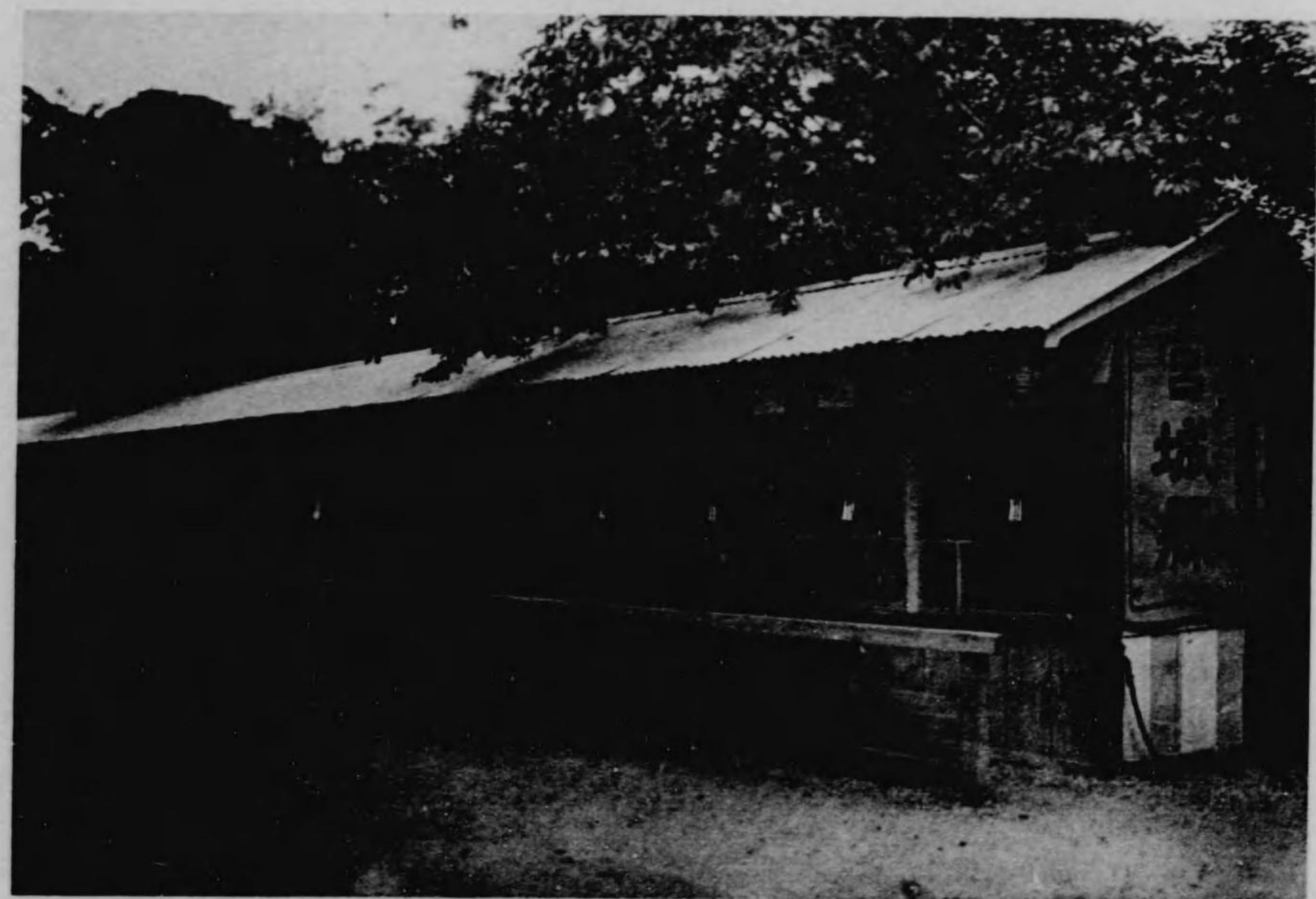
第一回蜜蜂(五月七日ヨリ五月廿三日迄)

高サ三尺幅三尺ノ棚十五間ヲ設備シ棚脚ニハ水溜装置ヲナシテ蟻ノ浸入ヲ防キ出品ヲ棚上  
ニ陳列セリ

第二回山羊(五月三十日ヨリ六月十二日迄)

家禽室二箇ヲ一室ニ改造シ之ニ山羊一頭宛ヲ陳列セリ、床ノ高サ其ノ他ノ設備ハ家禽ノ儘變

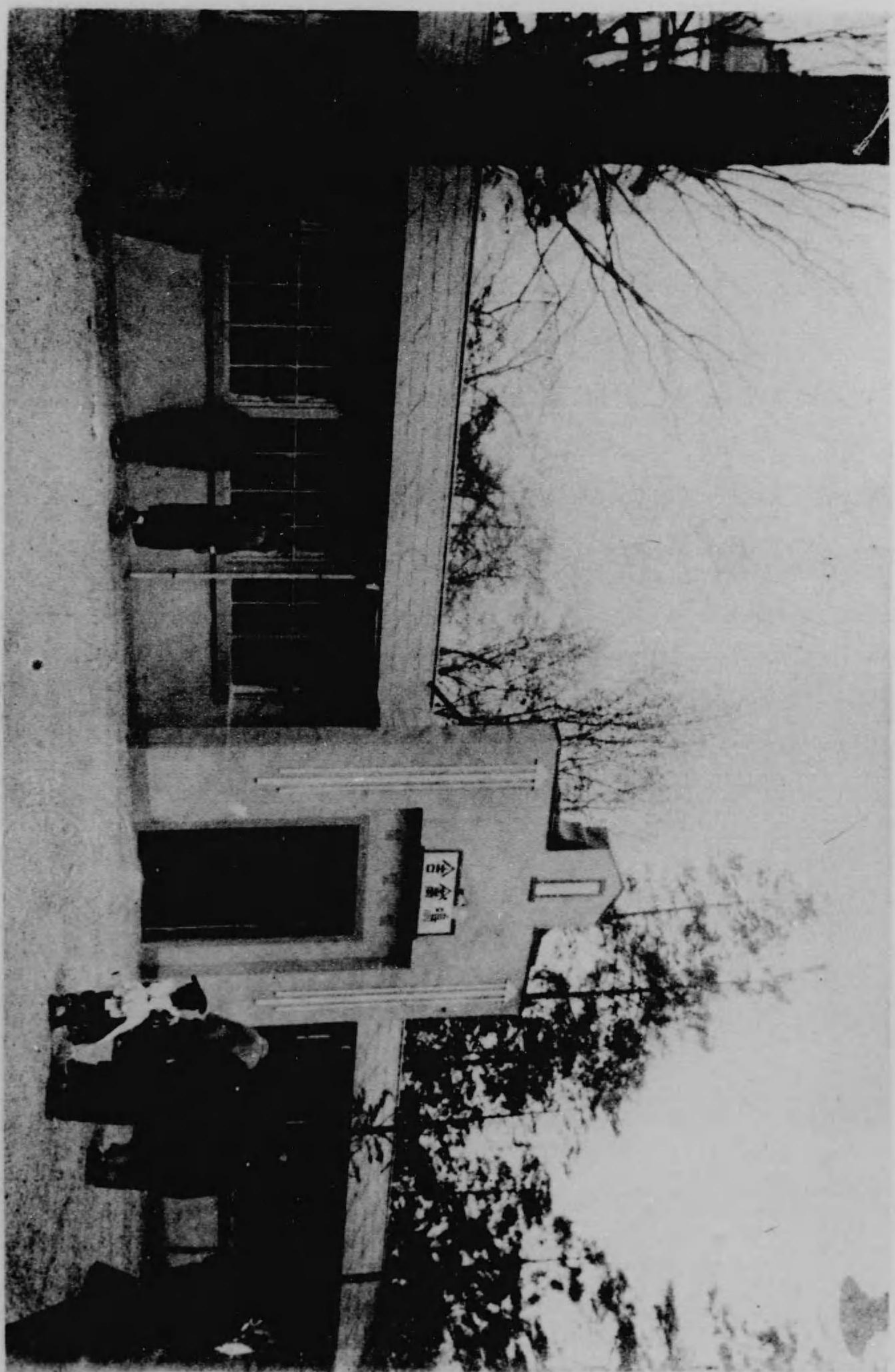




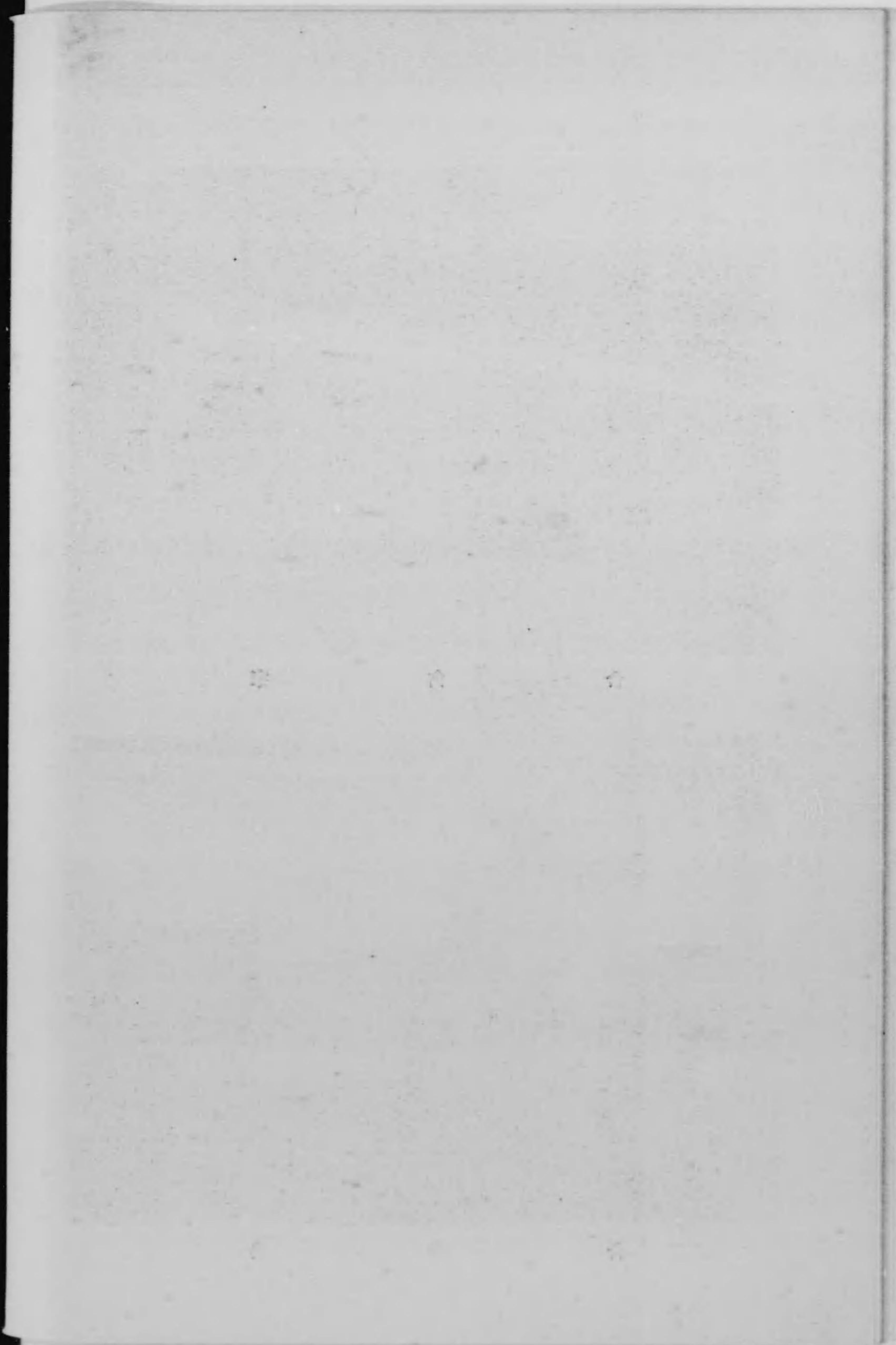
舍 禽 家



舍 雞 鳴



鳴禽舎



更セス

第二回豚(五月三十日ヨリ六月十二日迄)

家禽三室ヲ連續ノ一房トシ金網及ヒ高サ二尺ノ床ヲ取除キタル外六十分ノ一勾配ヲ付セル厚板ヲ地上ニ張リ間口二間奥行四尺ニ一頭ヲ陳列セリ而シテ奥行四尺ハ狭キニ失スルヲ以テ特ニ長サニ於テ餘裕ヲ置キ運動ノ便ニ供シタリ

第二回犬、猫、狎(自五月三十日至六月十二日)

家禽一室ニ一頭宛トシ氣溫調節ノ爲メ後方ニ換氣穴ヲ穿テ猫、狎陳列ニ際シテハ前面ノ金網ヲ除キ硝子戸ニ代ヘテ一定ノ室溫ヲ保タシムル装置ヲ爲シタリ

鳴禽舎(自四月十日至四月二十七日)

博物館前ニ建設ス種々ノ鳴禽觀覽者ヲ喜ハシメタルコト尠ナカラス就中九冠鳥最モ人氣アリキ

鳴禽舎(七月一日ヨリ七月三十一日迄)

美術館ト東京市陳列館トノ中間ニ丸太柱、葺屋根ヲ以テ建設シ陳列場ニハ秋ノ七草ヲ移殖シ夜間ハ叢中ニ電氣螢ヲ點シタリ此ノ風致アル當舎ニハ月明ノ夜ハ云ハスモカナ、唧々タル蟲聲ニ杖ヲ曳クモノ尠ナカラサリシ

搬入及搬出

搬出入ニ當リ危險ヲ慮リ鐵道院ニ交渉其ノ許可ヲ得テ牛馬ノ積卸ハ三河嶋及田端兩驛ニ於

鳴禽ハ四月一日二日ノ二日間ニ搬入シ二十日間ヲ一期トシ其ノ期限毎ニ全部陳列ノ交代ヲ  
爲スコト五回ニ及ヘリ

但審査ハ第一回ノミ之ヲ行ヘリ

鳴禽ハ審査終了後即賣ヲ許可シ斃死又ハ即賣ノ爲メ減少ノ都度同一種ノモノヲ補充陳列セ  
シメタリ

今搬入陳列セル總數ヲ示スコト左ノ如シ

農商務省	馬	四	馬	四	豚	山羊	家禽	蜜蜂	犬	猫	狢	鳴禽
馬政局	五	五										
朝鮮	二											
北海道	七											
東京	四	七										五六一
神奈川	四	三	八									
兵庫	四											
長崎	三											
群馬	五											

茨城	三	五	八											
栃木	四													
愛知	一						二〇							
静岡	一													
滋賀	四													
長野	五						一五							
宮城	五													
福島	八													
巖手	〇													
青森	〇													
山形	三													
富山	二													
秋田	八													
鳥取	七													
島根	七													
広島	五													
山口	七													

和歌山	香川	愛媛	徳島	高知	宮崎	鹿兒島	計
二	二	五	二	一	六	四	九五
二	二	五	二	一	六	四	二二五
一	一	一	一	一	一	一	二二三
三	一	一	一	一	一	一	六
一	一	一	一	一	一	一	二二〇〇
一	一	一	一	一	一	一	一一
一	一	一	一	一	一	一	九〇
一	一	一	一	一	一	一	五
一	一	一	一	一	一	一	一一
一	一	一	一	一	一	一	四四二

一、農商務省及馬政局ヨリノ出品ハ參考舎ニ陳列ス  
 二、出品取消ニ對シテハ何レモ補充方法ヲ講セシカ搬入當時ニ至リテ出品取消ノ馬匹一頭畜牛七頭家禽十三番犬二十五ハ遂ニ補充スルヲ得サリキ

飼料

一、飼料ハ左ノ標準ニ依リ各府縣毎ニ大體三日間分ヲ一回トシ左ノ雛形ニ從ヒ領收證ヲ差出サシメ之ト交換ニ交附セリ

- 一 燕麥 何斗何升也
- 一 藪 何斗何升也
- 一 牧草 何拾貫也

領收證

一藪 何拾貫也  
 一燕麥 何斗何升也  
 一藪 何斗何升也  
 一牧草 何拾貫也

右ハ何々何頭分自何月何日至何月何日何日分正ニ領收候也

年 月 日

何縣事務員(又ハ出品人總代)

氏 名 〇

東京大正博覽會動物舎事務所宛

馬 匹	家 禽	畜 牛
品名	品名	品名
數量	數量	數量
燕麥 六升	麥 一合	引割大麥 三升
藪 三升五合	割粉 一合五勺	藪 五升五合
牧草 二貫	小麥 二合五勺	麥 一升
藪 二貫	青菜 二十匁	藪 一貫目
食鹽 六勺	貝殼 若干	牧草 二貫目
	魚 若干	食鹽 六勺
引割大麥 一升	燕麥 六合	白米 三合
	山 羊	犬 貓 种

麩	二升	麩	一升	肉	四十匁
麥	二升	麥	一升	野	二十匁
馬齡薯	一貫目	牧草	一貫目	鹽分味噌	若干
藥	一貫目	藥	五百目		
食鹽	三勺	食鹽	三勺		

一、給與飼料ハ右表ノ如シト雖モ各地ヨリ集合ノ動物ニ對シ共通飼料ヲ供給シ難キ場合アリシヲ以テ是等ハ其ノ給與飼料ト同一價格ニシテ嗜好スルモノト任意交換セシメタリ

二、犬猫狎ノ飼料ハ悉ク之ヲ煮沸シ體格嗜好健康狀態等ヲ斟酌シテ給與シ又屢々飼料ト交換ニ牛乳ヲ給セリ

三、鳴禽鳴蟲ハ其ノ種類ト簡體トニヨリ更ニ調理給與セリ

飼料種類左ノ如シ

稗 粟 黍 麻之實 荏麻 粉 菜種 鮫魚 砂糖 米粉 豆粉 干雜魚 葫瓜 茄子

衛生ニ關スル事項

- 一、獸醫二名ヲ囑託シ午前八時及午後四時ヨリノ二回ニ各畜舎ニ於テ各簡體毎ニ診察セシメ其ノ他ニ在リテハ出品人總代ノ請求ニヨリ診察セシメタリ
- 二、畜舎ニハ各棟ニ最高最低ノ寒暖計ヲ懸ケ含温ノ調節ニ勉メタリ
- 三、運動ハ午前八時迄及ヒ午後四時後ニ於テ行ハシメタリ、場ハ會場内道路ノミニテハ狹隘

ナルニヨリ場外ナル博物館裏及横ノ道路ヲ之ニ充テ又敷地内運動場約一千坪ノ通路ハ凹凸ヲ正シ石塊ヲ除キ細砂ヲ布キ運動上危害無カラシムコトヲ期シタリ

四、傳染病發生ノ場合ヲ慮リ豫メ南千住町字三輪ナル日本常設家畜市場ノ隔離所ヲ之ニ充テタリシカ幸ニシテ使用スルニ至ラサリシ

五、臥糞ハ毎朝五時迄ニ一定ノ場所ニ運ヒテ推擠シ糞尿及汚物ハ終始取纏メ置カシメ毎朝場外ニ搬出セシメテ清潔ノ保持ニ努メタリ

六、場内七箇所ニ水道ヲ引キ給水畜舎及動物其ノ他ノ洗滌用ニ供シタリ

七、陳列中分娩シタルモノ畜牛三頭畜犬一頭ニシテ産積及産後ノ成績佳良ナリキ

八、搬入前ヨリ疾患ノモノモアリタルカ陳列中發生セル疾病合計數ハ左表ノ如シ而シテ是等中ノ全癒セスシテ搬出ニ至リシモノハ馬匹二、畜牛四、家畜三、犬二ニシテ陳列中斃死シタルモノハ僅ニ結核病ノ家畜一羽、哺乳中ノ仔犬一ニシテ此種ノ共進會品評會ニ比シ衛生狀態ハ實ニ前例ヲ見サリシ好成績ナリトス

病名	馬	四	畜牛	四	家畜	三	犬	二	猫	一	狎	一
鼻加答兒	一											
喉頭加答兒	六											
氣管支加答兒												
氣管支炎												
喉支炎												

胃加答兒	胃加答兒	食滯	胃腸加答兒	腸加答兒	十二指腸蟲症	晚隨停滯	腦膜炎	血斑病	ルIブ症	疥癬	毒疹	白疹	濕疹	結膜炎	勞創	蹄冠炎	蹄球炎	繫帶	
二	一	三	四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

刺創	挫傷	踏創	飛節軟腫	肩跛行	腰刺傷	擦傷	咬傷	耳下腺炎	蹴傷	蹄間腐爛	計
一	五	一	一	一	一	三	一	一	一	一	二四
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三四
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三七
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

管理人  
動物飼養ニ經驗アル者ヲ採用シ主トシテ管理飼養ノ補佐飼料ノ分配臥糞汚物ノ運搬場内ノ  
整頓ヲ爲サシメタリ  
管理人數左ノ如シ

馬 匹 十一人 畜牛 十人 豚、山羊 二人 家禽 三人  
犬、猫、狎 四人 鳴禽 二人 鳴蟲 一人

此ノ他各道府縣ノ管理人ハ第一回及第二回ノ陳列間ヲ通シテ二百五十名ヲ算シ其ノ大半ハ畜舎附屬ノ宿泊所ニ宿泊セシメタリ

動物舎ニハ看守ヲ置カサリシモ府專屬事務員及ヒ囑託員ヲ宿直セシメ舎全般ノ監督ヲナサシメタルヲ以テ何等記載スヘキ事項アラサリシ

動物舎建設補助金及産牛馬獎勵金  
動物舎ノ建設費ハ其ノ豫算ニ支障ヲ來シタルヲ以テ馬政局ニ申請シ金八千圓ノ補助費ノ交附ヲ受ケ又從來博覽會出品ニ對シ獎勵金下附ノ規程無カリシカ其ノ畜産改良發達上ノ効果顯著ナルモノアルヲ以テ特ニ其ノ筋ニ申請シ馬匹ニ於テハ名譽大賞牌五百圓金牌參百圓銀牌貳百圓銅牌百圓宛ノ獎勵金下附ノ許可ヲ得是等ハ五月二十日馬匹假褒賞授與式ニ於テ又畜牛ニ對シテハ農商務省ヨリ名譽大賞牌參百圓金牌貳百圓銀牌百圓銅牌六拾圓宛ヲ七月十日褒賞授與式ニ於テ夫々授與セラレ尙農商務省馬政局ハ左記出品ヲ買上ケラレタリ

農商務省買上畜牛

鳥取縣	六頭
兵庫縣	一頭
島根縣	一頭
北海道	三頭

廣嶋縣	二頭
群馬縣	一頭
富山縣	一頭
朝鮮	二頭
馬政局買上馬匹	
北海道	四頭

館外特設館

博覽會規則第十九條ニ於テ自費建築希望者ハ大正二年八月二十一日迄ニ出品部類品名及建坪ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘキ規程ナリシカ同期日迄ニ之ヲ差出シタルモノ二三ニシテ多クハ十月ヨリ十二月ニ互リタリ是レ多クハ館内出品ノ希望ナリシモ其申込數頗ル多ク漸次坪數ヲ減スルニ至リ充分ナル陳列裝飾ヲナス能ハサルノ狀況ヲ呈セルニヨリ特設館建設申込數次第ニ加ハリシニ外ナラス而モ到底之ヲ容ルル能ハサルノ盛況ナリシヲ以テ十二月末日限り申込ヲ受理セサルコトトナセリ十二月下旬ヲ以テ各館共出品者ノ割當間數ヲ發表シタル後益々申込ノ數ヲ増シタレトモ是等ハ地積ノ關係上皆拒絕ノ止ムナキニ至レリ

出願書類ノ取扱  
出願臺帳ニ記入シ特設物建築工事心得私設建築物ニ關スル内規ヲ示シ右規則ニ基キ配置圖平面圖正面及側面圖斷面及詳細圖其ノ他ヲ徵シ工事課長工事顧問ニ協議シ建設物ノ大小設



計其ノ他ヲ参照シ漸次建築場所ノ選定ヲナシ會場全部ノ配合ニ注意シ實地ニ當リテ場所ヲ定メ標杭ヲ以テ位置ヲ標示シ其ノ後場内圖面ニ其ノ位置ヲ標示シ帝室博物館員立會樹木其ノ他ノ移植移動ノ打合セヲナシ館長ノ承認書ノ到著ヲ待チ始メテ出願人ニ許可指令ヲ發シ出願人立會其ノ現場ヲ引渡スノ取扱ナリ故ニ設計上ノ變更位置ノ轉換協議打合セヲ要スルヲ以テ愈々決定指令ヲ發シタルハ大正三年一月十日前後ニシテ工事著手ハ一月中旬ニシテ大建築ノ如キ開期ニ近ツキ晝夜兼行漸クニシテ工事ヲ進メ又二三ノモノハ外部ノ構造ノミニテ内部ノ陳列裝飾完備迄ニ旬日ノ遅引ヲ見ルニ至レルハ遺憾トスル所ナリ

一規則ニ關スル卑見

特設館ハ全部敷地料其ノ他ヲ免除セラルル特別ノ取扱ヲ受ケ且ツ帝室博物館ニ於テモ普通飲食店興行物ノ建設ニ先チ位置選定其ノ他ニ多大ノ便ヲ與ヘラレ短日ヨク當初ノ計畫ヲ實行シタルモ閉會後其ノ取片付方ニ頗ル遅延ヲ來シ再度博物館ノ嚴重ナル督促ニ會ヒ尙且ツ終了セサルノ惡結果ヲ得タリ今後斯種ノ規則ハ宜シク坪數ニ應シ保證金ヲ前納セシメ閉會後何日間ニ取片付ヲ了セサル場合ハ該保證金ニヨリ事務局之ヲ處分スルノ規定ヲ設ケンコトヲ要ス

館外陳列品

館外陳列品ハ上野公園ノ美ヲ害セサル様出品種類ニ依リ或ハ公園樹木ノ間或ハ特ニ庭園的裝飾ヲ成サシメ噴水器ノ如キハ從來ノ噴水ニ利用シ石燈籠ノ如キ又自然公園的ノ感アラシ

メ事務局設備ノ花壇等ヲ利用スルニ努メタルヲ以テ部類別其ノ他ニ關セス適當ニ配置シタルモノナリ特設館及館外陳列表左ノ如シ

部類	種	類	坪數	建築費	設計者	出願者住所	氏名
一	寫真館	館	三〇〇	二、八五〇〇〇	咲晴榮一	日本橋區本町二ノ一六	淺沼商會
一	レンズ陳列館	館	一〇、〇	八〇〇、〇〇〇	前澤勝次郎	芝區三田豐岡町二	藤井光藏
一	蓄音器陳列館	館	二五、〇	三、〇〇〇、〇〇〇	小田末吉	荏原郡川崎町	日本蓄音器商會
二	法正會陳列館	館	一〇、五	二一〇、〇〇〇	—	神田區佐久間町一ノ一	七條 愷
二	表裝陳列館	館	一一、五	四、五〇〇、〇〇〇	星野工務所	同區連雀町一八	異畫會本部
二	文展優賞者展覽會	會	六〇、〇	二、三五〇、〇〇〇	同	同	同
三	輕便溫室	室	四、〇	—	—	本郷區駒込西片町一〇	飯田德三郎
三	溫室	室	二、〇	—	—	北豐島郡瀧ノ川村	西ヶ原農園
三	生花陳列場	場	二八、〇	一、七〇〇、〇〇〇	—	日本橋區本石町一ノ一三	友齋茂樹
三	盆景陳列場	場	四、〇	—	—	同區北島町一ノ三	坂 誠一
三	週轉稻扱機陳列館	館	一三、五	九四八、〇〇〇	北田九一	小石川區初音町四	外山順三
三	茶室並ニ造材陳列館	館	五〇、〇	一三、二六九、七七〇	小林正紹	深川區黑江町二六	西谷繁藏
四	田中式水道木管陳列場	場	八、〇	三五〇、〇〇〇	田中力太郎	本所區林町二ノ一八	大寶正鑿
四	車輛陳列場	場	一五、〇	二七七、五〇〇	太田信次郎	深川區久永町五	田中力太郎
四	木材陳列場	場	二、〇	—	—	村田權次郎	太田信次郎
						芝區西久保明舟町八	村田權次郎

四	木材陳列場	一五〇	七〇〇,〇〇〇	宮崎縣	宮崎縣
四	松島公園 模範陳列館	一六〇	二,〇〇〇,〇〇〇	會根中條工務所	宮崎縣
五	醬油陳列場	六〇	—	アメリカカ屋	岩崎重次郎
七	ロイヤル製井機 機	二四〇	—	麴町區有樂町一	日本石油株式會社
八	玻璃製造實演場	一五〇	二,一〇〇,〇〇〇	清水組	富山榮吉
八	瓦斯應用 玻璃製造實演場	—	—	日本橋區大傳馬鹽町 同區本町三ノ一五	森川惣助
八	レイト化粧品陳列館	三〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	渡邊福三	平尾賢平
八	御園化粧品陳列館	二二,七五	一,二〇〇,〇〇〇	村井三吾	三輪善兵衛
八	白煉瓦陳列館	九〇	一,九六〇,〇〇〇	會根中條工務所	品川白煉瓦株式會社
八	篠崎インキホール	五〇	四八〇,〇〇〇	橘節男	篠崎又兵衛
九	後藤毛織物陳列館	五一,七五	三,四〇〇,〇〇〇	岡田信一郎	後藤毛織會社
九	半襟陳列館	六,五	二,〇〇〇,〇〇〇	高橋清造	園田治郎吉
一〇	日本製鋼所陳列館	五〇,〇	二,五三〇,〇〇〇	石垣金次	日本製鋼所
一〇	金庫陳列館	一〇,〇	三〇〇,〇〇〇	横川工務所	合名社明石支店
一〇	紙製品陳列館	四〇	七〇〇,〇〇〇	横山正恭	加美研究所 横山正恭
一一	紙製品陳列館 アスファルト製品 陳列館	七,五	二,二〇〇,〇〇〇	酒井祐之助	穴原榮次郎
一一	茶座敷	一五,〇	一,一〇〇,〇〇〇	矢崎貞之	矢崎貞之
一一	茶室	五五,〇	—	吉田宗知	山岸慶吉

一一	庭光門	二〇	二二五,〇〇〇	平林美都	芝區愛宕町二ノ一〇 矢崎方	平林美都
一一	古式書院	六,五	二五,〇〇〇,〇〇〇	北見米造	日本橋區南茅場町五三	前田文之助
一一	茶室	七,七	一,三五〇,〇〇〇	木村清兵衛	下谷區中根岸七五	木村清兵衛
一一	常見商會 糯米機陳列場	五,五	五五〇,〇〇〇	北川竹次郎	淺草區諏訪町二〇	常見盛二
一一	糯米機陳列場	九,五	五〇〇,〇〇〇	清水廣吉	神田區五軒町三	清水商會
一一	冷藏庫	一五九,〇	二二,九四〇,〇〇〇	池田稔	麴町區有樂町一ノ一	高田商會
一一	水難救濟會陳列館	八〇,〇	三,七五五,〇〇〇	池田稔	深川區永代川岸二號地	水難救濟會
一一	蒸氣ポンプ陳列場	四〇	—	松尾工場	麻布區竹谷町二	松尾廣吉
一一	外國機械陳列場	六〇	—	—	—	—
一一	通俗衛生展覽會	四一五,〇	—	—	—	—
一一	小笠原島別館	二六,五	一,八〇〇,〇〇〇	真木工務所	神田區通新石町一六	二六新報社
一一	日華貿易參考館	一五〇,〇	一二,六〇四,〇〇〇	池田稔	—	久世延吉
一一	伊勢瀧模型陳列館	六〇	二七〇,〇〇〇	—	—	東京日華貿易會
一一	名古屋港模型陳列館	六〇	五〇〇,〇〇〇	—	—	三重縣
一一	體育館	三二五,四二	三〇,二二八,〇〇〇	—	—	愛知縣

館外陳列  
種類  
貨物掛衝機  
住所  
氏名  
守谷定吉

牛馬掛衝機  
 建築用材  
 木 材  
 同  
 ローターリ 鑿井機  
 陶器製 鶴庭置  
 同 臺付水鉢  
 同  
 同 花 瓶  
 同 同  
 同 蛙置物  
 陶製 水鉢  
 耐酸陶器排氣機  
 同 硝酸タンク及コック  
 耐酸耐熱 漂白大甕  
 植木鉢  
 神佛用 菊燈籠  
 春日 燈籠

神田區南乗物町

小石川區大塚上町二〇

下谷區龍泉寺町  
 京都市下京區大和路五  
 條下ノ南梅屋町一九二

本所區向島曳船通  
 日本橋區濱町三丁目  
 同 區通油町九

下谷區數寄屋町九

日本橋區大傳馬町二ノ一三

本郷區駒込林町四八  
 日本橋區小網町三ノ  
 二 同 區通油町二〇

神田區材木町一八

二百七十四

佐藤芳三郎  
 埼玉縣  
 長野縣  
 千葉縣  
 日本石油會社  
 大阪府  
 針ヶ谷作次郎  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 中島謙太郎  
 高山順太郎  
 同  
 滋賀縣  
 同  
 同

利休形燈籠  
 裝飾煉瓦  
 陶製獅子  
 鑄銅唐狗置物  
 同 虎置物  
 同 牡鹿庭置  
 同 牝鹿庭置  
 青銅大獅子置物  
 同 三羽鶴置物  
 同 水鉢  
 鑄銅製噴水器  
 大 釜  
 御即位記念鐘  
 青銅製牛  
 同 燈籠  
 鑄銅天燈鬼  
 同 五重塔  
 同 蓮形水鉢

同

鳥井庄右衛門

陶業株式會社

栗谷源六

同

内海徳次郎

同

今村甚藏

同

淺井定吉

山口孝太郎

山形縣

同

梅田仙吉

同

中野伊平

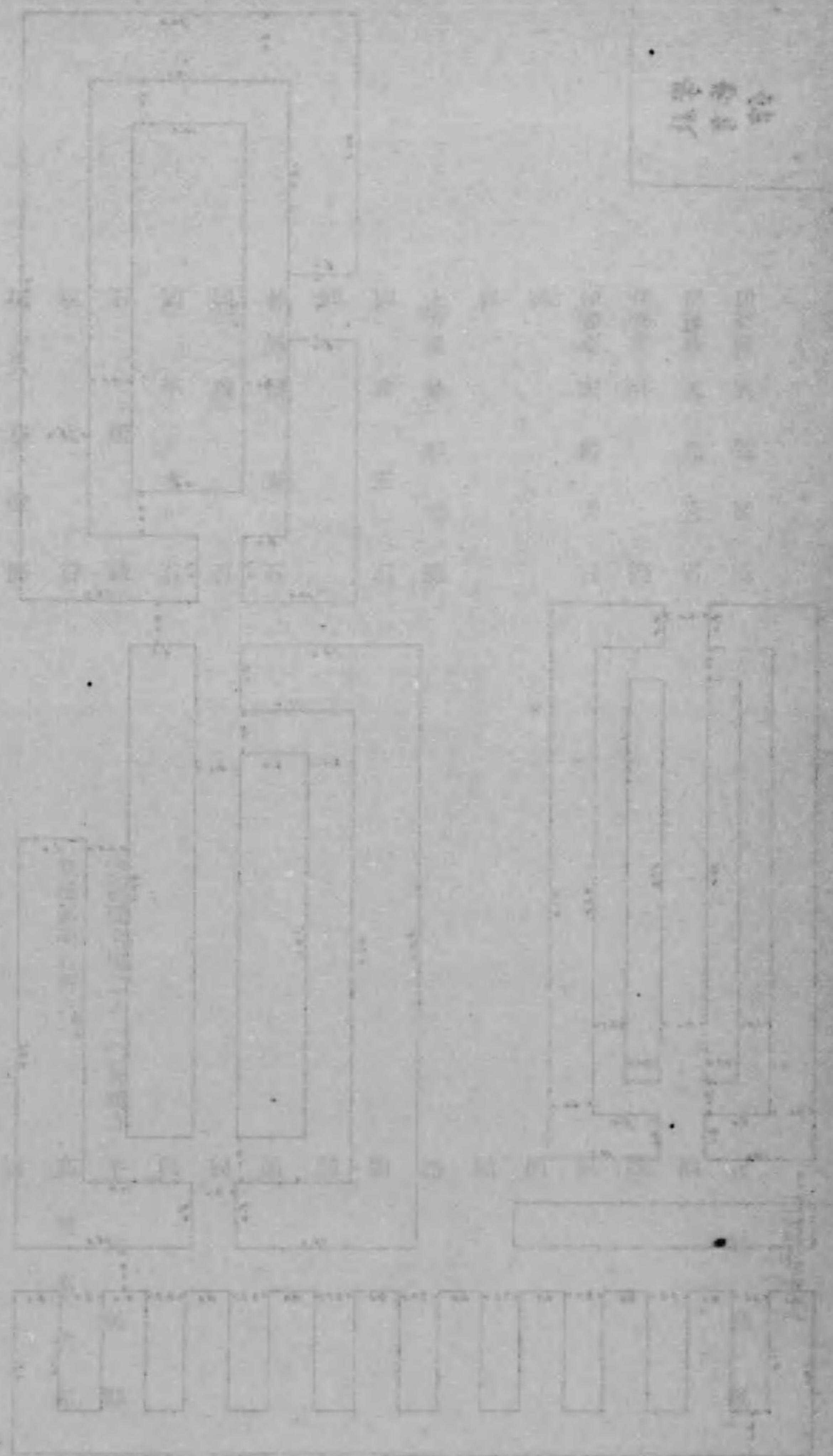
同

同

二百七十五







八等分

鐵	平	石	供	待	倉	庫	室	石	長	野	縣
輕	便	自	動	ボ	ー	ト			同		
和		洋	自	動	轉	風	車	錨	同		
自	動	轉	風	車	錨				廣	島	縣
同									同		
金									大	阪	府
電									東	京	堅
足	踏	巾	筒	球	網				東	京	堅
ニ	ト	ロ	オ	ス	ラ	ム	電	球	川	崎	工
ラ	ン	ブ	式	直	列	複	式	交	東	京	電
									北	電	氣
									川	北	電
									沖		

牛込區山吹町一四〇泉田方

大阪

朽木縣氏家町

芝區田町四ノ二

館外出品花壇ハ園藝裝飾ノ部分ニ於テ詳述シタルニ付茲ニ之ヲ略ス

農林業關係苗木陳列坪數

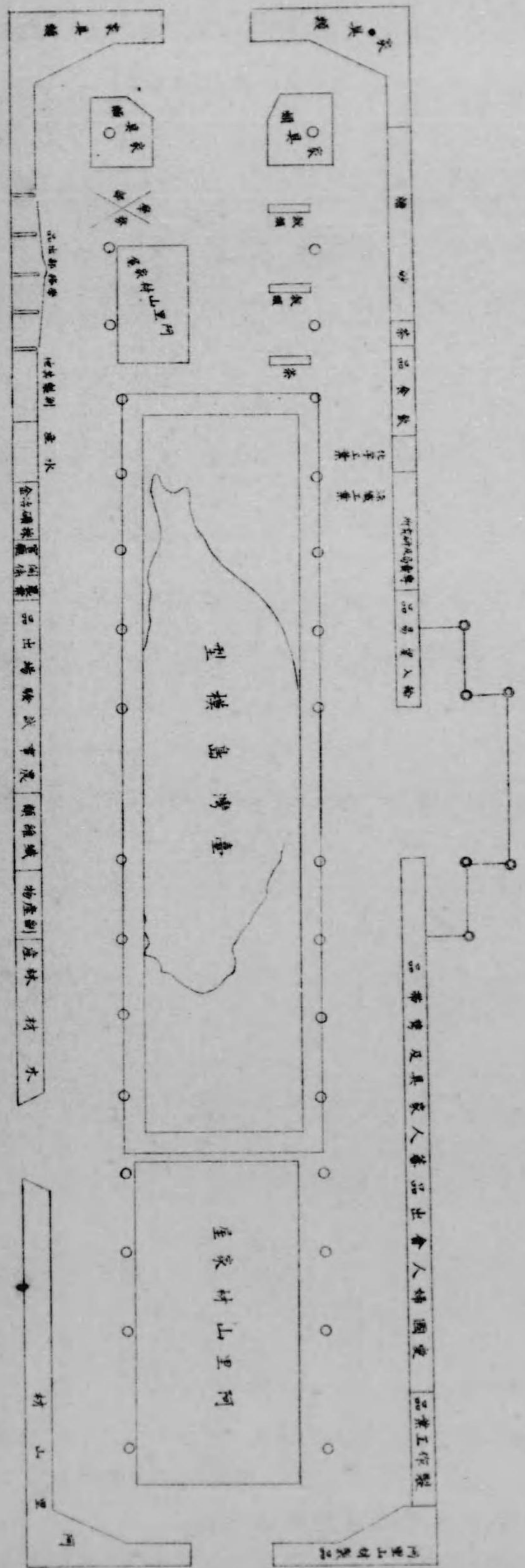
府

部

別

坪

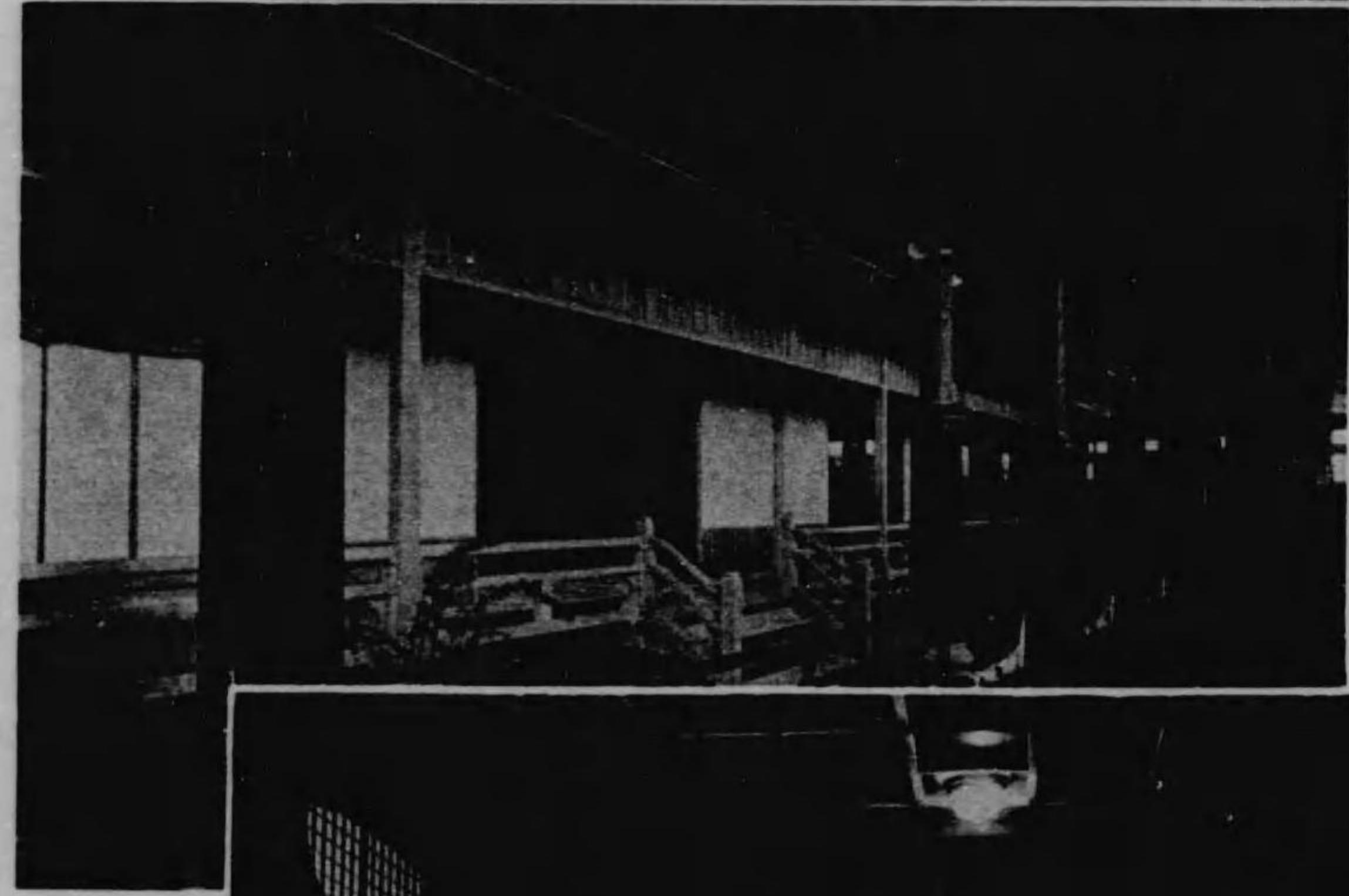
數



圖列陳館灣臺

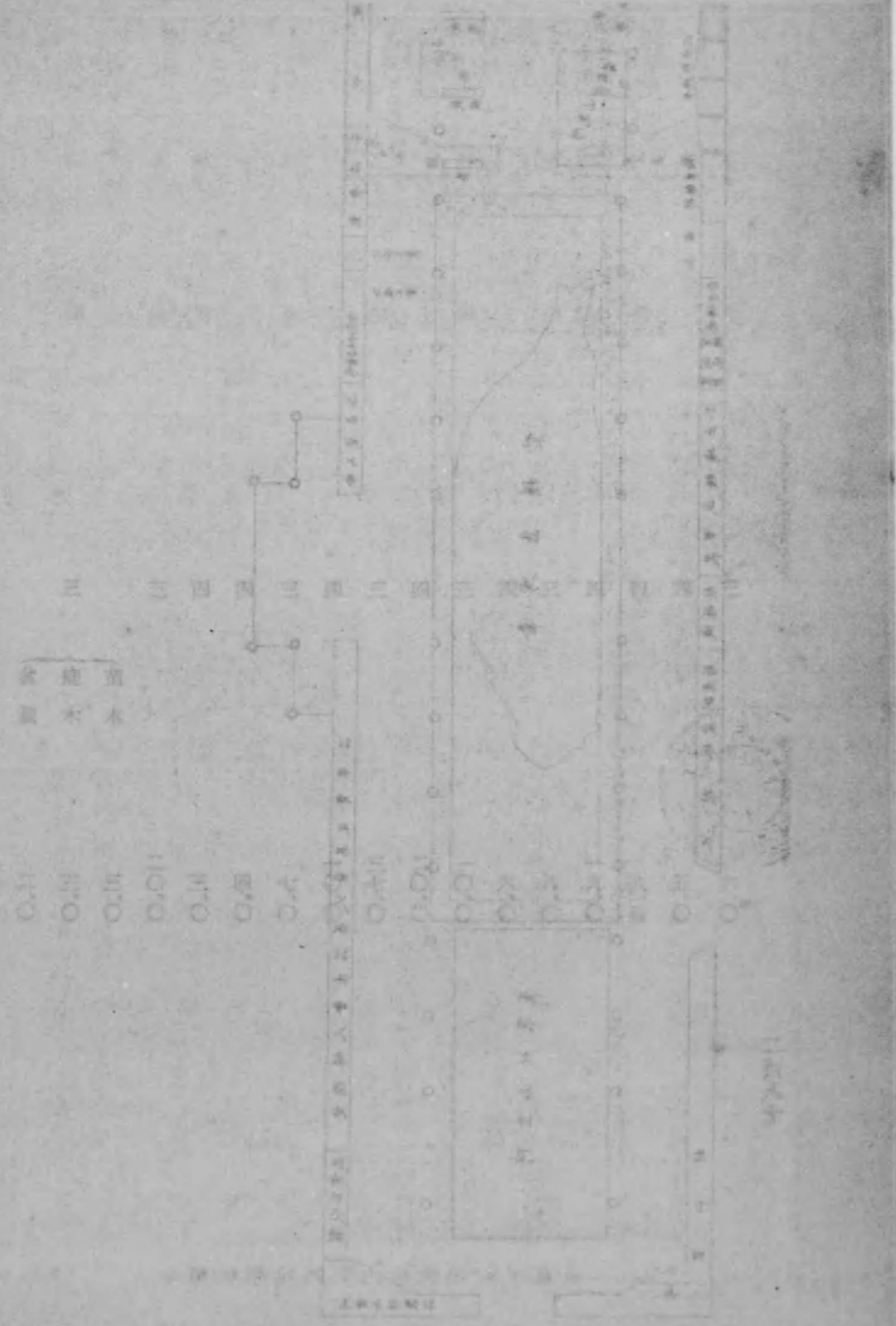
新	兵	秋	福	長	靜	愛	茨	千	崎
湯	庫	田	島	野	岡	知	城	葉	玉
三	三	四	四	三	四	三	四	三	四
三	三	四	四	三	四	三	四	三	四
二〇	三〇	三〇	二〇	三〇	四〇	七〇	一〇〇	三七〇	二〇〇
一〇〇	六〇	八〇	一九〇	八五	五〇	六〇	六〇	六〇	六〇
苗	庭	盆	木	木	栽	栽	栽	栽	栽

臺灣館內陳列狀況



臺灣模拉型阿里山材應家用屋家具

臺灣省城區圖





商工及統計ニ關スル出品トシテ市及其附近各村ノ人口増加力市歳入出市ニ於ケル死亡者ノ  
年齢ト死因等十七點ヲ示シ電氣ニ關スルモノトシテハ市及ヒ近郊ノ模型ト市營電氣事業教  
育ニ關スルモノハ生徒製作品及ヒ學校ノ模型市史參考品トシテ平安朝時代ノ繪巻物弘安頃  
ノ橋場東京奠都ノ起源文化ノ江戸圖救濟ニ關スルモノニハ施療院ノ模型職業紹介所事業成  
績等十數點其ノ他水道衛生地下埋設物道路橋梁築港河口下水改良ニ關スル模型統計ヲ網羅  
シテ一巡東京市ニ關スル概念ヲ得ヘク殊ニ東京市模型バノラマ式水源地位況等ハ最モ觀者  
ノ足ヲ留メシメキ尙統計類目錄ハ出品ノ部ニ之ヲ掲ケタリ

ナ 臺灣館

紅關燦然トシテ彩光碧綠ノ池水ニ照セル臺灣館内ニハ中央長方形ノ大池アリテ臺灣全島ノ  
大模型ヲ置ケリ欄ニ倚リテ一瞰スレハ全島ノ山川市街鐵道港灣一々指呼スヘシ而シテ池ノ  
四周壁面ニハ全島ノ生産品ヲ陳列セリ即チ雄大ナル阿里山材各種阿里山材ヲ以テ造ラレタ  
ル瀟洒タル客間書齋家具其ノ他砂糖樟腦茶米竹籐細工品ノ外礦物菌生絲織物土人ノ使用セ  
ル武器農具衣類等ニシテ臺灣ニ對スル智識ヲ與ヘシコト蓋シ尠少ナラサルモノアラン

ラ 朝鮮館

京城ノ大模型アリ朝鮮ノ風俗人形アリ朝鮮全道ノ大模型ハ山嶽ノ重疊海岸線ノ屈曲巧ミニ  
模シ出サレテ一目地理ノ概觀ヲ知り得ヘシ其ノ他李王家博物館及ヒ李王職美術品製作所ノ  
出品竝ニ朝鮮工業傳習所ノ生産品ヲ陳列セリ

拓殖館

關東州 二〇三高地ヲ背景トシ安奉鐵道回線模型、高粱酒模型、油房油式模型、小寺油房模型、撫順炭坑模型等ヲ一帯ニ展開シ、ソノ中ニ南滿鐵道ノ大模型ヲ置キテ沿線ノ現況並ニ生産物ヲ陳列シ

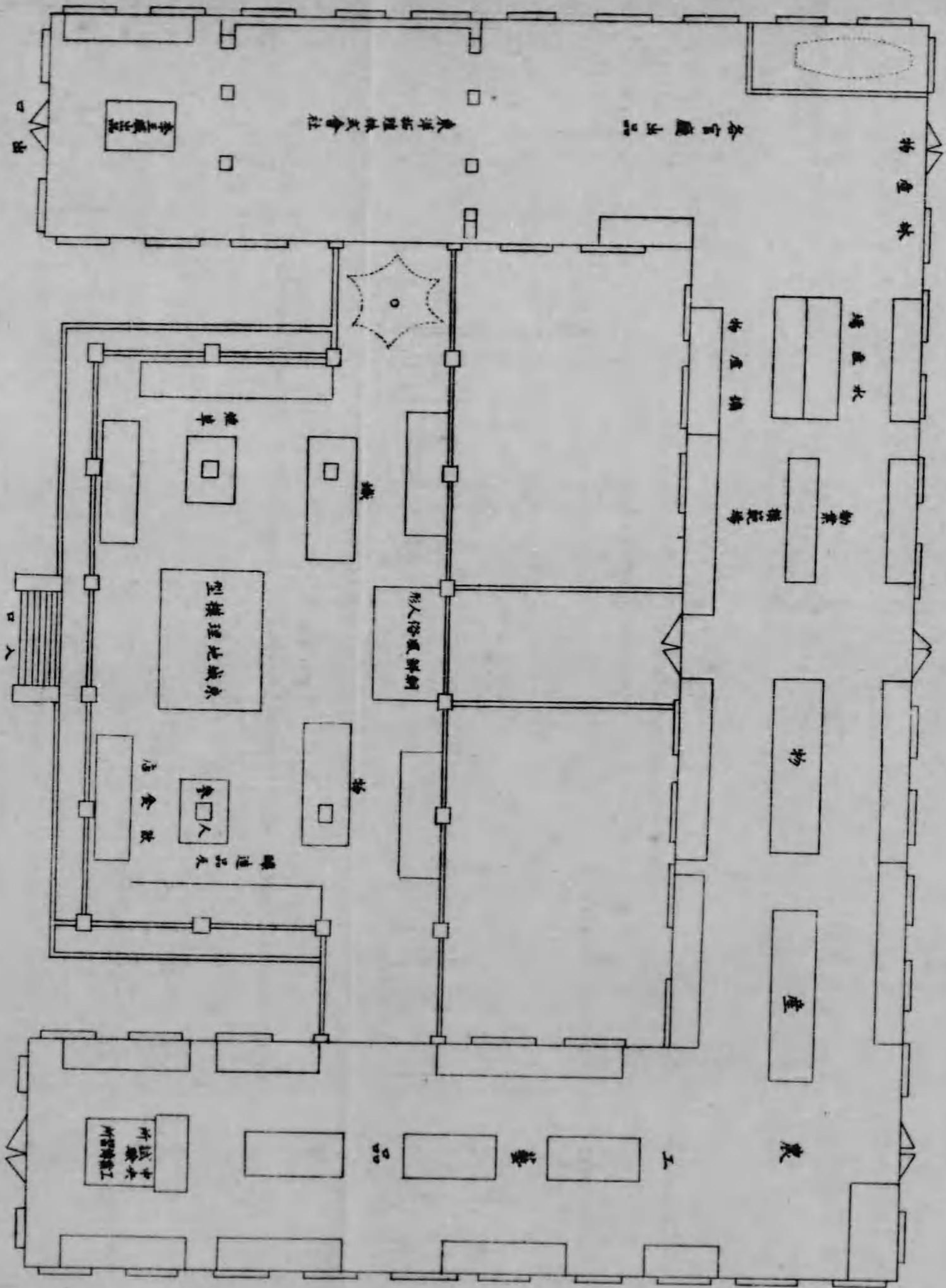
北海道 隣接北海道ハ華麗ナル金龍ノ彫刻大鳥居ヲ境界線トシテ明治五年以降ノ農業進歩ノ順序ヨリ同島産業ノ過去及ヒ現在ヲ系統的ニ説明紹介シ中ニ水産物、炭鑛酒精製麻等北海道ノ富源ハ模型又ハ實物ニヨリ展示セラル

樺太 各種ノ林産物並ニ其ノ他同島産物ヲ陳列シ三方ノ裡面ニハ真岡、豊原、大泊、敷香ノ遠景ヲ掲ケ樺太ノ概觀ヲ一幅ノ「パノラマ」ニ收ム

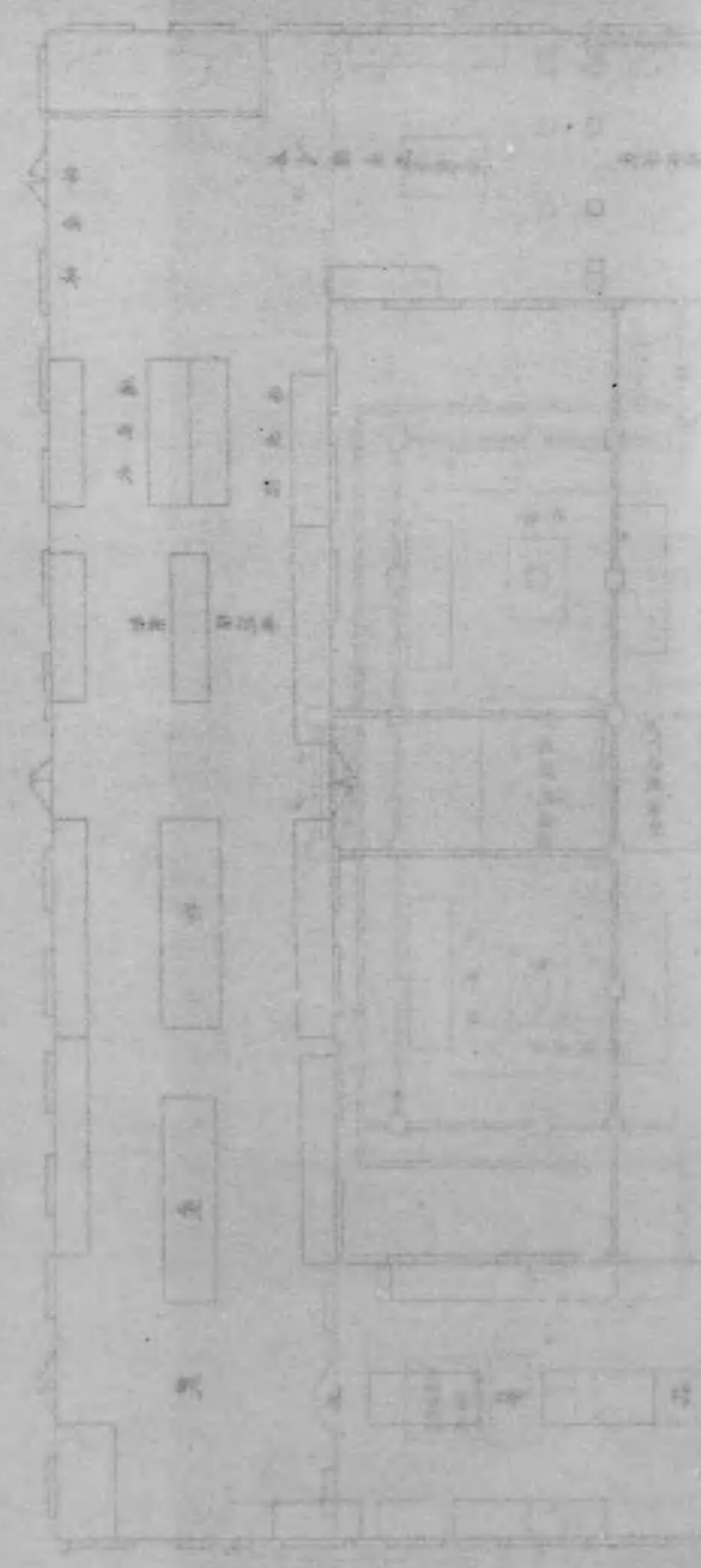
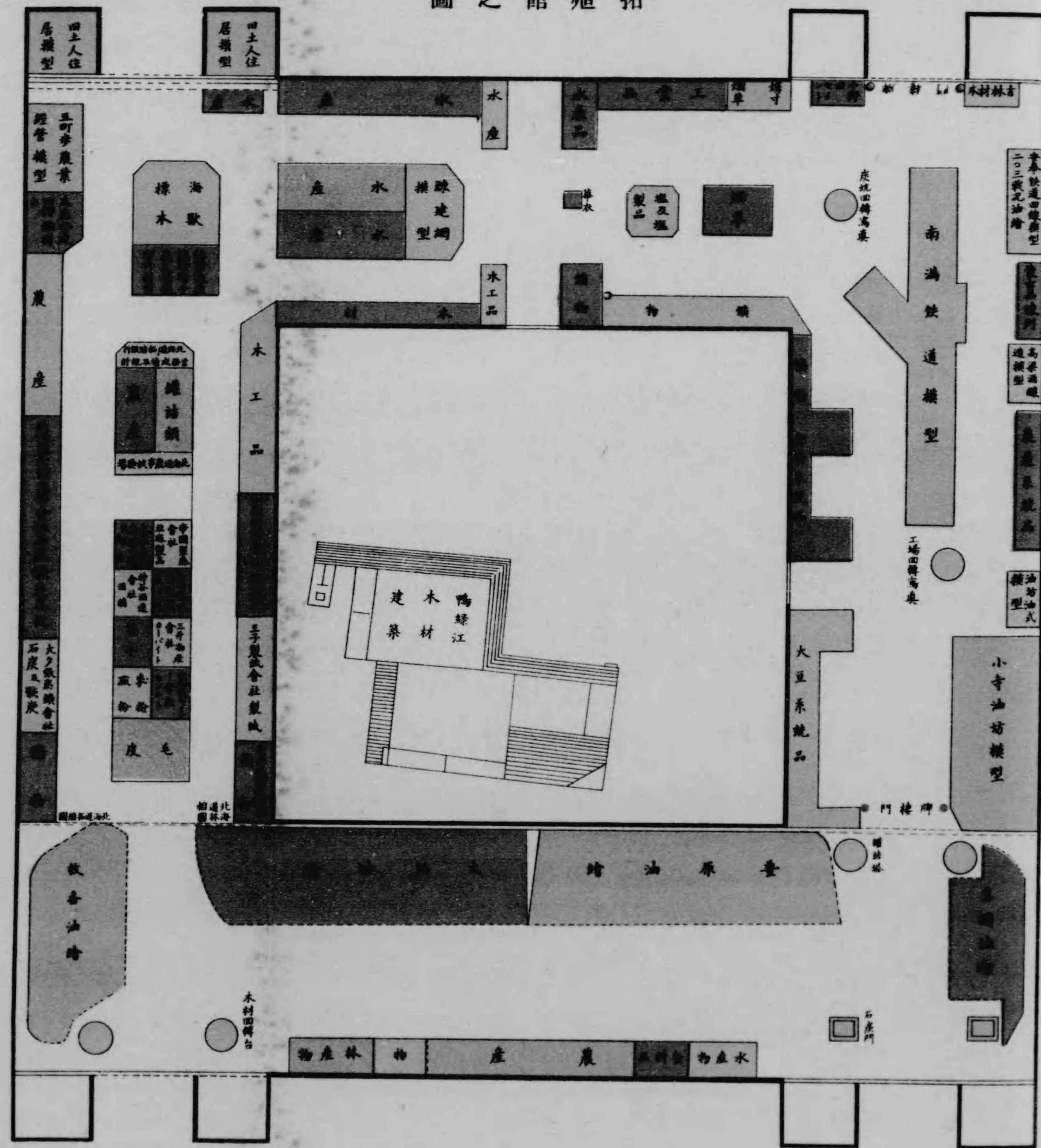
逓信省出品陳列館

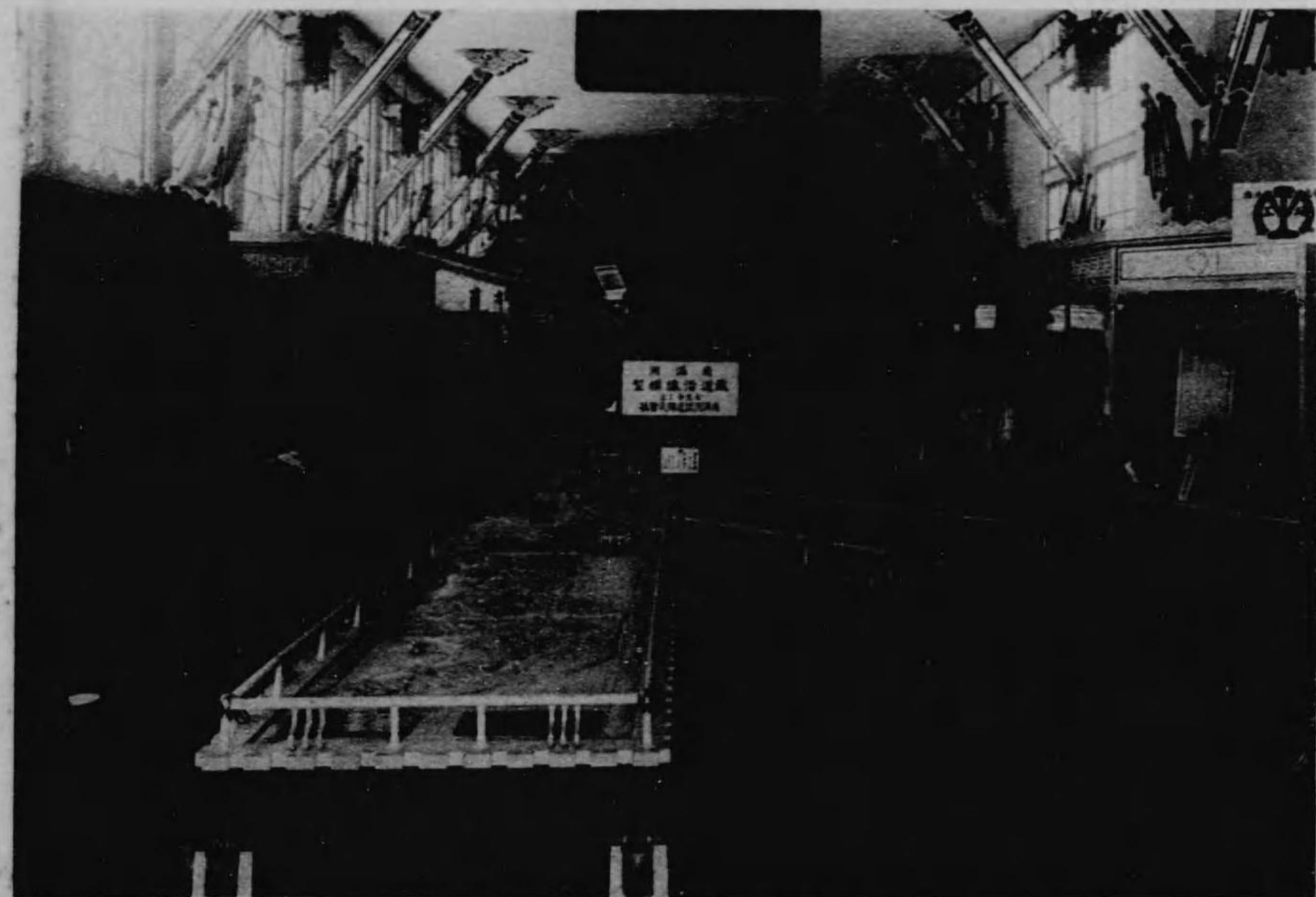
我國逓信事業ノ發達ヲ示セルモノニシテ嘉永七年「ベルリ」氏カ徳川將軍ヘ贈ラレシ米國式印字電信機或ハ明治三年東京ニ於テ使用セル最初ノ電信機其ノ他現業員服制ノ變遷遞送ノ變遷ヲ示シ室町王朝徳川時代ノ模型ヲ示シ或ハ郵便、海運、電燈、電動機、電車發達ニ關スル各種ノ表、各國ノ郵便貯金、救濟組合ニ關スル各種ノ材料ヲ蒐集セリ

朝鮮之館圖



拓殖館之圖





南滿洲鐵道沿線模型型



大連小寺油坊工場模型型